Canon

imageRUNNER
ADVANCE
C2030/C2030F/C2020/C2020F

基本操作ガイド

将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

本マニュアルの使いかた

本マニュアルでは、次のような機能、操作方法、メンテナンスの方法について説明しています。

- 本製品のタッチパネルディスプレーで操作できる機能
- コンピューターから本製品を操作できるリモートUI機能
- コンピューターからプリントするときの操作方法
- 日常のお手入れ方法
- 紙づまり／針づまりの処理

本マニュアルを本製品のそばに置いて、操作に迷ったときなどにご活用ください。

※ 本マニュアルで紹介している機能は、オプションが必要な場合があります。
※ 本マニュアルで使われている画面は、実際の画面と異なる場合があります。

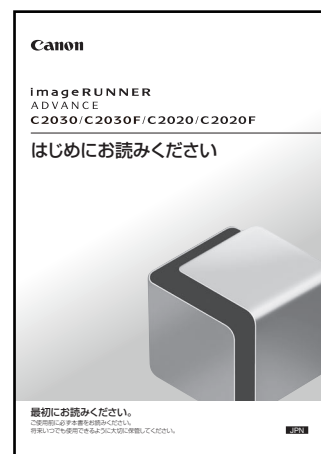
目次

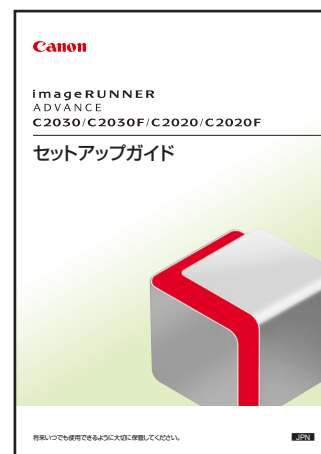
本マニュアルの使いかた

本製品には、次のようなマニュアルが同梱されています。用途にあわせてお使いください。

はじめにお読みください

■ 本製品をお使いになるための注意事項について

■ 本製品の仕様

セットアップガイド

■ 本製品設置後の作業や設定について
- 送信機能を使うための設定
- ファクス機能を使うための設定
- コンピューターから印刷／品質管理を行うための設定

基本操作ガイド（本マニュアル）

■ 本製品の機能の概略

■ コピーやファクスの機能について

■ 本製品のお手入れやトラブル解決のしかたについて
- 用紙の補給
- トナーの交換
- 紙づまり／針づまりの処理

■ 困ったときのQ&A

e- マニュアル

■ コピーや送信などの各機能の使いかた、設定のしかた、本製品をもっと便利に利用するためのオプションについて

■ 冊子を作るには、不正コピーを防止するにはなど、本製品の機能を目的別に紹介した「活用集」

ドライバーインストールガイド

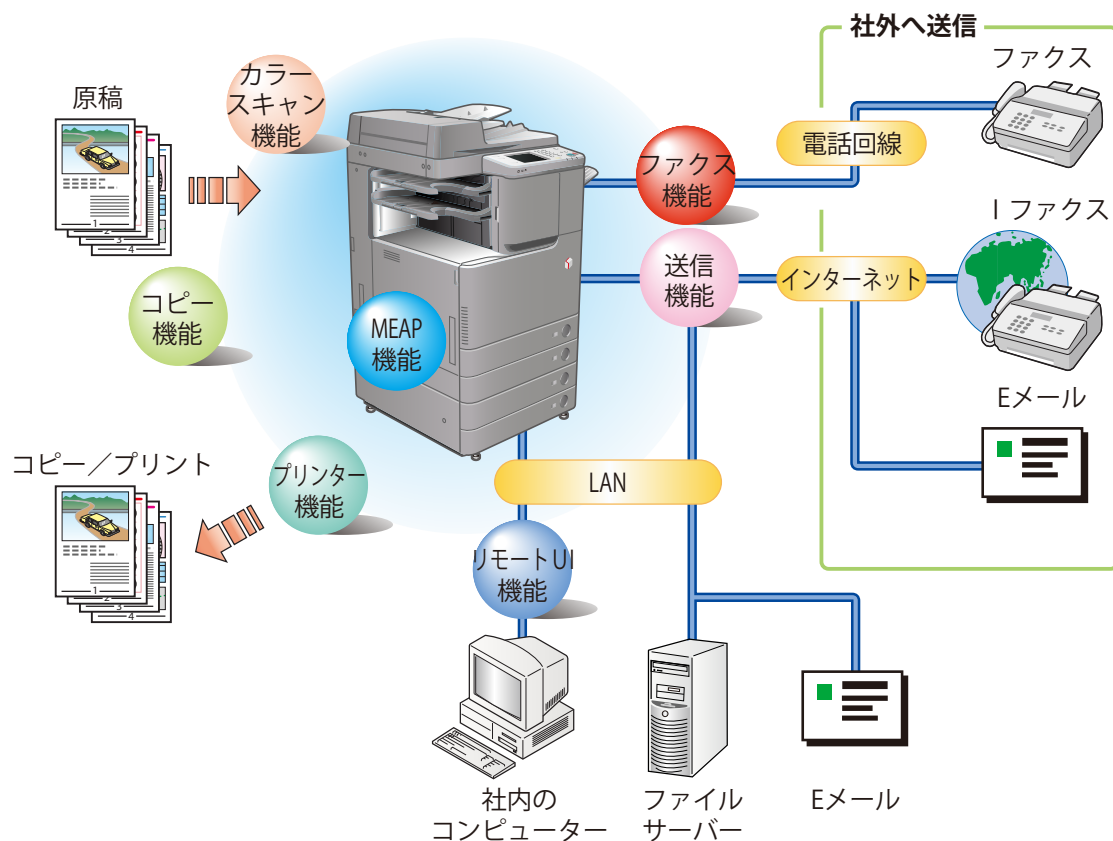
■ Windows用、Macintosh用のプリンタードライバー、ファクスドライバーについて
- プリンタードライバーインストールガイド
- Mac プリンタドライバインストールガイド
- ファクスドライバーインストールガイド
- Macintosh用ファクスドライバオンラインマニュアル

マークについて

本マニュアルでは、安全のため守っていただきたいことや、取り扱い上の制限や注意などを説明するために、次のようなマークを付けています。

警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
重要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。
メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

本製品でできること

進化する複合機で、革新するドキュメンテーションワーク

imageRUNNER ADVANCE C2030/C20230F/C2020/C2020F は、さまざまなドキュメントの入出力環境を効率化する機能を搭載しています。オフィスの環境やお客様のニーズに応じて機能を追加することによって、オフィスにおけるドキュメントワークを最適化することができる、新発想のカラーデジタル複合機です。

● コピーする

片面プリントされている複数枚の書類を、両面コピーでまとめたり、2 ページ分の書類を用紙の一面にコピーしたりして、印刷コストを削減できます。また、出力紙をソートしたりする機能もあります。（P.11）

● ファクスする

読み込んだ原稿だけでなく、保存したファイルやコンピューターのデータをファクスできます。複数の宛先に送信したり、受信したファクスを転送したりできます。また、リモートファクス送信機能を使用すると、同一ネットワーク内でファクス機能を共有することもできます。（P.21）

● 原稿を送信する(Eメール／ファクス／Iファクス／ファイルサーバー)

スキャンした原稿をEメールやIファクスで送信したり、ネットワーク上のファイルサーバーに保存したりできます。（P.29）

● メモリーメディアを使う

USBポートへメモリーメディアを接続して、読み込んだ原稿を保存したり、保存したファイルをプリントしたりできます。（P.37、P.43）

● ネットワークを使う

本製品では、ネットワーク上にアクセス可能な他のimageRUNNER ADVANCE製品のアドバンスドボックス（※）に読み込んだ原稿を保存したり、保存したファイルをプリントしたりできます。（P.37、P.43）

※　コンピューターでも利用可能なファイル形式のデータを格納できる場所です。

● リモートスキャナーを使う

TWAIN対応コンピューターソフトから本製品をスキャナーとして使用できます。最大でA3サイズ、600dpiの高画質スキャンが可能です。（e-マニュアル > リモートスキャナー）

● セキュアプリントを使う

コンピューターから本製品に、暗証番号を設定したプリントデータを送ることができます。本製品で暗証番号を入力しないとプリントできないため、暗証番号を知らない人に内容を見られることなくプリントできます。（e-マニュアル > セキュアプリント）

● メモリー受信したファクス／Iファクスをプリントする

メモリー受信を設定しておくと、受信したファクス／Iファクスファイルは、プリントされずに受信トレイのシステムボックスに保存されます。そのため必要なファイルのみプリントできます。また出力紙の取り忘れも回避できます。（e-マニュアル > 受信トレイ）

● Webページを表示する

本製品のタッチパネルディスプレーでWebページを閲覧したり、表示内容をプリントしたりできます。（e-マニュアル > ウェブブラウザー）

※　本マニュアルで紹介している機能は、オプションが必要な場合があります。

操作パネルとタッチパネルディスプレーについて

1 メインメニューキー
メインメニュー画面に戻るときに押します。

2 タッチパネルディスプレー
各機能の設定画面が表示されます。画面を押すことにより、本製品を操作できます。初期設定では 6 個のファンクションのボタンが表示されます。

3 テンキー
数値を入力するときに押します。

4 操作部電源スイッチ（サブ電源）
本製品をスリープ状態にしたり、スリープ状態を解除したりするときに押します。
オートスリープについては、P.149 を参照してください。

5 USB ポート
USB メモリーなどの差込口です。

6 設定／登録キー
各種の登録や機能の設定をするときに押します。

7 カウンター確認キー
タッチパネルディスプレーにコピーやプリントの総枚数を表示させるときに押します。

8 ストップキー
進行中のジョブの動作を止めるときに押します。

9 操作ペン
タッチパネルディスプレーを操作するときに使用します。

10 スタートキー
動作（読み込み）を開始させるときに押します。

11 主電源ランプ
本体主電源が入っているときは点灯、入っていないときは消灯しています。

12 エラーランプ
本製品にトラブルが発生したときに点滅または点灯します。

13 実行／メモリーランプ
本製品が動作中は緑色に点滅します。待機中のジョブやメモリー受信文書があるときは緑色に点灯します。

14 クリアキー
入力した数字や文字を取り消すときに押します。

15 リセットキー
設定したモードを標準モードに戻すときに押します。

16 ID（認証）キー
ログインサービスを設定しているときに、本体にログイン／ログアウトするときに押します。

17 輝度調整ダイヤル
画面の明るさを調整します。

18 音量調整キー
ファクス送受信のアラーム音量や通信音量などの調整画面を表示させたいときに押します。

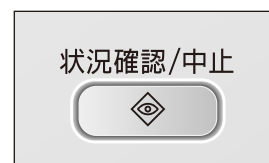
19 状況確認／中止キー
ジョブ状況の確認、プリントの中止などを行うときに押します。

20 カスタムメニューキー
あらかじめ登録しておいた機能を表示させるときに押します。

タッチパネルディスプレーが消えているときは

主電源スイッチが入っていても、タッチパネルディスプレーに何も表示されないときに、操作部電源スイッチを押します。

ジョブ状況を確認／変更したいときは

操作パネル上の（状況確認／中止）を押すと、ジョブ状況の確認、プリントの中止などを行うことができます。また、用紙の残量など本製品の状況を確認できます。

カスタムメニューを使う

よく使用する機能をあらかじめカスタムメニューとして設定しておくと、（カスタムメニュー）を押して呼び出すことができます。また、ログインサービスを使用しているときは、ユーザーごとに設定したカスタムメニュー画面を表示できます。カスタムメニューに登録するときは、登録したい機能を設定したあと、から［カスタムメニューに登録］を押します。

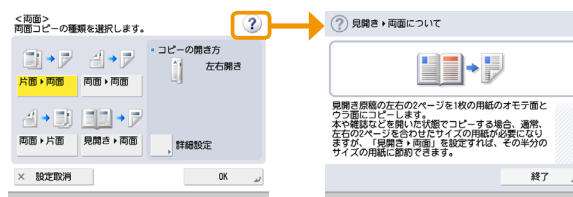
ログイン／ログアウトする

部門別 ID 管理や SSO-H（Single Sign-On H）などのログインサービスを使って本製品を管理しているときは、使用する前にログイン画面が表示されます。ログイン画面が表示されたときは、部門 ID と暗証番号またはユーザー名とパスワードを入力したあと、ID（認証）または画面内の［ログイン］を押してログインしてください。使用終了後に ID（認証）または画面内の［ログアウト］を押すと、ログアウトします。

各ファンクションを選択する

操作パネル上の（メインメニュー）を押すと、メインメニュー画面が表示されます。メインメニュー画面から、各ファンクションを選択して機能を使用します。

ヘルプを使う

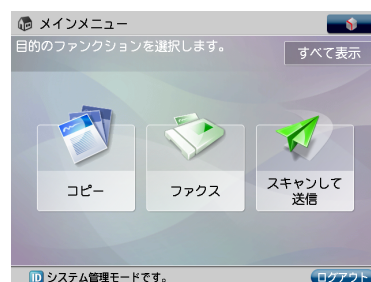
各ファンクションの設定画面の右上に ?（ヘルプ）が表示されているときは、?（ヘルプ）を押すとワンポイントアドバイスが表示されます。機能の説明や、設定方法を確認するときに押します。

画面表示をカスタマイズする

画面右上に表示されている[icon]を押すと、画面の表示形式をカスタマイズできます。この操作を行うには、管理者権限でログインする必要があります。

[icon]を押して表示される項目は、ファンクションによって異なります。

認証機能を運用しているときは、ログインユーザーの権限によって表示される項目が異なったり、[icon]を押せないことがあります。

■ メインメニューの表示を変更する

- ［メインメニューのボタン表示設定］
  メインメニュー画面に表示されるファンクションのボタン数とレイアウトを設定できます。
- ［メインメニューの背景設定］
  メインメニュー画面の背景を設定できます。
- ［メインメニューのその他の設定］
  メインメニュー画面に、次のようなショートカットボタンを表示させるかどうかを設定できます。
  ・[icon]（表示言語 / キーボード切替）
  ・［設定 / 登録のショートカット］
  ・［すべて表示］

カスタマイズ例

■ よく使うファンクションを常に見える場所に配置する

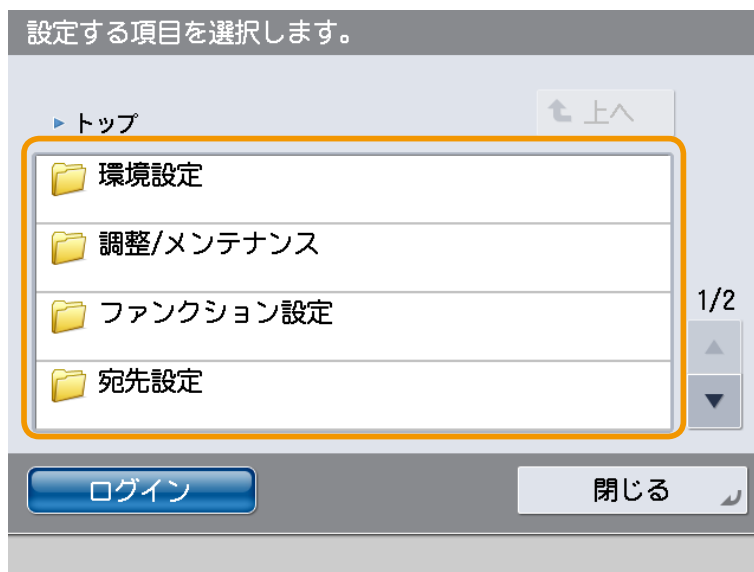
画面上部にファンクションのショートカットボタンを 2 つまで表示させることができます。設定するには、メインメニュー画面右上の[icon]から［画面上部のボタン設定］を選択します。

登録例

■ よく使う機能をアクセスしやすい場所に配置する

各ファンクション（コピー、ファクス、スキャンして送信）の［その他の機能］の中にあるよく使う機能を、ショートカットとして基本画面に登録できます。登録したショートカットは、そのファンクションの基本画面に表示されます。

登録例

使いかたにあわせて設定を変更する

本製品をお使いになる上で、より便利で使いやすくするための各種設定が用意されています。用途にあわせて設定を登録したり、変更したりできます。

環境設定

給紙する用紙のサイズ、デフォルト表示する画面の変更、日時の設定、省電力モードまでの移行時間、ネットワークに接続するための設定など、本製品をお使いになるための基本的な設定を行います。

調整／メンテナンス

濃度や、色ずれなどの画質の調整、フィーダーの清掃など、本製品を快適にお使いいただくための設定を行います。

ファンクション設定

コピー機能のショートカットボタンの登録、ファクスの自動リダイヤルの設定、E メールの送信データサイズの上限値の設定など、各機能をより便利に使用するための設定や登録を行います。

宛先設定

ファクスや E メールなどの宛先を宛先表に登録します。使用頻度の高い宛先を登録するだけでなく、複数の宛先をグループとして登録し、同時に送信することもできます。E メールとファイルサーバーといった異なるタイプの宛先でもグループ宛先として登録できます。

管理設定

本製品を管理するための管理者用の設定です。部署別に ID とパスワードを設定し、機密情報の管理や、ID ごとにプリント枚数をカウントすることもできます。ライセンスや証明書の登録も行います。

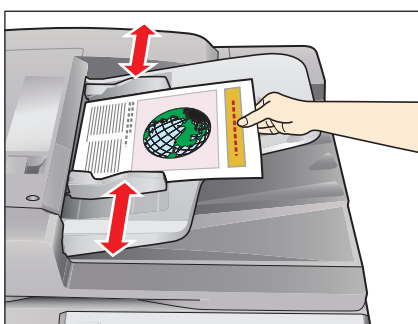
コピーのとりかた

コピーの基本的な操作の流れを紹介します。

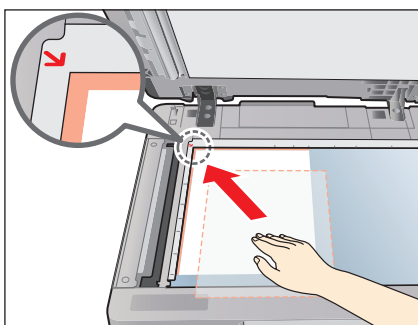
1 原稿をセット

フィーダーまたは原稿台ガラスに原稿をセットします。

フィーダーにセット

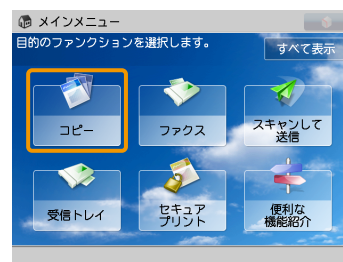
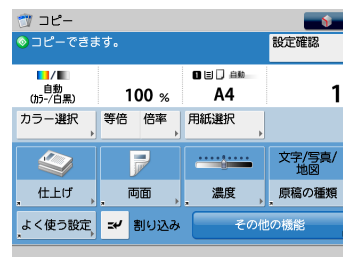
スライドガイドを原稿のサイズにあわせます。原稿をそろえてから、読み込む面を上にしてセットします。

原稿台ガラスにセット

フィーダー／原稿台カバーを開けます。

原稿の読み込む面を下にして、セットします。

フィーダー／原稿台カバーを静かに閉じます。

2 ファンクションを選択

メインメニュー画面から［コピー］を選択します。

［コピー］を押します。

［コピー］ファンクションの基本画面が表示されます。

部門別 ID 管理や SSO-H などのログイン画面が表示されている場合は、認証情報を入力する必要があります。また、カードリーダー・C1 ／コピーカードリーダー・F1 が装着されているときは、はじめにコントロールカードを挿入します。

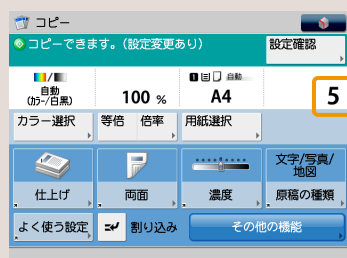
必要に応じて、いろいろなコピー機能を設定できます。詳しくは、本マニュアルの P.13 から P.20 を参照してください。

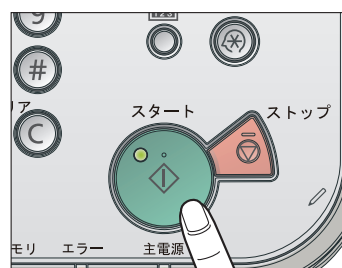
3 枚数を設定

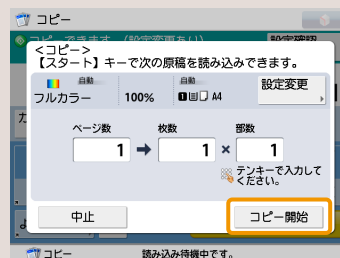
コピー枚数を入力します。

テンキーを押して、必要なコピー枚数（1 ～ 999）を入力します。

コピー枚数を修正するときは、Ⓒ（クリア）を押してから、必要な枚数を入力しなおします。

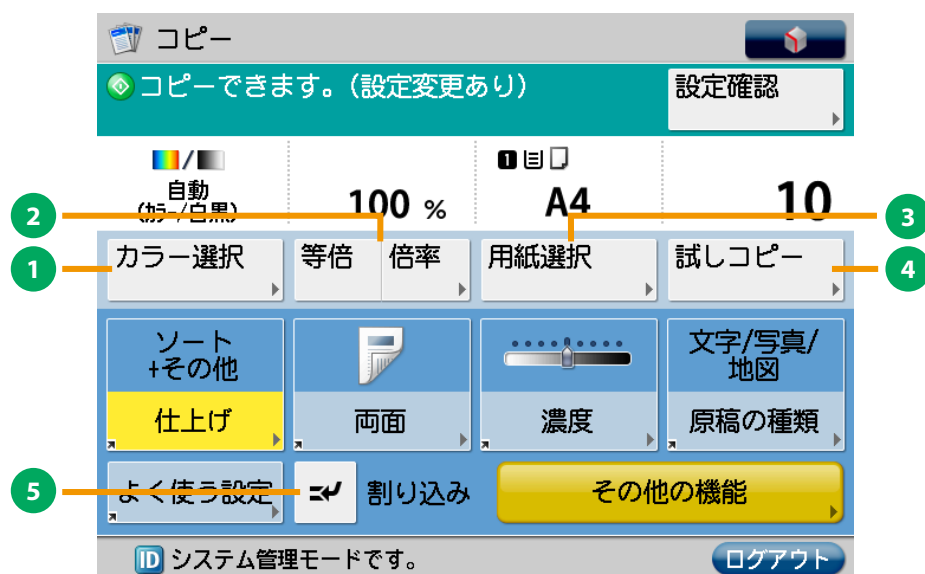
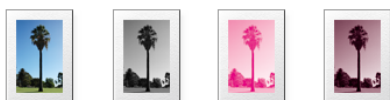
設定した枚数は、次のように表示されます。

4 コピースタート

すべての設定が終わったら、◎（スタート）を押します。

◎（スタート）を押します。

次の画面が表示されたときは、◎（スタート）を押してから、次の原稿を読み込ませます。すべての原稿を読み込ませたら、[コピー開始] を押します。

コピーが終了したら、原稿を取り除きます。

部門別 ID 管理や SSO-H などのログインサービスが設定されているときは、Ⓘ（認証）を押してログアウトします。

便利なコピー機能

コピー機能を使うには、まずメインメニュー画面の［コピー］を押します。ここでは、コピーファンクションの基本画面でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > コピーを参照してください。

❶［カラー選択］

カラーモードを選択したい

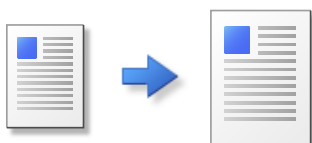
フルカラー／白黒／単色カラー／２色カラーモードを選択してコピーします。また、原稿に応じて自動的にモードを切り替える自動モードもあります。

❸［用紙選択］

用紙を選択したい

用紙のサイズや種類、給紙位置を選択できます。原稿サイズと倍率を自動的に認識してコピーする自動モードもあります。

❷［等倍 / 倍率］

倍率を変えてコピーしたい

倍率を変更してコピーします。決められた用紙サイズに拡大／縮小したり、数値を入力して倍率を指定したりできます。

❹［試しコピー］

複数部をコピーする前に仕上がりを確認したい

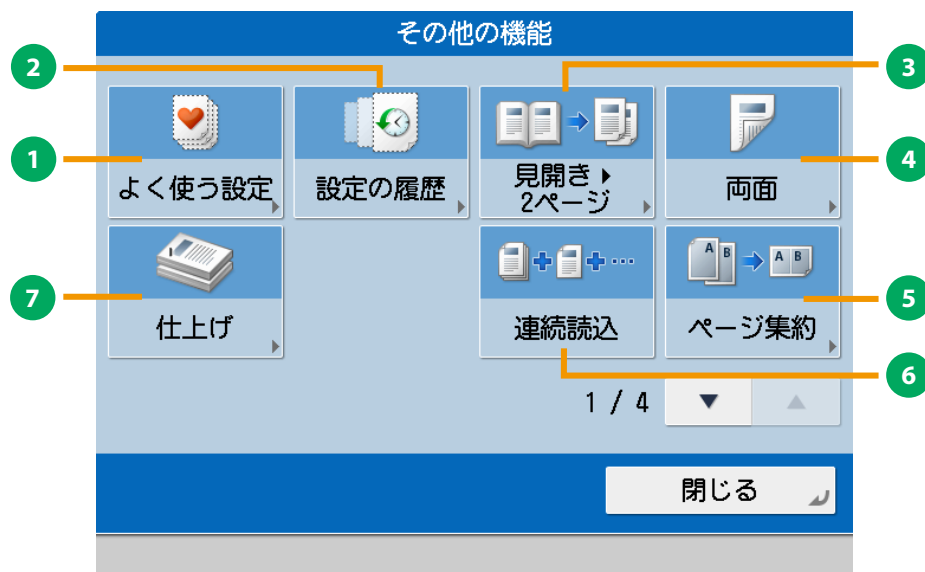
コピーを複数部する前に、１部だけコピーして仕上がりを確認できます。指定したページだけをコピーすることもできます。

❺［割り込み］

急ぎのコピーを優先したい

プリント中のコピージョブを一時中断し、急ぎのコピーを優先できます。

便利なコピー機能

ここでは、コピー機能の［その他の機能］（1/4）でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e-マニュアル > コピーを参照してください。
［その他の機能］は 4 つに分かれています。画面下の ▲▼ ボタンで切り替えてください。

❶［よく使う設定］

複数のコピー機能を簡単に設定したい

よく使うコピーの設定を登録できます。登録した設定は、あとから呼び出して使用できます。

❸［見開き ▶ 2 ページ］

本などの左右の 2 ページを分けてコピーしたい

本などの見開き原稿の左右のページを、1 ページずつ 2 枚の用紙にコピーします。

❷［設定の履歴］

前の設定を呼び出してコピーしたい

最近使ったコピーモードの履歴を、3 つ前まで呼び出せます。呼び出したコピーモードを利用してコピーできます。

❹［両面］

用紙のオモテ面とウラ面にコピーしたい

両面の原稿を用紙の片面に別々にコピーしたり、用紙の両面にコピーしたりできます。

5 ［ページ集約］

2 枚の原稿を 1 ページにまとめてコピーしたい

複数枚の原稿を1枚の用紙に収まるように縮小してコピーします。原稿の順番を変えることもできます。

7 ［仕上げ］

コピーした用紙を仕分けしたい

コピーした用紙を、1 部ごと（ソート）やページごと（グループ）に仕分けしてコピーします。

6 ［連続読込］

数回に分けてスキャンした原稿をまとめてコピーしたい

原稿を一度にセットできないときに数回に分けて読み込みます。すべての原稿を読み込んだあと、コピーをスタートします。

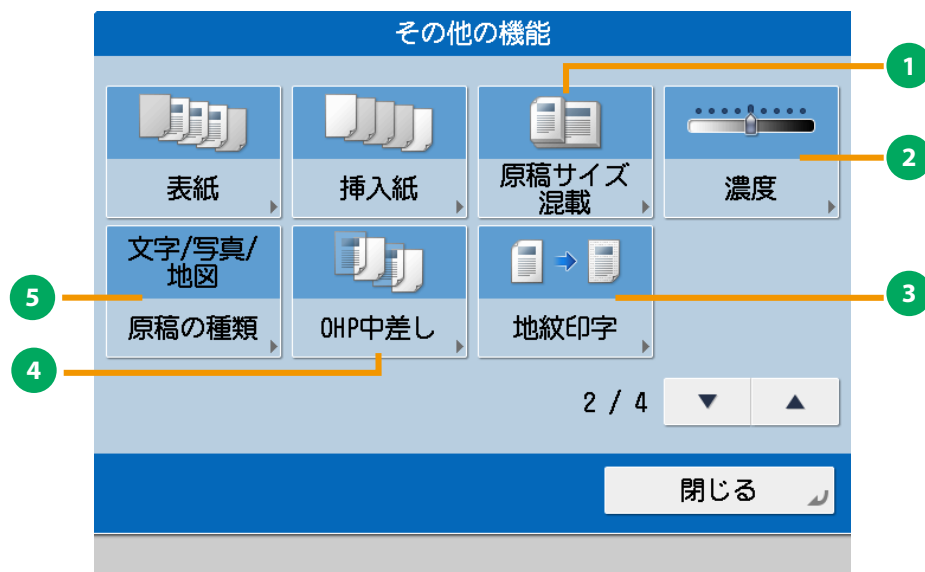
［ホチキス］

コピーした用紙にホチキスしたい

プリントした用紙をホチキスでとめた状態で出力します。ホチキスでとめる位置は選択できます。

※ 本製品にインナーフィニッシャーが装着されているときに、［仕上げ］内に［ホチキス］が表示されます。

便利なコピー機能

ここでは、コピー機能の［その他の機能］（2/4）でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e-マニュアル > コピーを参照してください。
［その他の機能］は 4 つに分かれています。画面下の ▲▼ ボタンで切り替えてください。

❶［原稿サイズ混載］

違うサイズの原稿を一度にコピーしたい

異なるサイズの原稿を、一度にセットしてコピーします。用紙設定を自動にすると、適切なサイズの用紙を自動的に選択してコピーします。

❸［地紋印字］

不正コピーを防止したい

「コピー禁止」などの文字列（地紋）を出力紙の背景に埋め込んでコピーします。出力紙がコピーされると、地紋が浮かび上がるため、不正コピーや情報漏えいを抑止できます。

❷［濃度］

濃度を変えてコピーしたい

読み取りの濃度を変更します。［▸］を押すと濃度を濃く、［◂］を押すと薄くします。自動的に濃度を調整することもできます。

❹［OHP 中差し］

OHP フィルムの間に用紙をはさみたい

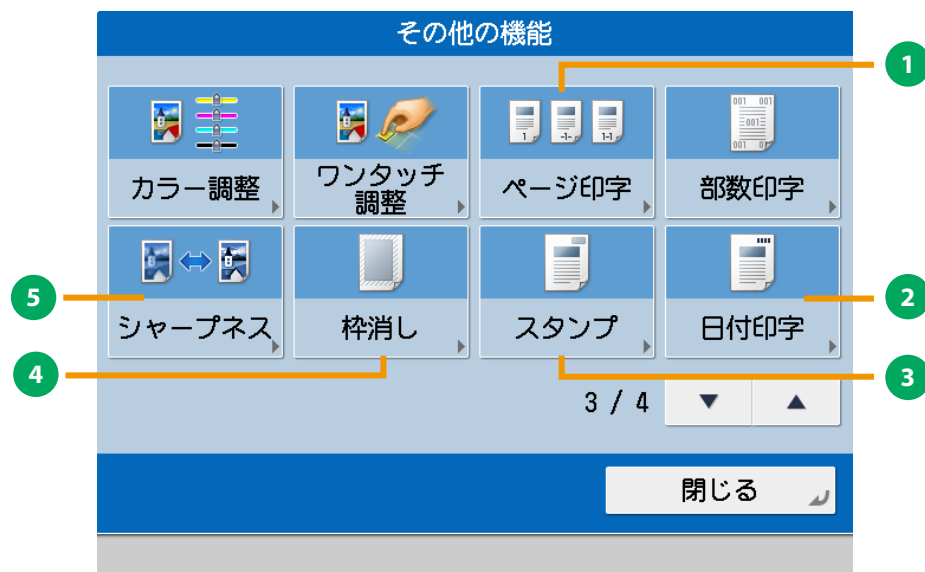
OHP フィルムにコピーするとき、OHP フィルム 1 枚 1 枚の間に中差し用紙を自動的にはさんでコピーします。

❺［原稿の種類］

写真をきれいにコピーしたい

原稿の種類（文字のみの原稿、文字／写真／地図などが混在した原稿、写真のみの原稿）に応じて読み込みの画質を調整してからコピーします。

便利なコピー機能

ここでは、コピー機能の［その他の機能］（3/4、4/4）でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > コピーを参照してください。
［その他の機能］は 4 つに分かれています。画面下の ▲▼ ボタンで切り替えてください。

❶［ページ印字］

ページ番号をつけてコピーしたい

ページ番号をつけてコピーします。ページ番号のサイズ、位置、向きなどを指定できます。

❸［スタンプ］

文字や記号をつけてコピーしたい

あらかじめ用意されているスタンプや任意の文字をつけてコピーします。サイズ、位置、向きなどを指定できます。

❷［日付印字］

日付をつけてコピーしたい

日付（年月日）をつけてコピーします。日付のサイズ、位置、向きなどを指定できます。

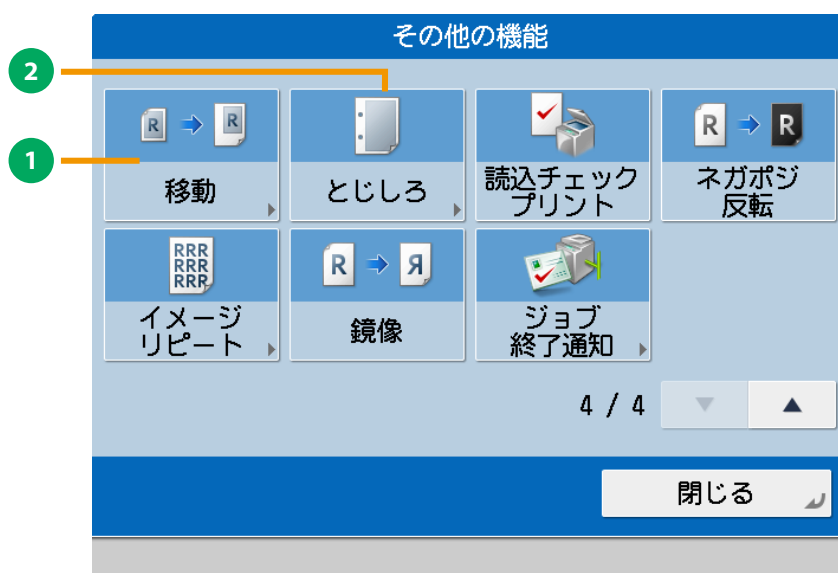
❹［枠消し］

原稿にある枠線やパンチ穴の跡などを消してコピーしたい

原稿を読み込んだときにできる周囲の影を消してコピーします。パンチ穴の影を消すこともできます。

5 ［シャープネス］

原稿の文字やイラストをくっきりさせてコピーしたい

画質を調整してコピーします。文字や線、画像の輪郭部分をくっきりさせたいときや、あいまいにさせたいときに調整します。

1 ［移動］

画像の位置を移動してコピーしたい

原稿がコピーされる位置を、用紙の中央や隅など、任意の位置に移動できます。テンキーで位置を指定することもできます。

2 ［とじしろ］

とじしろをつけたい

原稿の画像を移動させ、用紙の端に指定した幅のとじしろを作ってコピーします。表面と裏面で別々の幅を設定できます。

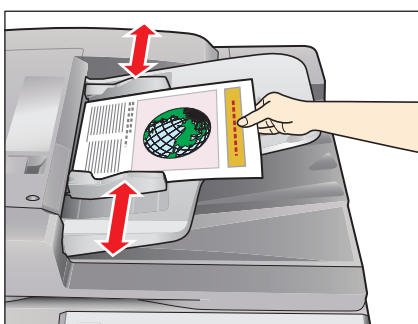
ファクスの送りかた

ファクス送信の基本的な操作の流れを紹介します。
ファクス機能は imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 ではオプションが必要です。

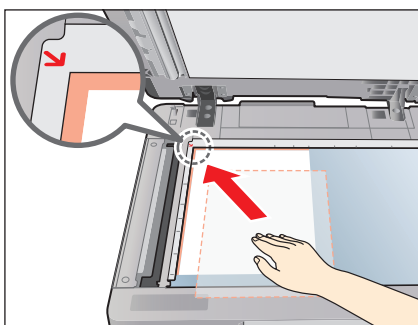
1 原稿をセット

フィーダーまたは原稿台ガラスに原稿をセットします。

フィーダーにセット

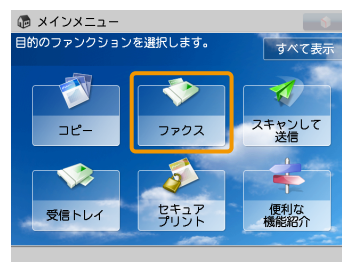
スライドガイドを原稿のサイズにあわせます。原稿をそろえてから、読み込む面を上にしてセットします。

原稿台ガラスにセット

フィーダー／原稿台カバーを開けます。

原稿の読み込む面を下にして、セットします。

フィーダー／原稿台カバーを静かに閉じます。

2 ファンクションを選択

メインメニュー画面から［ファクス］を選択します。

［ファクス］を押します。

［ファクス］ファンクションの基本画面が表示されます。

部門別 ID 管理や SSO-H などのログイン画面が表示されている場合は、認証情報を入力する必要があります。また、カードリーダー・C1 ／コピーカードリーダー・F1 が装着されているときは、はじめにコントロールカードを挿入します。

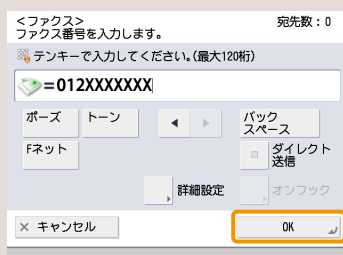
必要に応じて、いろいろなファクス機能を設定できます。詳しくは、本マニュアルの P.23 から P.28 を参照してください。

3 宛先を指定

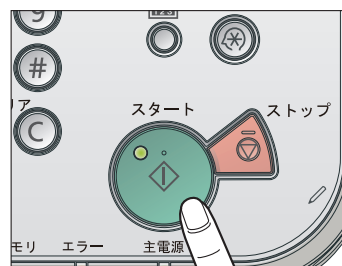
テンキーでファクス番号を入力します。

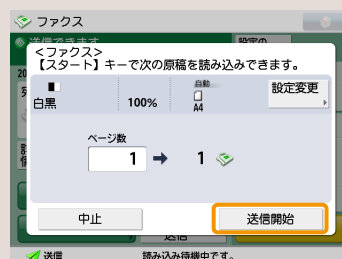
ファクス番号を入力します。

2 件以上のファクス番号を入力したいときは、［OK］を押してから次の宛先を入力します。

<ファクス>
ファクス番号を入力します。
宛先数：0
テンキーで入力してください。(最大120桁)
=012XXXXXXX
ポーズ
トーン
バック スペース
Fネット
ダイレクト 送信
詳細設定
オンフック
キャンセル
OK

［ワンタッチ］や［アドレス帳］を使用して宛先を指定することもできます。宛先を登録する方法については、e- マニュアル > 本体でのファクス送受信を参照してください。

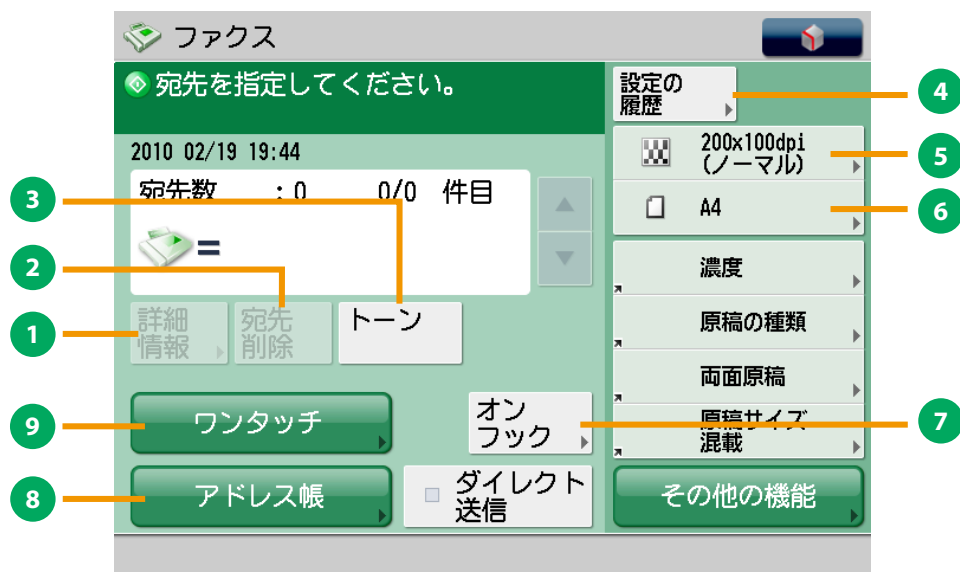
4 ファクス送信スタート

すべての設定が終わったら、⊙（スタート）を押します。

⊙（スタート）を押します。

次の画面が表示されたときは、⊙（スタート）を押してから、次の原稿を読み込ませます。すべての原稿を読み込ませたら、［送信開始］を押します。

送信が終了したら、原稿を取り除きます。

部門別 ID 管理や SSO-H などのログインサービスが設定されているときは、Ⓘ（認証）を押してログアウトします。

便利なファクス機能

ファクス機能を使うには、まずメインメニュー画面の［ファクス］を押します。ここでは、ファクスファンクションの基本画面でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > 本体でのファクス送受信を参照してください。ファクス機能は imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 ではオプションが必要です。

❶［詳細情報］

宛先の詳細を確認したい

アドレス帳から選択した宛先の詳細情報を確認できます。新規で入力した宛先を変更することもできます。

❸［トーン］

ダイヤル回線からプッシュホンサービスを利用したい

ダイヤル回線に接続しているときでも、［トーン］を押すとプッシュホンサービスの案内に従って番号などを入力できます。

❷［宛先削除］

指定済みの宛先を削除したい

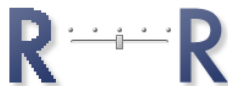
宛先リストに表示されている宛先を、選択して削除できます。

❹［設定の履歴］

最近使ったファクスの設定を呼び出したい

最近使った宛先やファクス設定の履歴を、3 つ前まで呼び出せます。呼び出した宛先や設定を利用してファクスできます。

5［解像度］

文字や絵をきれいにファクスしたい

解像度を高くすると、細かい文字や写真を鮮明に読み取って送信できます。解像度を低くするとデータのサイズが小さくなり、送信時間を短縮できます。

6［読取サイズ］

原稿サイズを指定したい

原稿の読み取りサイズを選択できます。［自動］を押すと、原稿サイズを自動的に認識して読み込めます。

7［オンフック］

ファクス情報サービスを利用したい

プッシュホンサービスを利用するとき、自動音声応答を本製品のスピーカーで聞きながら、番号入力などの操作ができます。

8［アドレス帳］

いつも送信する宛先を簡単に設定したい

よく使うファクスの宛先を、アドレス帳に登録できます。

9［ワンタッチ］

スピーディーに宛先を設定したい

よく使うファクスの宛先をあらかじめワンタッチに登録しておくと、すぐに宛先を指定できます。

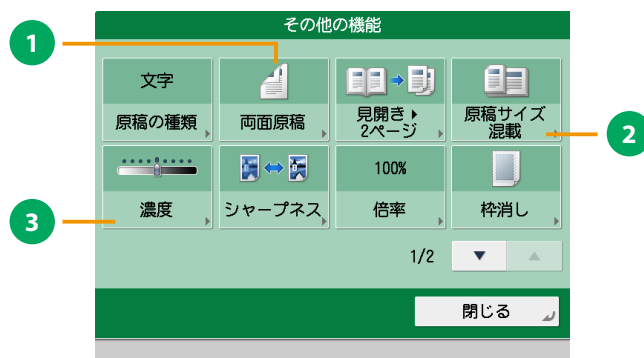
［F コード］

F コードをつけてファクスしたい

受信側のファクス機に F コードが設定されているときは、送信時にその F コードを指定すると特定のボックスへの親展送信などができます。

※ 宛先を入力しているときに表示されます。

便利なファクス機能

ここでは、ファクス機能の［その他の機能］でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > 本体でのファクス送受信を参照してください。
［その他の機能］は 2 つに分かれています。画面下の ▲▼ ボタンで切り替えてください。
ファクス機能は imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 ではオプションが必要です。

1 ［両面原稿］

原稿のオモテ面とウラ面を自動的にスキャンしたい

原稿の両面をファクスするときに設定します。原稿の表裏の天地（上下）が同じときには［左右開き］、逆のときには［上下開き］を指定します。

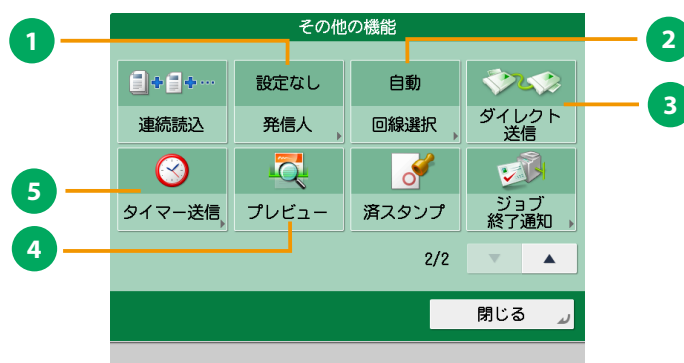
2 ［原稿サイズ混載］

違うサイズの原稿を一度にファクスしたい

異なるサイズの原稿を、一度にセットして読み込み／ファクスします。

3 ［濃度］

濃度を変えてファクスしたい

読み取りの濃度を変更します。［▸］を押すと濃度を濃く、［◂］を押すと薄くします。自動的に濃度を調整することもできます。

❶［発信人］

送信者名を明示してファクスしたい

部署名や個人名などをあらかじめ登録しておき、送信先の記録紙に記載します。

※　宛先を指定してから設定してください。

❷［回線選択］

電話回線を指定したい

ファクス送信時に使用する回線を、複数の中から選択できます。

※　宛先を指定してから設定してください。

❸［ダイレクト送信］

送信先へ確実にファクスしたい

送信先がファクス受信可能な状態かどうかを確認してから、原稿の読み込みを開始させます。原稿をメモリーに読み込ませず、直接送信します。

❹［プレビュー］

ファクス送信する前にスキャンした内容を確認したい

ファクス送信する前に、読み込んだ原稿を表示させて確認したり、ページ数を確認したりできます。指定したページを削除することもできます。

❺［タイマー送信］

時間を指定してファクスしたい

原稿をあらかじめ読み込ませておき、指定した時刻に送信できます。現時刻から 23 時 59 分までの時刻を指定できます。

便利なファクス機能

受信したファクスを自動的に転送したり、メモリー受信したりできます。
ここでは、受信したファクスの処理について説明します。
ファクス機能は imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 ではオプションが必要です。

転送設定

受信したファクスを指定した宛先に自動的に転送します。
日時などを指定して転送することもできます。

■ 転送設定を設定するには

1. ⓢ（設定／登録）を押す。
2. ［ファンクション設定］→［受信 / 転送］→［共通設定］を押す。
3. ［転送設定］→［登録］を押す → 各項目の転送条件の設定を行う。
4. ［OK］を押す。

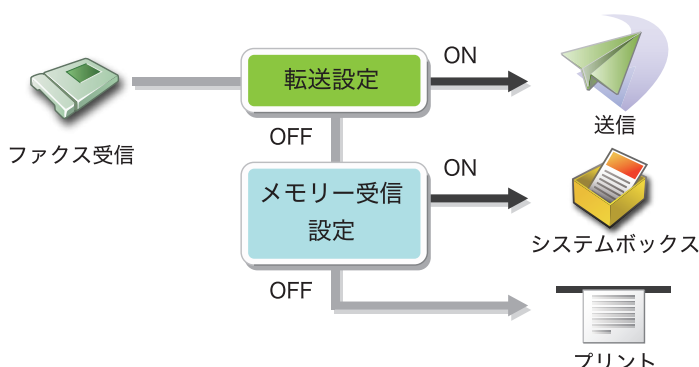
メモリー受信

受信したファクスを一時的に受信トレイに保存します。
保存したファクスは、あとでプリント／送信できます。

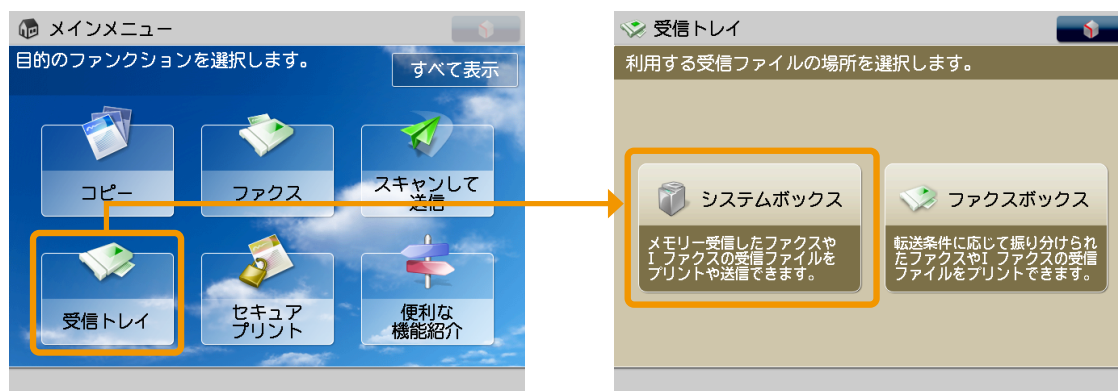
■ メモリー受信を設定するには

1. ⓢ（設定／登録）を押す。
2. ［ファンクション設定］→［受信 / 転送］→［共通設定］を押す。
3. ［受信トレイの設定］→［ファクスメモリー受信を使用］を「ON」にする。
4. ［OK］を押す。

受信したファクスの処理結果

受信したファクスは、設定により次のように処理されます。

転送設定とメモリー受信をどちらも「ON」に設定しているときは、ファクスは転送先に送信されます。
転送先にはファクスボックスを指定することもできます。ファクスボックスに保存されたファクスは、あとでプリントできます。
ファクスボックスについては、e- マニュアル>受信トレイを参照してください。

メモリー受信したファクスをプリントするには

メモリー受信したファクスをプリントするには、メインメニュー画面の［受信トレイ］を押します。

1. ［受信トレイ］→［システムボックス］→［メモリー受信ボックス］を押す。
2. 保存されているファクスを選択→［プリントする］を押す。
3. ［プリント開始］を押す。

メモリー受信したファクスを送信することもできます。
詳しくは、e- マニュアル > 受信トレイを参照してください。

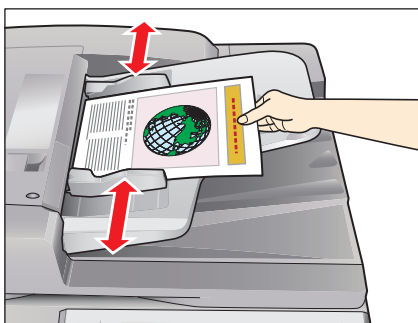
送信のしかた（Eメール／Iファクス／ファイルサーバー）

原稿をスキャンして送信する基本的な操作の流れを紹介します。
送信機能はimageRUNNER ADVANCE C2030/C2020ではオプションが必要です。

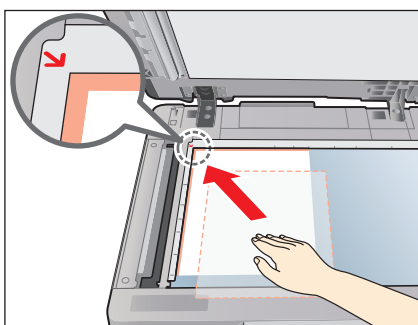
1 原稿をセット

フィーダーまたは原稿台ガラスに原稿をセットします。

フィーダーにセット

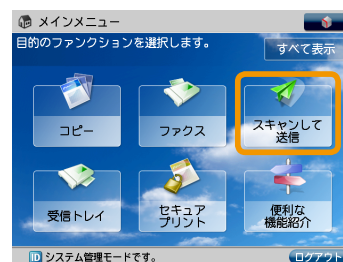
スライドガイドを原稿のサイズにあわせます。原稿をそろえてから、読み込む面を上にしてセットします。

原稿台ガラスにセット

フィーダー／原稿台カバーを開けます。

原稿の読み込む面を下にして、セットします。

フィーダー／原稿台カバーを静かに閉じます。

2 ファンクションを選択

メインメニュー画面から［スキャンして送信］を選択します。

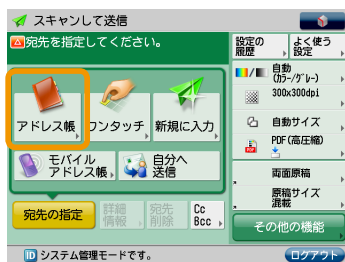
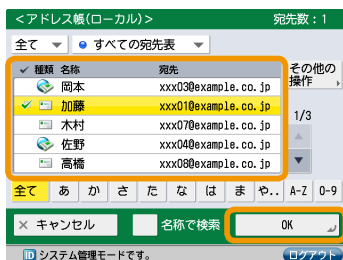
［スキャンして送信］を押します。

［スキャンして送信］ファンクションの基本画面が表示されます。

部門別ID管理やSSO-Hなどのログイン画面が表示されている場合は、認証情報を入力する必要があります。また、カードリーダー・C1／コピーカードリーダー・F1が装着されているときは、はじめにコントロールカードを挿入します。

必要に応じて、いろいろな送信機能を設定できます。詳しくは、本マニュアルのP.31からP.36を参照してください。

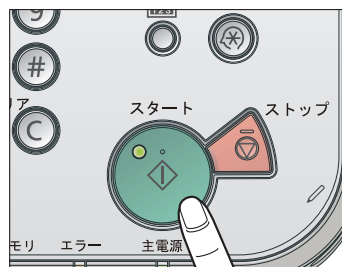
3 宛先を指定

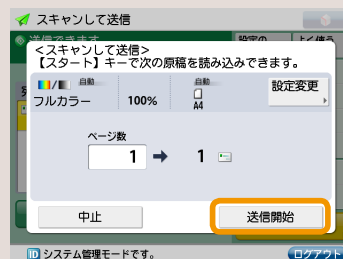
［アドレス帳］を押して宛先を選択したあと、［OK］を押します。

［アドレス帳］を押します。

宛先が 1 件だけのときは、宛先を選択します。複数の宛先に送るときは、宛先を選択したあと [OK] を押します。

アドレス帳に宛先を登録する方法については、e- マニュアル > スキャンして送信を参照してください。

宛先は、［ワンタッチ］や［よく使う設定］から指定することもできます。また、登録されていない新しい宛先に送信したいときは、［新規に入力］を押して、宛先を入力します。

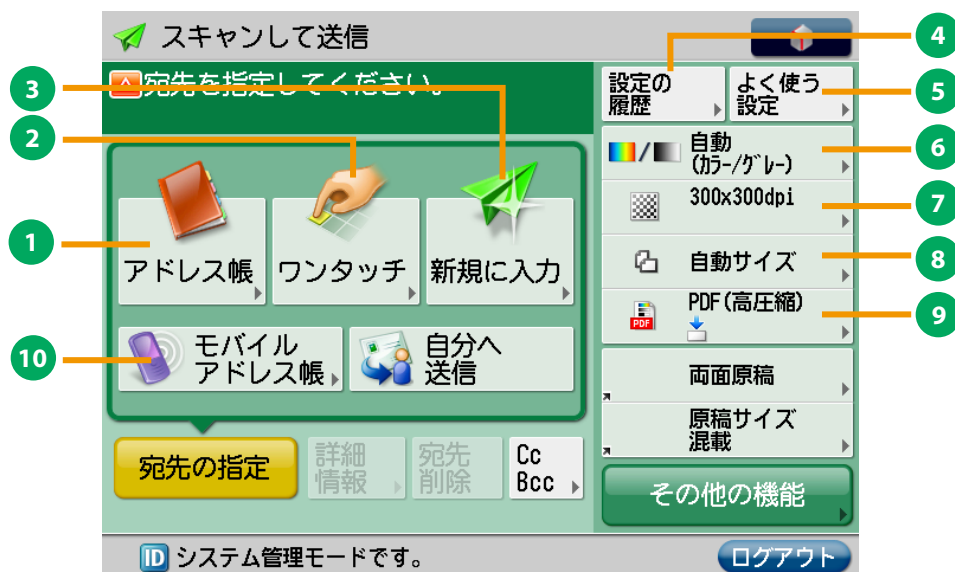
4 送信スタート

すべての設定が終わったら、⊙（スタート）を押します。

⊙（スタート）を押します。

次の画面が表示されたときは、⊙（スタート）を押してから、次の原稿を読み込ませます。すべての原稿を読み込ませたら、［送信開始］を押します。

読み込みが終了したら、原稿を取り除きます。

部門別 ID 管理や SSO-H などのログインサービスが設定されているときは、Ⓘ（認証）を押してログアウトします。

便利な送信機能

送信機能を使うには、まずメインメニュー画面の［スキャンして送信］を押します。ここでは、スキャンして送信ファンクションの基本画面でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > スキャンして送信を参照してください。送信機能は imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 ではオプションが必要です。

❶［アドレス帳］

いつも送信する宛先を簡単に設定したい

よく使う E メールや I ファクス、ファイルサーバーの宛先を、アドレス帳に登録します。

❸［新規に入力］

新規の宛先を入力したい

アドレス帳やワンタッチに登録していない新規の宛先を指定するときに使います。

❷［ワンタッチ］

スピーディに宛先を設定したい

よく使う宛先をあらかじめワンタッチに登録しておくと、すぐに宛先を指定できます。

❹［設定の履歴］

最近使った送信の設定を呼び出したい

最近使った宛先や送信設定の履歴を、3 つ前まで呼び出せます。呼び出した宛先や設定を利用して送信できます。

5 ［よく使う設定］

複数の送信機能を簡単に設定したい

よく使う宛先と設定を登録しておくことができます。登録した設定は、あとから呼び出して使用できます。

6 ［カラー選択］

カラーモードを選択したい

フルカラー／グレースケール／白黒 2 値の切り替えができます。原稿に応じて切り替わる自動モードもあります。

7 ［解像度］

文字や絵をきれいに送信したい

解像度を高くすると、細かい文字や写真を鮮明に読み込ませて送信できます。解像度を低くするとデータのサイズが小さくなり、送信時間を短縮できます。

8 ［読取サイズ］

原稿サイズを指定したい

原稿の読み取りサイズを選択できます。［自動］を押すと、原稿サイズを自動的に認識して読み込みできます。

9 ［ファイル形式］

ファイル形式を指定して送信したい

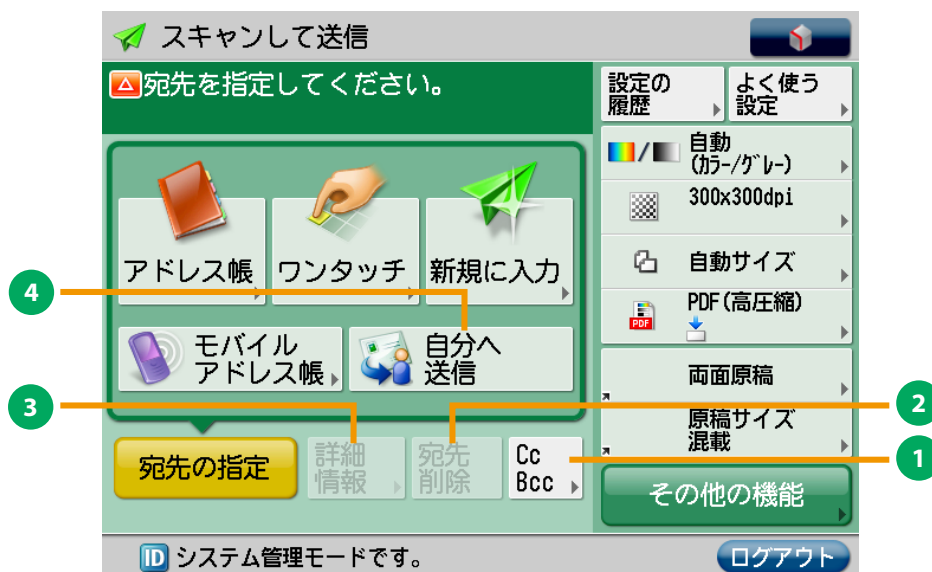
E メールやファイルサーバーの宛先に送信するときには、ファイルの形式を指定できます。PDF、XPS、JPEG、TIFF から選択できます。

10 ［モバイルアドレス帳］

携帯端末のアドレス帳を利用して宛先を設定したい

携帯電話に登録されている E メールアドレスを、赤外線通信で本製品に転送し、本製品から送信するときに宛先として指定できます。

便利な送信機能

送信機能を使うには、まずメインメニュー画面の［スキャンして送信］を押します。ここでは、スキャンして送信ファンクションの基本画面でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > スキャンして送信を参照してください。送信機能は imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 ではオプションが必要です。

① ［Cc Bcc］

E メールの宛先を設定するときに、Cc や Bcc を指定して送信したい

E メールの宛先を設定するときに、Cc や Bcc を指定して送信します。

③ ［詳細情報］

詳細情報を確認したい

宛先リストで選択した宛先の詳細情報が確認できます。新規に入力した宛先を変更することもできます。

② ［宛先削除］

指定済みの宛先を削除したい

宛先リストに表示されている宛先を、選択して削除できます。

④ ［自分へ送信］

自分の E メールアドレスに送信したい

自分の E メールアドレス（ログイン中のユーザーの E メールアドレス）を指定できます。

※ SSO-Hを設定しているときに表示されます。

このマークが付いている機能には、オプションが必要です。

① ［アウトライン］

イラスト編集ソフトで利用できるファイルを送信したい

原稿に描かれた図形や文字をアウトライン化してくっきり表示します。アウトライン化された部分は、特定のイラスト編集ソフトで再利用できます。

③ ［暗号化する］

スキャンした原稿を暗号化して送信したい

読み込んだ原稿を PDF に変換し、パスワードをかけて送信します。プリントや編集に制限をかけることもできます。

② ［OCR（文字認識）］

文字検索できるファイルを送信したい

読み込んだ原稿を、文字が検索ができるようにして送信します。文字はテキストデータとして利用できます。

<データ分割>

容量の大きいデータを分割して送信したい

データ容量が設定した上限値を超えたときに、分割して送信します。送信先が分割したデータを結合できるかどうかを確認してから、機能を設定します。

※ ［新規に入力］→［Eメール］を押すと、<データ分割>をするかどうかを設定できます。

便利な送信機能

ここでは、スキャンして送信機能の［その他の機能］でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > スキャンして送信を参照してください。
［その他の機能］は 3 つに分かれています。画面下の ▲▼ ボタンで切り替えてください。
送信機能は imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 ではオプションが必要です。

❶［両面原稿］

原稿のオモテ面とウラ面を自動的にスキャンしたい

原稿の両面を送信するときに設定します。原稿の表裏の天地（上下）が同じときには［左右開き］、逆のときには［上下開き］を指定します。

❷［見開き ▶ 2 ページ］

本などの左右の 2 ページを分けて送信したい

本などの見開き原稿の左右のページを、1 ページずつ 2 枚の用紙に送信します。

❸［原稿サイズ混載］

違うサイズの原稿を一度に送信したい

異なるサイズの原稿を、一度にセットして読み込み／送信します。

❹［枠消し］

原稿にある枠線やパンチ穴の跡などを消して送信したい

原稿を読み込んだときにできる周囲の影を消して送信します。パンチ穴の影を消すこともできます。

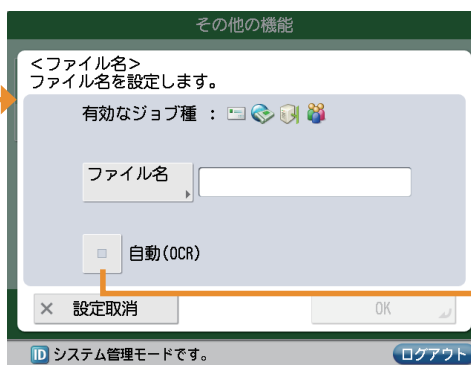
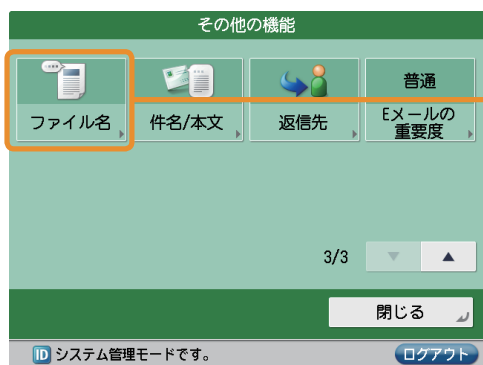
❺［濃度］

濃度を変えて送信したい

読み取りの濃度を変更します。［▶］を押すと濃度を濃く、［◀］を押すと薄くします。自動的に濃度を調整することもできます。

❶［プレビュー］

送信する前にスキャンした内容を確認したい

送信する前に、読み込んだ原稿を表示して確認したり、ページ数を確認したりできます。指定したページを削除することもできます。

❶［自動（OCR）］

送信する原稿に自動でファイル名をつけたい

ファイル形式に［PDF（OCR）］を選択しているとき、最初に読み込んだ文字列をファイル名にします。

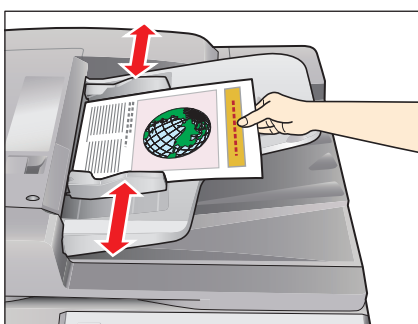
スキャンしたデータの保存のしかた

原稿をスキャンしたあと、ファイルとして保存するまでの基本的な操作の流れを紹介します。imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 では、他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックス（ネットワーク）を使用するにはオプションが必要です。ここでは、メモリーメディアに保存する例を紹介します。

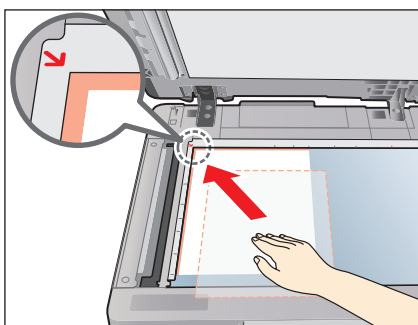
1 原稿をセット

フィーダーまたは原稿台ガラスに原稿をセットします。

フィーダーにセット

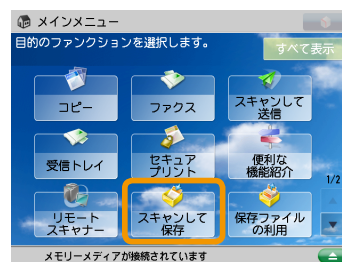
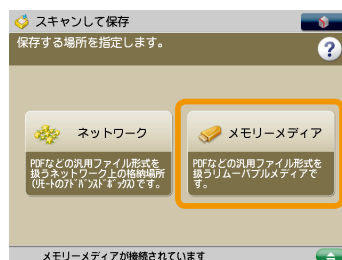
スライドガイドを原稿のサイズにあわせます。原稿をそろえてから、読み込む面を上にしてセットします。

原稿台ガラスにセット

フィーダー／原稿台カバーを開けます。

原稿の読み込む面を下にして、セットします。

フィーダー／原稿台カバーを静かに閉じます。

2 ファンクションを選択

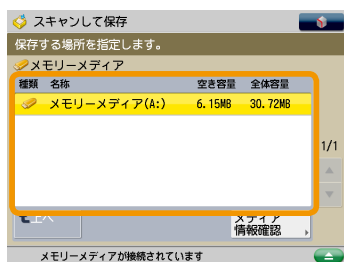
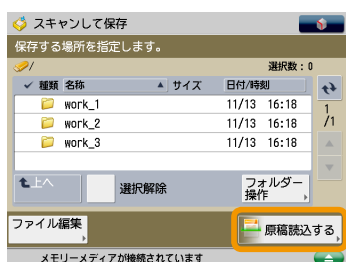
メインメニュー画面から［スキャンして保存］を選択します。

［スキャンして保存］を押します。

格納場所の種類を選択する画面から［メモリーメディア］を選択します。

部門別 ID 管理や SSO-H などのログイン画面が表示されている場合は、認証情報を入力する必要があります。また、カードリーダー・C1 ／コピーカードリーダー・F1 が装着されているときは、はじめにコントロールカードを挿入します。

- メモリーメディアを使用するには、あらかじめ次のように設定してください。
  1. ㊎（設定／登録）を押す。
  2. ［環境設定］→［保存先の表示設定］→<メモリーメディア>の［ON］を押す。
  3. ［OK］を押す。
- メモリーメディアにスキャンしたデータを保存するときは、USBメモリーをUSBポートに接続してください。
- サポートされているメモリーメディアについては、e-マニュアル>スキャンして保存を参照してください。
- ネットワーク（アドバンスドボックス）をお使いになる場合は、セットアップガイドの「ネットワーク上のアドバンスドボックスを使用する」を参照してください。

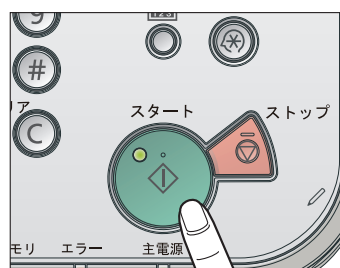
3 保存する場所を指定

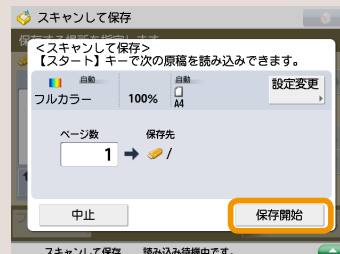
ファイルを保存するメモリーメディアを指定します。

メモリーメディアを選択します。

［原稿読込する］を押します。

原稿読込画面が表示されます。

必要に応じて、いろいろなスキャン機能を設定できます。詳しくは、本マニュアルの P.39 から P.42 を参照してください。

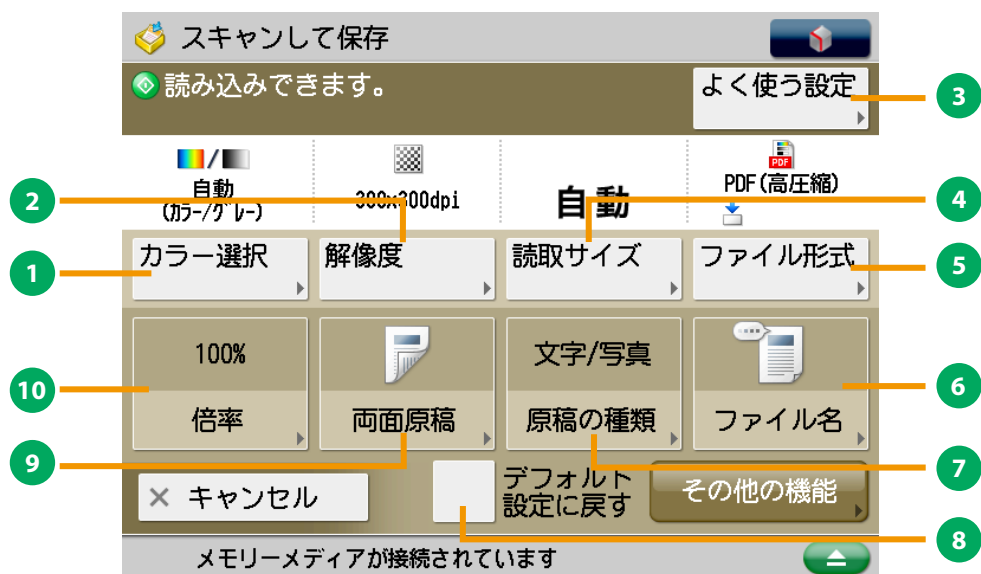
4 読み込みスタート

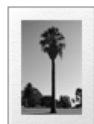
すべての設定が終わったら、（スタート）を押します。

（スタート）を押します。

次の画面が表示されたときは、（スタート）を押してから、次の原稿を読み込ませます。すべての原稿を読み込ませたら、［保存開始］を押します。

読み込みが終了したら、原稿を取り除きます。

部門別 ID 管理や SSO-H などのログインサービスが設定されているときは、（認証）を押してログアウトします。

便利なスキャン機能

原稿をスキャンして保存するには、まずメインメニュー画面の［スキャンして保存］を押します。ここでは、基本的なスキャン機能でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > スキャンして保存を参照してください。格納場所を選択したあと［原稿読込する］を押すと、次の画面が表示されます。
imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 では、他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックス（ネットワーク）を使用するにはオプションが必要です。

① ［カラー選択］

カラーモードを選択したい

フルカラー／白黒の切り替えができます。原稿に応じて切り替わる自動モードもあります。

③ ［よく使う設定］

複数のスキャン機能をかんたんに設定したい

よく使う読み込みの設定を登録できます。登録した設定は、あとから呼び出して使用できます。

② ［解像度］

小さい文字や絵をきれいに読み込みたい

解像度を高くすると、細かい文字や写真を鮮明に読み取って保存できます。解像度を低くするとデータのサイズが小さくなります。

④ ［読取サイズ］

読取サイズを指定したい

原稿の読み取りサイズを選択できます。［自動］を押すと、原稿サイズを自動的に認識して読み込みできます。

5 ［ファイル形式］

ファイル形式を指定して読み込みたい

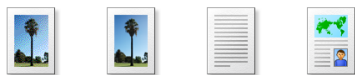
原稿を読み込むときに、コンピューターでも利用可能なPDF などのファイル形式を設定できます。

6 ［ファイル名］

ファイル名を指定して読み込みたい

読み込むデータにファイル名をつけることができます。

7 ［原稿の種類］

写真をきれいにスキャンしたい

原稿の種類（文字のみの原稿、文字／写真／地図などが混在した原稿、写真のみの原稿）に応じて読み込みの画質を調整してから読み込みます。

8 ［デフォルト設定に戻す］

設定を取り消したい

設定した機能を一括で取り消して、再度設定するときなどに使用します。すべての設定が解除されます。

9 ［両面原稿］

原稿のオモテ面とウラ面を自動的にスキャンしたい

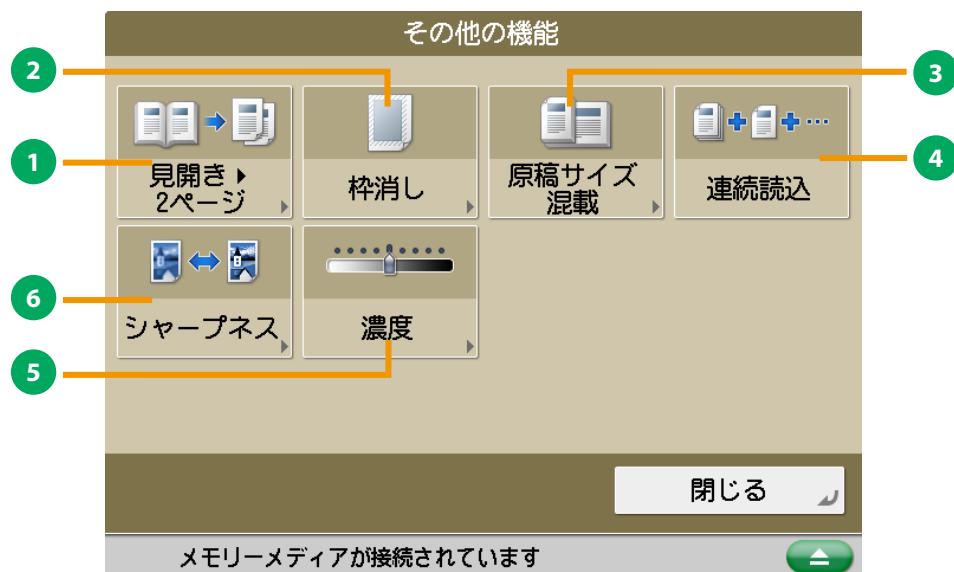
原稿の両面を読み込むときに設定します。原稿の表裏の天地（上下）が同じときには［左右開き］、逆のときには［上下開き］を指定します。

10 ［等倍 / 倍率］

倍率を変えて読み込みたい

倍率を変更して原稿を読み込むことができます。決められた用紙サイズに拡大／縮小したり、数値を入力して倍率を指定したりできます。

便利なスキャン機能

ここでは、スキャンして保存機能の［その他の機能］でできることを紹介します。
imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 では、他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックス（ネットワーク）を使用するにはオプションが必要です。

1 ［見開き▶ 2 ページ］

本などの左右の 2 ページを分けてスキャンしたい

本などの見開き原稿の左右のページを、1 ページずつ読み込みます。

3 ［原稿サイズ混載］

違うサイズの原稿を一度に読み込みたい

異なるサイズの原稿を、一度にセットして読み込みます。

2 ［枠消し］

原稿にある外枠やパンチ穴の跡などを消してスキャンしたい

原稿を読み込んだときにできる周囲の影を消して読み込みます。パンチ穴の影を消すこともできます。

4 ［連続読込］

複数回に分けてスキャンした原稿を 1 つのファイルとして保存したい

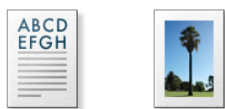
原稿を一度にセットできないときに数回に分けて読み込みます。すべての原稿を読み込んだあと保存します。

❺［濃度］

濃度を変えて読み込みたい

読み取りの濃度を変更します。 を押すと濃度を濃く、 を押すと薄くします。自動的に濃度を調整することもできます。

❻［シャープネス］

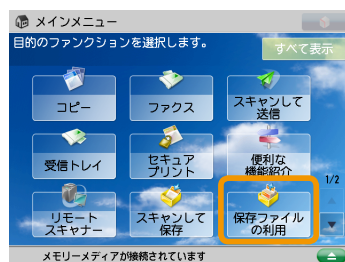
原稿の文字やイラストをくっきりさせてスキャンしたい

画質を調整してコピーします。文字や線、画像の輪郭部分をくっきりさせたいときや、あいまいにさせたいときに調整します。

保存したファイルの利用のしかた

保存したデータをプリントするまでの基本的な操作の流れを紹介します。imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 では、他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックス（ネットワーク）を使用するにはオプションが必要です。ここでは、メモリーメディア内に保存したファイルをプリントする例を紹介します。

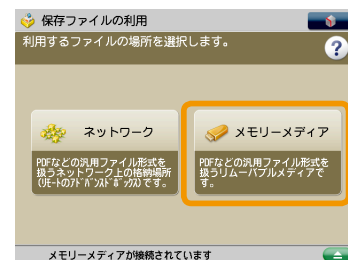
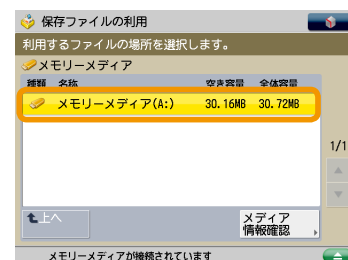
1 ファンクションを選択

メインメニュー画面から［保存ファイルの利用］を選択します。

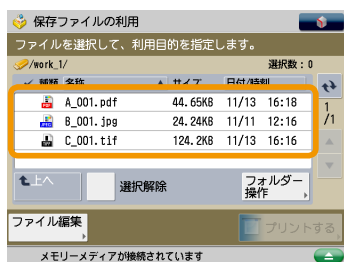
［保存ファイルの利用］を押します。

部門別 ID 管理や SSO-H などのログイン画面が表示されている場合は、認証情報を入力する必要があります。また、カードリーダー・C1 ／コピーカードリーダー・F1 が装着されているときは、はじめにコントロールカードを挿入します。

2 格納場所を選択

ファイルの格納場所を指定します。

格納場所の選択画面から［メモリーメディア］を選択します。

目的のメモリーメディアを選択します。

3 ファイルを選択

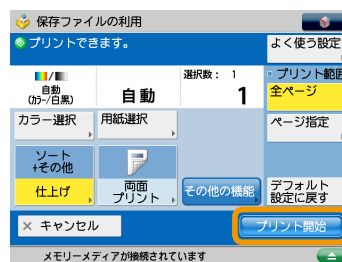
プリントするファイルを選んだあと、［プリントする］を押します。

プリントするファイルを選択します。

［プリントする］を押します。

プリント画面が表示されます。

4 プリントスタート

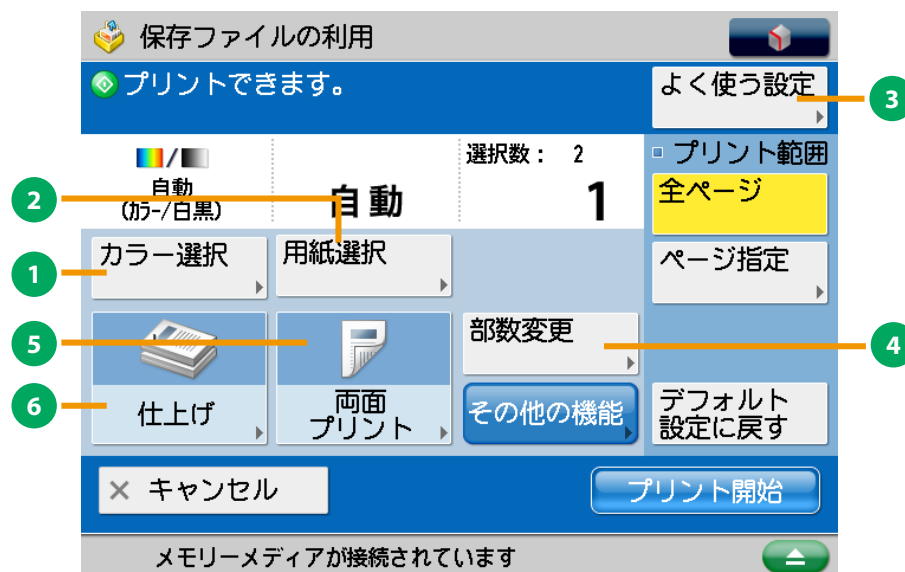
すべての設定が終わったら、［プリント開始］を押します。

［プリント開始］を押します。

［プリント設定変更］を押したあとに表示される画面から、いろいろなプリント機能が設定できます。詳しくは、本マニュアルの P.45 から P.48 を参照してください。

プリントが終了すると、メモリーメディアの選択画面に戻ります。

部門別 ID 管理や SSO-H などのログインサービスが設定されているときは、(ID)（認証）を押してログアウトします。

便利なプリント機能

保存されているファイルをプリントするには、まずメインメニュー画面の［保存ファイルの利用］を押します。ここでは、基本的なプリント機能でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > 保存ファイルの利用を参照してください。格納場所を選択したあと［プリントする］を押すと、次の画面が表示されます。imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 では、他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックス（ネットワーク）を使用するにはオプションが必要です。PDF ファイルをプリントするには、オプションが必要です。

❶［カラー選択］

カラーモードを選択したい

フルカラー／白黒モードを選択してプリントします。自動モードでは、ファイルに応じてカラーと白黒を自動的に切り替えます。

❸［よく使う設定］

複数のプリント機能をかんたんに設定したい

よく使うプリントの設定を登録できます。登録した設定は、あとから呼び出して使用できます。

❷［用紙選択］

用紙を選択したい

用紙のサイズや種類、給紙位置を選択できます。原稿サイズと倍率を認識してプリントする自動モードもあります。

❹［部数変更］

プリント部数を変更したい

複数のファイルを選択した場合に表示されます。プリント部数を変更できます。

※ 1ファイル選択時には⓪～⑨（テンキー）からプリント部数を変更できます。

❺［両面プリント］

用紙のオモテ面とウラ面にプリントしたい

保存したファイルを、連続して用紙の両面にプリントできます。

❻［仕上げ］

プリントした用紙を仕分けしたい

プリントした用紙を､1 部ごと（ソート）やページごと（グループ）に仕分けます。

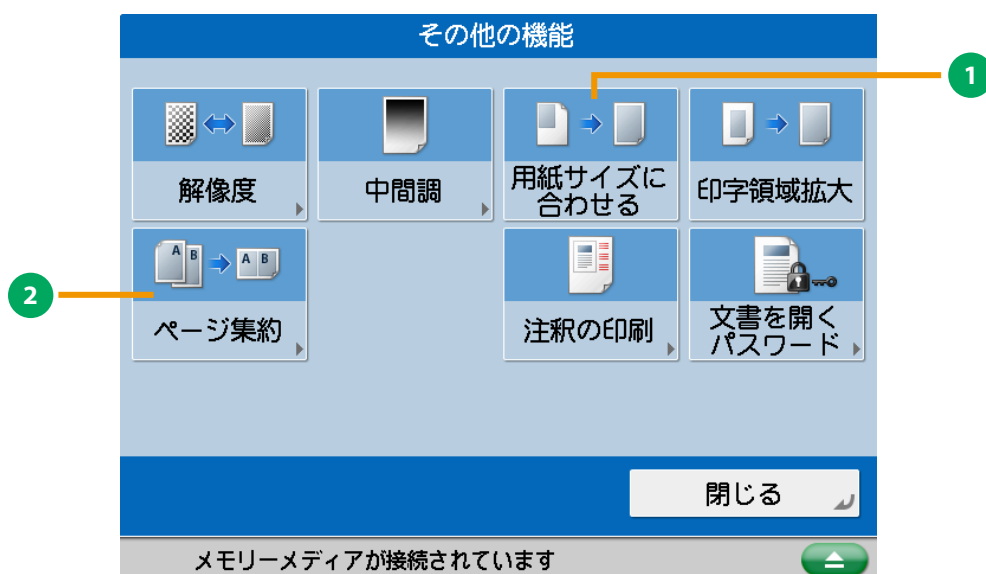
［ホチキス］

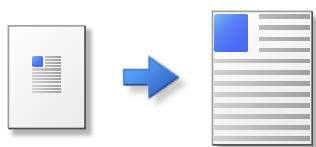
プリントした用紙にホチキスしたい

プリントした用紙をホチキスでとめた状態で出力します。ホチキスでとめる位置は選択できます。

※ 本製品にインナーフィニッシャーが装着されているときに、［仕上げ］内に［ホチキス］が表示されます。

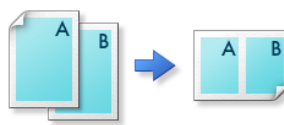
便利なプリント機能

ここでは、保存ファイルの利用の中の PDF ファイルをプリントするとき［その他の機能］でできるおもな機能を紹介します。機能の詳細については、e- マニュアル > 保存ファイルの利用を参照してください。
imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 では、他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックス（ネットワーク）を使用するにはオプションが必要です。PDF ファイルをプリントするには、オプションが必要です。

1 ［用紙サイズに合わせる］

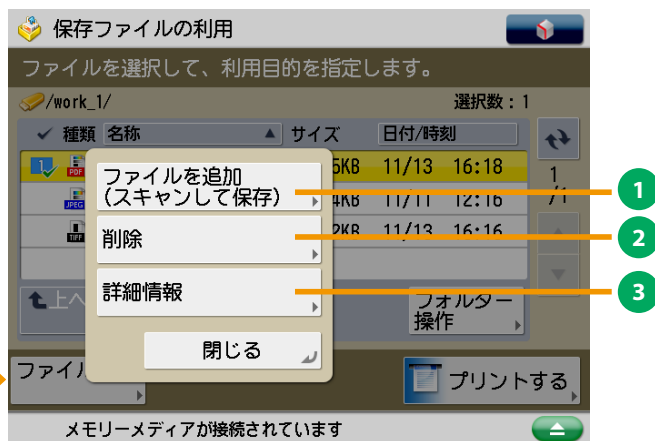
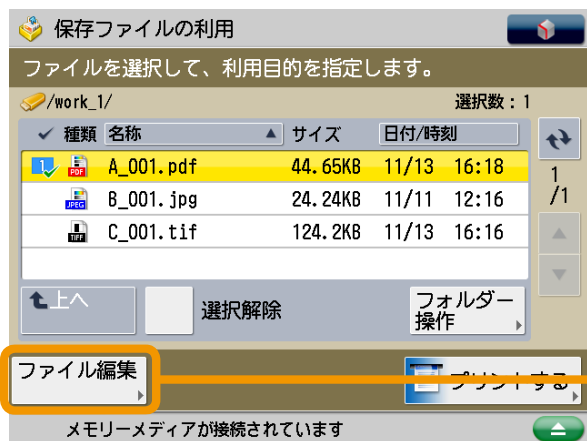
画像を用紙サイズに合わせてプリントしたい

ファイルの画像を用紙サイズに合わせてプリントできます。

※ JPEG、TIFFファイルをプリントするときは［拡大/縮小］と表示されます。

2 ［ページ集約］

2 ページ以上のファイルを 1 ページにまとめてプリントしたい

複数ページのファイルを 1 枚の用紙に収まるように縮小してプリントします。プリントするページの順番も変更できます。

便利なファイル操作機能

保存されているファイルを操作するには、まずメインメニュー画面の［保存ファイルの利用］を押します。ここでは、保存されているファイルを編集する機能を紹介します。保存ファイルのリストから、操作したいファイルを選択したあと、［ファイル編集］を押すと、次の画面が表示されます。
imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 では、他の imageRUNNER ADVANCE シリーズのアドバンスドボックス（ネットワーク）を使用するにはオプションが必要です。

❶［ファイルを追加（スキャンして保存）］

新しくファイルを追加したい

選択している格納場所の中に原稿を読み込んで、新しくファイルを保存できます。

❸［詳細情報］

保存されているファイルの詳細を確認したい

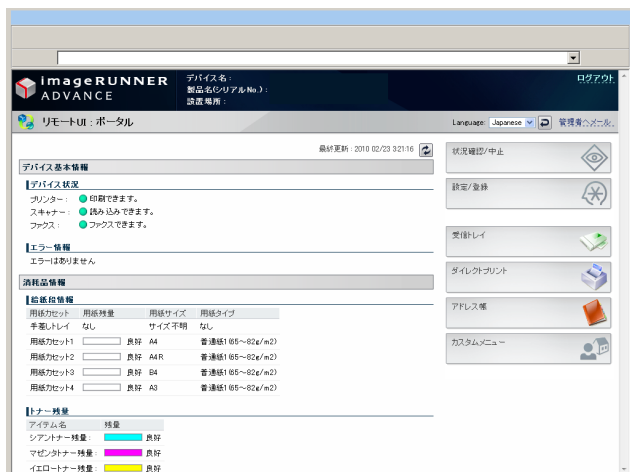
選択した保存ファイルの詳細情報を確認できます。

❷［削除］

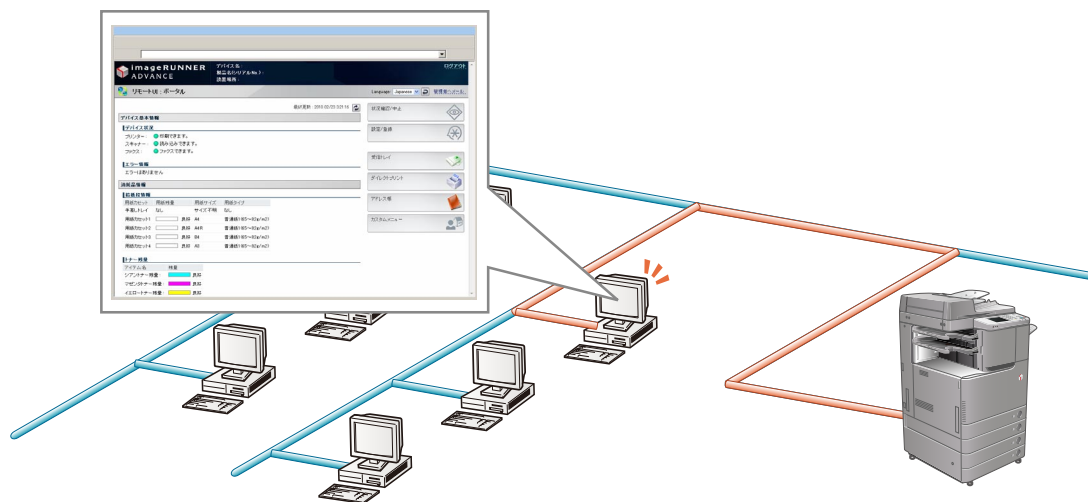
保存されているファイルを削除したい

保存されているファイルを削除します。不要になったファイルを削除して、格納場所を整理できます。

リモート UI について

リモート UI（User Interface）は、コンピューターの Web ブラウザーからネットワークを経由して本製品にアクセスし、本製品の状況の確認、ジョブの操作、各種設定などができるソフトウェアです。

本製品とコンピューターがネットワーク上でつながっていれば、Web ブラウザーからリモート UI を使うことができます。

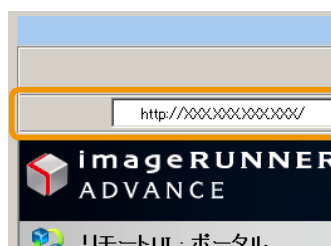
リモート UI はこんなときに便利です

- プリント状況を確認したいとき
- コンピューターから宛先表を編集したいとき
- 用紙やトナーの残量を自分の席から確認したいとき

■ リモートUIを有効にするには

- 管理者としてログインしたあと、次のように設定してください。
  1. （設定／登録）を押す。
  2. ［管理設定］→［ライセンス / その他］→［リモート UI の ON/OFF］を押す。
  3. ［ON］→［OK］を押す。
  4. 本製品の主電源を切り、10 秒後に主電源を入れなおす。
- リモートUIのON／OFFの設定は、本製品の主電源を入れなおしたあとに有効になります。主電源の入れかた／切りかたは、「はじめにお読みください」を参照してください。

1 Web ブラウザーからリモート UI にアクセス

Web ブラウザーからアクセスします。

Web ブラウザーの［アドレス］に本体の IP アドレスを入力します。

［ENTER］キーを押します。

管理者としてログインする場合は、［システム管理部門 ID］、［システム管理暗証番号］を入力したあと、［管理者ログイン］をクリックします。

一般ユーザーとしてログインする場合は、［一般ユーザーログイン］をクリックします。

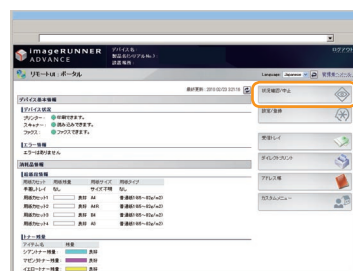
ログイン画面が表示されている場合は、ユーザー名、パスワードを入力して［ログイン］をクリックします。

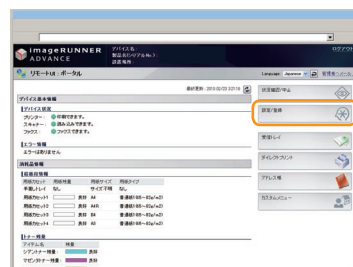
部門別 ID 管理や SSO-H などのログインサービスが設定されているときは、ログインに必要な項目を入力してください。

2 状況を確認、各種設定を行う

ジョブ状況の確認や、各種設定を行います。

ジョブ状況を確認する場合

［状況確認 / 中止］をクリックします。

各種設定を行う場合

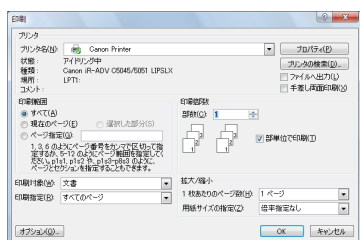
[設定 / 登録] をクリックします。

コンピューターからプリントする

プリンタードライバーをお使いのコンピューターにインストールすると、アプリケーションソフトウェアで作成したデータを本製品からプリントできるようになります。ここではコンピューターからプリントするときの基本的な操作の流れを紹介します。

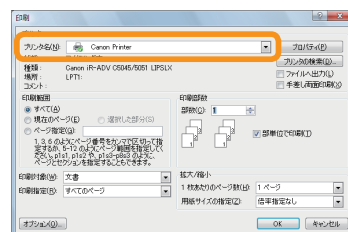
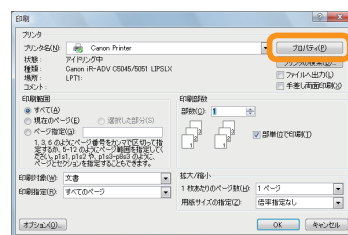
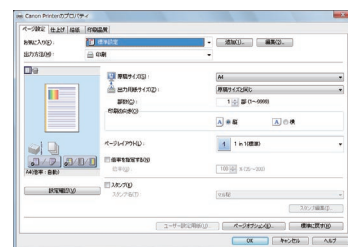
1 印刷設定画面を表示

メニューバーから［印刷］を選択します。

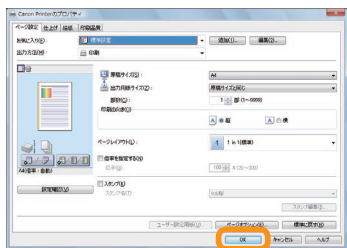
アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

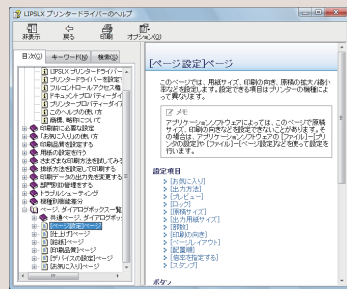
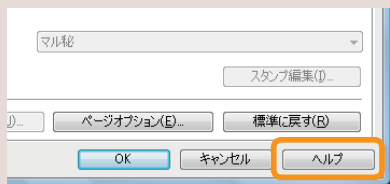
印刷ダイアログボックスが表示されます。

2 プリンタードライバーのプロパティ画面を表示

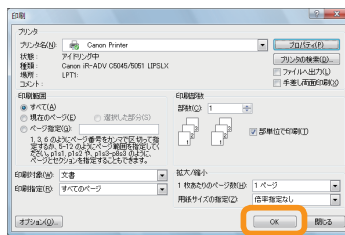
使用するプリンターを選択します。

［プリンタ名］から使用するプリンターを選択します。

［プロパティ］をクリックします。

プリンタードライバーのプロパティ画面が表示されます。

- 印刷の手順は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。詳しくは、各アプリケーションソフトウェアに付属している取扱説明書を参照してください。
- お使いのOS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによっては、画面が異なることがあります。

3 印刷の設定

印刷設定を行います。

必要に応じて設定したあと、［OK］をクリックします。

プロパティ画面右下の［ヘルプ］をクリックすると、印刷設定の機能詳細が表示されます。

4 プリントスタート

すべての設定が終わったら、［OK］をクリックします。

［OK］をクリックします。

印刷が終了したらプリントを回収します。

プリントジョブの状況はリモート UI から確認できます。詳しくは、本マニュアルの P.50 を参照してください。

用紙の補給

カセットに用紙を補給する方法について説明します。

メモ

- カセット 1 ～ 4 にセットできる用紙サイズは、次のとおりです。
  - カセット 1：A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、ユーザー設定サイズ（148 x 182 mm ～ 297 x 420 mm）
  - カセット 2、3、4：305 x 457 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、ユーザー設定サイズ（140 x 182 mm ～ 304 x 457 mm）
  - カセット 3、4 はオプションの 2 段カセットペディスタル・AF1 装着時に使用できます。
- カセット 1 ～ 4 にセットできる用紙の種類は、e- マニュアル > 基本的な使いかたを参照してください。

カセットに用紙を補給する

プリントする用紙を選択した際に選択した用紙がないときや、本製品のプリント動作中にプリントできる用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレーに用紙の補給を促す画面が表示されます。
次の手順に従って、カセットに用紙を補給します。

注意

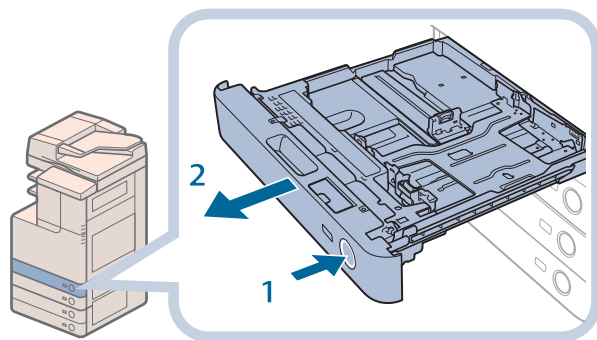
用紙を扱うときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

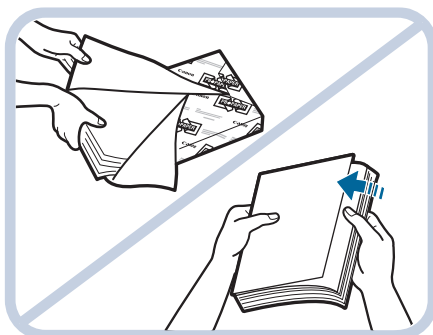
重要

- カセットが本体の奥まで押し込まれていないときでも、用紙補給画面が表示されることがあります。カセットは「カチッ」と音がするまで、本体の奥に押し込んでください。
- カセットには、郵便はがき、封筒はセットできません。
- 次のような用紙を、カセットにセットしないでください。紙づまりの原因になります。
  - 大きくカールした用紙、しわのある用紙
  - 薄いわら半紙
  - OHP フィルム（カセット 1 のみ）
  - 熱転写プリンターで印字した用紙
  - 熱転写プリンターで印字した用紙のウラ面
- 用紙はよくさばいてからセットしてください。薄紙、再生紙、パンチ済み紙、厚紙、OHP フィルムなどの用紙は特によくさばいてからセットしてください。
- カセットの用紙をセットする部分以外のスペースに、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になることがあります。

メモ

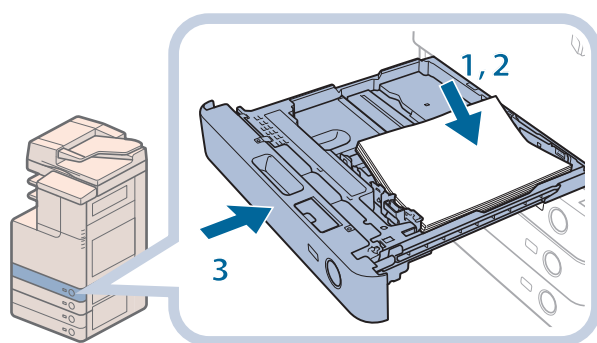
- 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の給紙箇所を選択したときは、[OK] を押すとプリントが再開されます。
- ［中止］を押すと、プリントが中止されます。

1 カセットを開きます。

1. 用紙を補給するカセットのオープンボタンを押す
2. カセットの取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す

2 用紙を準備します。

1. 包装紙を開いて、用紙を取り出す

メモ

- より良いプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。
- 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端をそろえてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。

3 用紙をセットします。

1. セットする用紙のサイズと、カセットの用紙サイズ設定があっているかどうかを確認する
2. 用紙の端がカセットの右側面にあたるようにセットする
3. カセットを「カチッ」と音がするまでゆっくりと本体に押し込む

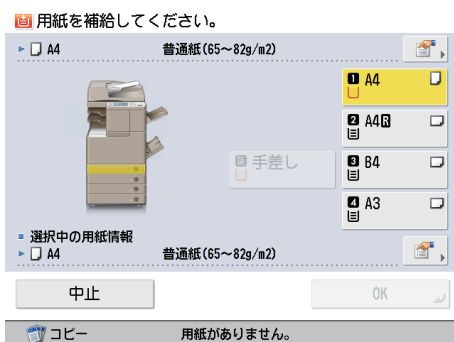
注意

カセットを本体に戻すときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

重要

- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
- 用紙の高さが積載制限表示（▼▼▼）を越えていたり、カセットが本体奥まで押し込まれていなかったりすると、コピーやプリントができません。
- 積載制限表示（▼▼▼）を越える枚数の用紙をセットしないでください。
- カセットが、本体奥まで押し込まれているかどうかを確認してください。

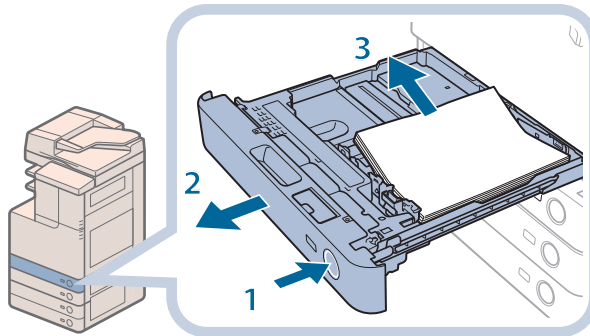
メモ

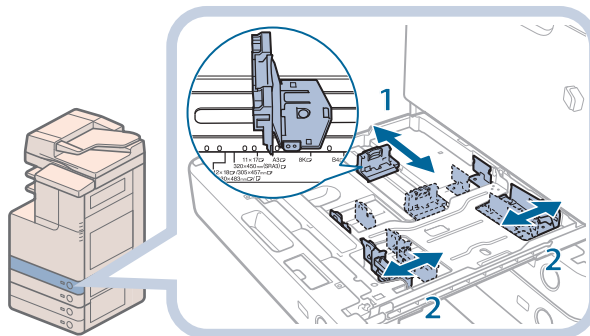
- カセットに初めて用紙を補給するときは、使用する用紙にあわせて用紙サイズ登録ダイヤルをセットしてください。（カセットの用紙サイズを変更する：P.56）
- カセットにセットできる用紙は次のとおりです。
  - カセット 1：250 枚（80 g/m^2）または 270 枚（64 g/m^2）
  - カセット 2：550 枚（80g /m^2）または 680 枚（64 g/m^2）
- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれているときは、指示に従って用紙をセットしてください。
- カセットに用紙をセットするときは、プリントする面を上にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じたときは、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については、e- マニュアル > コピーを参照してください。
- 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 用紙切れでプリント動作が中断されたときは、用紙を補給してください。用紙補給後、プリント動作が再開されます。

カセットの用紙サイズを変更する

カセットにセットされている用紙のサイズを変更するときは、次のようにカセットガイドを調節してください。

注意

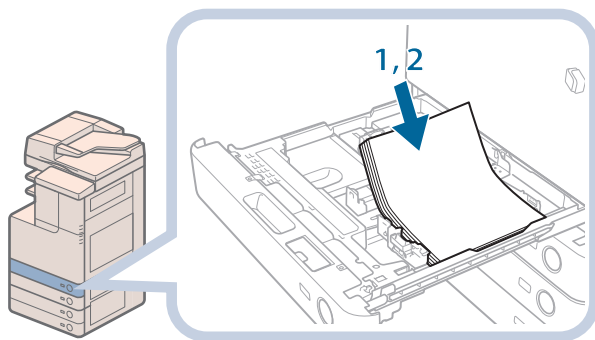
用紙を扱うときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

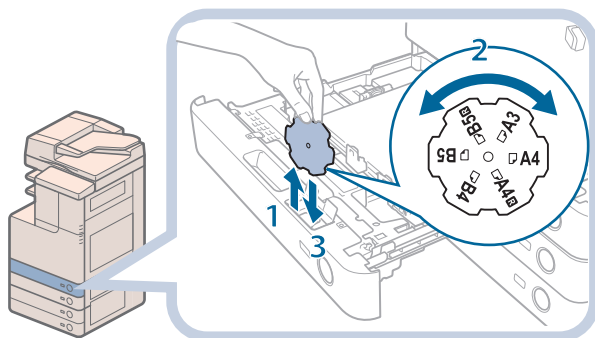
1 用紙を取り出します。

1. 用紙サイズを変更するカセットのオープンボタンを押す
2. カセットの取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す
3. セットされている用紙をすべて取り出す

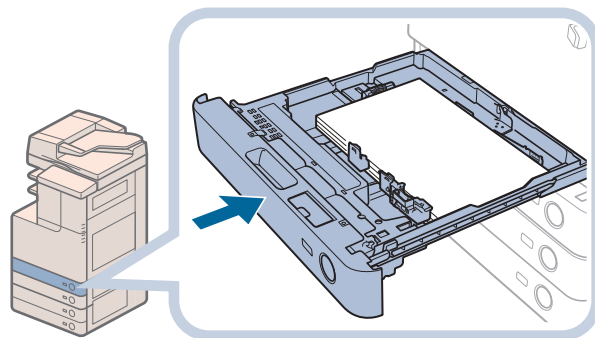
カセットガイドの位置を調節します。

1. 左側ガイドの上部をつまみながらスライドさせて、セットする用紙サイズの指標にあわせる
2. 前側ガイドの上部をつまみながらスライドさせて、セットする用紙サイズの指標にあわせる

重要

ガイドは、「カチッ」と音がする位置までスライドさせます。左側ガイドと前側ガイドを正しくあわせないと、用紙サイズがタッチパネルディスプレーに正しく表示されません。また、紙づまりやプリントの汚れ、本製品内部の汚れの原因になりますので、用紙サイズの指標にあわせてください。

3 カセットにセットされている用紙と異なるサイズの用紙をセットします。

1. セットする用紙のサイズと、カセットの用紙サイズ設定があっているかどうかを確認する
2. 用紙の端がカセットの右側面にあたるようにセットする

4 用紙サイズのラベルの表示を変更します。

1. カセットの内カバーを開けて、ラベルを引き上げる
2. 変更後の用紙サイズが右側に来るよう回す
3. ラベルをまっすぐ下に差し込み、内カバーを閉じる

5 カセットを「カチッ」と音がするまでゆっくりと本体に押し込みます。

注意
カセットを本体に戻すときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ
日本でおもに使われている紙のサイズは、A3、A4、B4、B5などの「A/B系列」です。
レター（LTR）やリーガル（LGL）といった「インチ系列」の紙は、北米などの地域でよく使われています。本製品ではお客様の使用状況にあわせて、どちらの系列の紙サイズでも使用できます。

フィーダー（DADF-AC1）

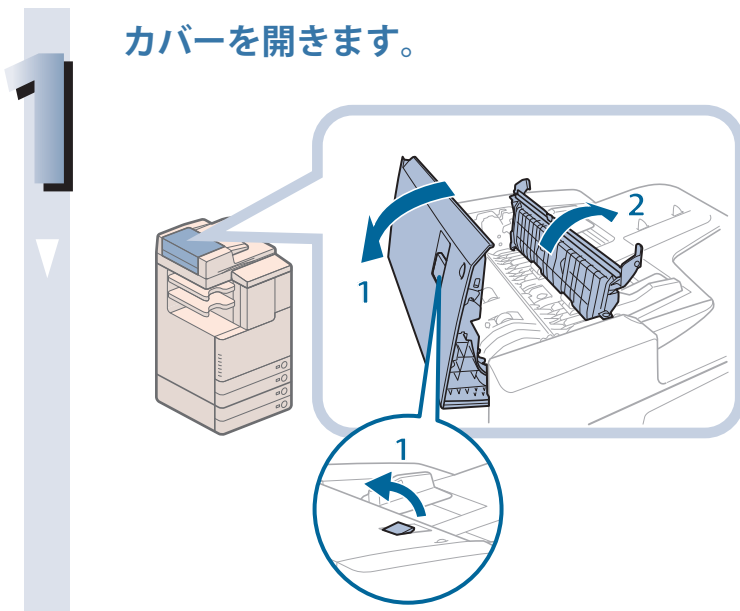
フィーダーは、送信原稿に済みスタンプ（マーク）をつけることができます。済みスタンプがかすれてきたり、つかなくなったりしたときは、スタンプカートリッジを交換してください。

注意
スタンプカートリッジを交換するときは、インクで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れたときは、直ちに水で洗い流してください。

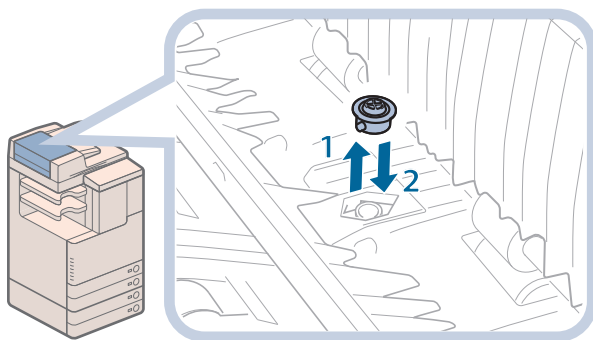
メモ
imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 をお使いの場合、フィーダーはオプションです。

スタンプカートリッジを交換する

1

カバーを開きます。

1. レバーを引いてフィーダーカバーを開く
2. 手前側のつまみを持って、中カバーを開く

2

スタンプカートリッジをセットします。

1. ピンセットを使って、古いスタンプカートリッジを取り外す
2. ピンセットを使って、新しいスタンプカートリッジを「カチッ」と音がするまで中に押し込む

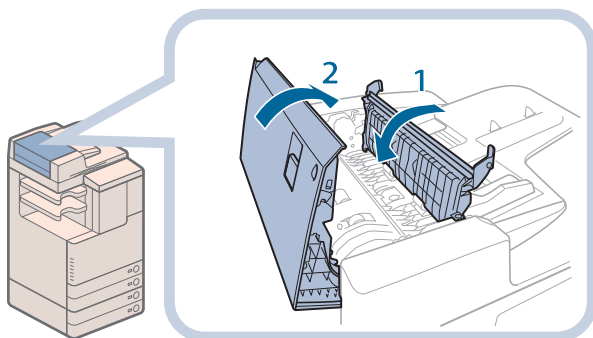
重要

・スタンプカートリッジのスタンプ面が突き出ないようにセットしてください。
・スタンプカートリッジを正しい位置にセットしないと、紙づまりの原因になる可能性があります。

3

カバーを閉じます。

1. 中カバーを閉じる
2. フィーダーカバーを閉じる

注意

カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

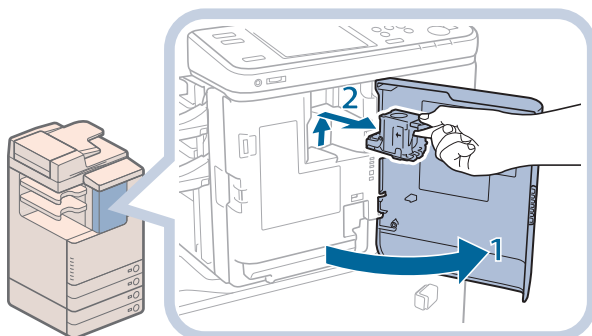
インナーフィニッシャー・C1

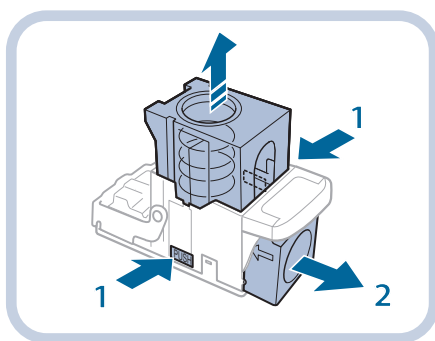
インナーフィニッシャー・C1 の針ケースを交換する方法について説明します。

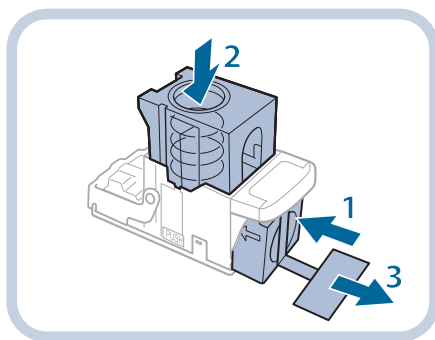
メモ

- インナーフィニッシャー・C1 はオプションです。
- 針ケースは、針がなくなる前に販売店でお求めになることをおすすめします。

針ケースの交換

フィニッシャーから針カートリッジを取り外します。

1. フィニッシャーの前カバーを開く
2. 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから、引き出す

針カートリッジから、空の針ケースを取り出します。

1. 針カートリッジ両側面にある「PUSH」部分を押す
2. 針カートリッジのバネが上にあがったら、針ケースを取り出す

3 針カートリッジに、新しい針ケースを取り付けます。

1. 新しい針ケースをセットする
2. 針カートリッジのバネが「カチッ」と音がするまで、針ケースを指で押し込む
3. 針をとめているテープをまっすぐに引き抜く

重要

- 針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。
- 針をとめてあるテープは、カートリッジにセットする前にはがさないでください。
- 一度にセットできる針ケースは 1 個までです。
- 斜めに引くとテープが途中で切れる恐れがあります。必ずまっすぐ引き抜いてください。

4 フィニッシャーに針カートリッジを取り付けます。

1. 針カートリッジをフィニッシャーに差し込んだあと、下方向へしっかりと押し込む
2. フィニッシャーの前カバーを閉じる

注意

カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ

カバーを閉じると、自動的に数回空うちして、針の頭出しを行うことがあります。

トナー容器の交換

トナーが残り少なくなると、タッチパネルディスプレーにメッセージが表示されます。しばらくプリントできますが、タッチパネルディスプレーに表示されている色の新しいトナー容器を用意してください。

トナーがなくなり、プリントできない状態になると、タッチパネルディスプレーにトナー容器の交換方法が表示されます。次の手順に従ってトナー容器を交換してください。

［閉じる］を押したときは、トナーをすぐに交換しなくても、モードの設定、原稿の読み込みなどの操作を続けることができます。

警告

トナー容器を火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

- **トナー容器は幼児の手の届かないところへ保管してください。**
- **トナーを誤って飲んだときは、直ちに医師に相談してください。**
- **トナーが衣服や手に付着したときは、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。**

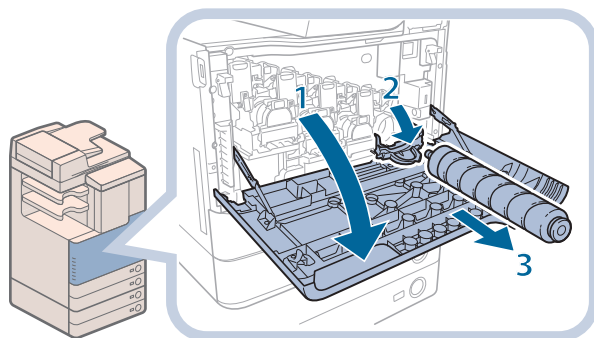
重要

- トナー容器は必ず本製品専用のものをお使いください。
- トナー容器の交換は、トナー容器交換のメッセージが表示されてから行ってください。
- トナー容器の交換は、プリント中に行わないでください。

メモ

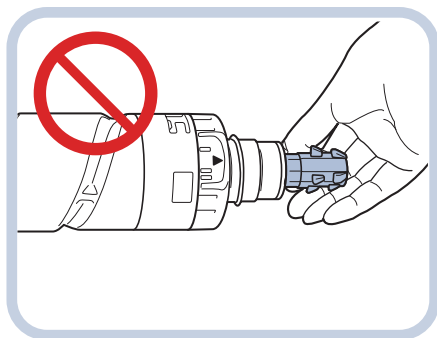
- 「トナー容器の準備が必要です。（継続プリント可）」というメッセージが表示されたときのプリント可能枚数は、約 1,000 枚です。トナーがなくなる前に新しいトナーを用意してください。
- タッチパネルディスプレーに表示される［前の手順へ］、［次の手順へ］を押して、交換方法を確認することができます。
- トナーがなくなり中断したプリントジョブは、トナー容器の交換後に自動的に再開します。

1

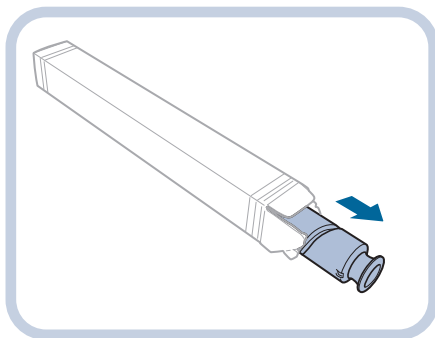
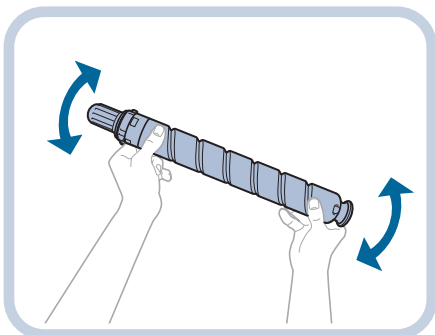
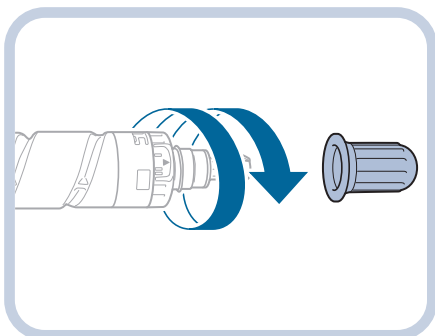
タッチパネルディスプレーに表示されている色のトナー容器を取り外します。

1. 本体前カバーを開く
2. 交換するトナー容器のカバーを最後まで開く
3. トナー容器を引き出す

トナー容器が半分程度出てきたら、容器の下に手を添えながらまっすぐ引き出してください。

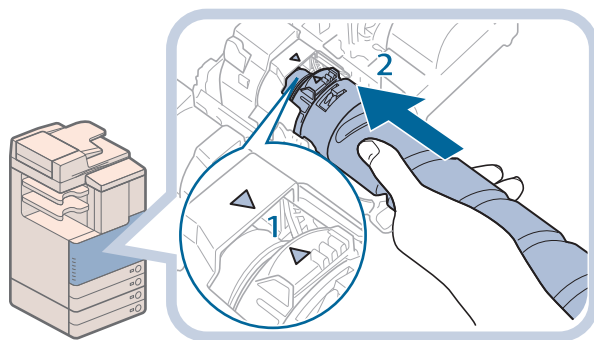
警告

使用済みのトナー容器を火中に投じないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

メモ

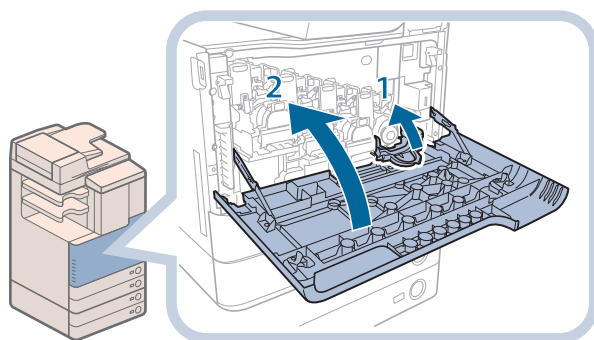
トナー容器の先端部に触れたり、何かにぶつけたりするなどの衝撃を与えないでください。トナーが漏れることがあります。

新しいトナー容器の準備をします。

1. 新しいトナー容器を箱から取り出す

2. 新しいトナー容器を両手で持ちながら、10 回程度振る

3. 新しいトナー容器の保護キャップを取り外す

矢印の方向に回して、保護キャップを取り外します。

3 新しいトナー容器をセットします。

1. 新しいトナー容器の先端近くのリングに示されている矢印と本体トナー入り口に示されている矢印を、図のようにあわせる
2. 新しいトナー容器を奥まで押し込む

メモ
トナー容器が半分程度入るまで、容器の下に手を添えながらまっすぐ押し込んでください。

4 カバーを閉じます。

1. 交換したトナー容器のカバーを閉じる
2. 本体前カバーを閉じる

注意
カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

回収トナー容器の交換

回収トナー容器の空き容量が少なくなると、タッチパネルディスプレーにメッセージが表示されます。このようなときは、新しい回収トナー容器を用意してください。
回収トナー容器がいっぱいになると、タッチパネルディスプレーに交換方法が表示されます。次の手順に従って回収トナー容器を交換してください。
回収トナー容器をすぐに交換しなくても、しばらくはプリントできます。プリント可能枚数は、プリントする内容によって異なります。
ただし、そのままプリントしつづけると、エラーが発生してプリントできなくなります。

警告

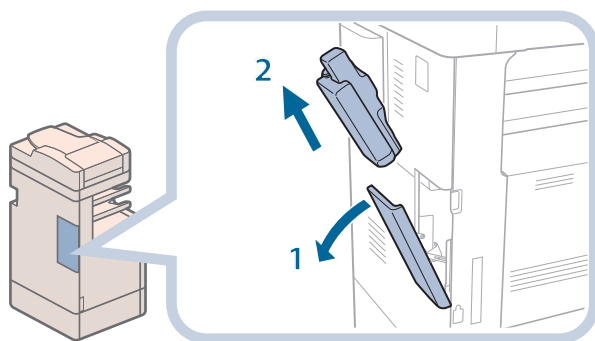
回収トナー容器は火中に投じないでください。また､火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

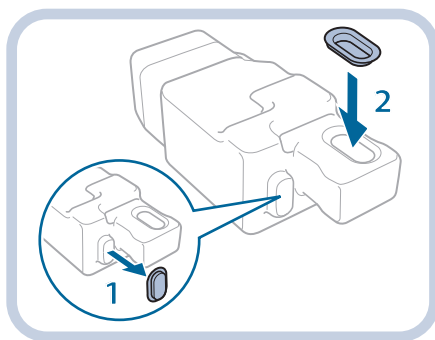
重要

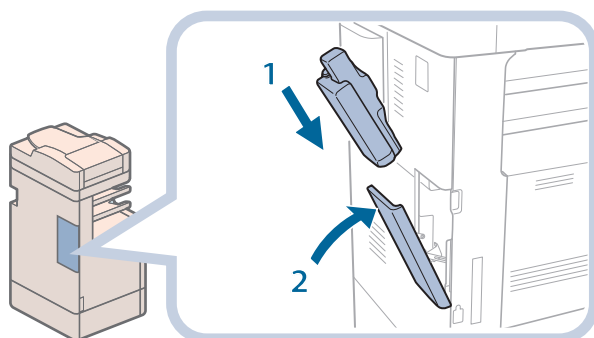
- 回収トナーはサービス担当者が回収します。回収トナー容器から外したふたで口をふさいでください。
- 回収トナーは再利用できません。新しいトナーと混ぜないでください。
- 回収トナー容器は必ず本製品専用のものをお使いください。
- 回収トナー容器の交換は、回収トナー容器交換のメッセージが表示されてから行ってください。

メモ

- タッチパネルディスプレーに表示される［前の手順へ］、［次の手順へ］を押すと、交換方法を確認することができます。
- 回収トナー容器の交換で中断したジョブは、交換後自動的に再開します。
- 回収トナー容器は本体が動作中でも交換できます。

1 本体背面左側にある回収トナー容器を取り外します。

1. 回収トナー容器カバーを開く
2. 回収トナー容器を引き出す

2 回収トナー容器にキャップを装着します。

1. 回収トナー容器からキャップをはずす
2. トナー回収口にキャップでふたをする

新しい回収トナー容器をセットします。

1. 回収トナー容器をセットする
2. 回収トナー容器カバーを閉じる

注意

回収トナー容器カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

日常のお手入れ

原稿がきれいに読み取れないときには、次の箇所を清掃してください。快適なプリント結果を得ていただくために、1 か月に 1 回程度、清掃してください。

- 原稿台ガラス
- フィーダー／原稿台カバーの裏面
- フィーダーローラー部

警告

- **清掃するときは、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。**
- **電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。**

重要

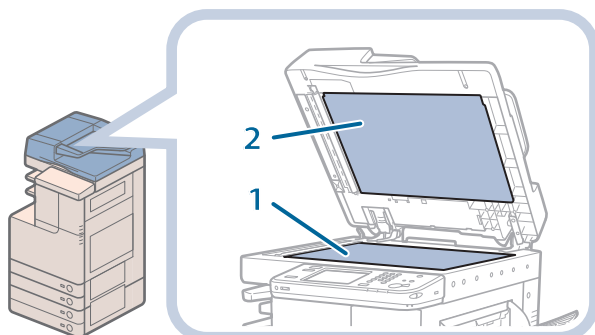
- 清掃するときは、水で濡らしすぎると原稿の破損や故障の原因になることがあります。
- アルコールやシンナー、ベンジンなどの溶剤はプラスチック部を変質させることがあります。絶対に使わないでください。

メモ

imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 をお使いの場合、フィーダーはオプションです。

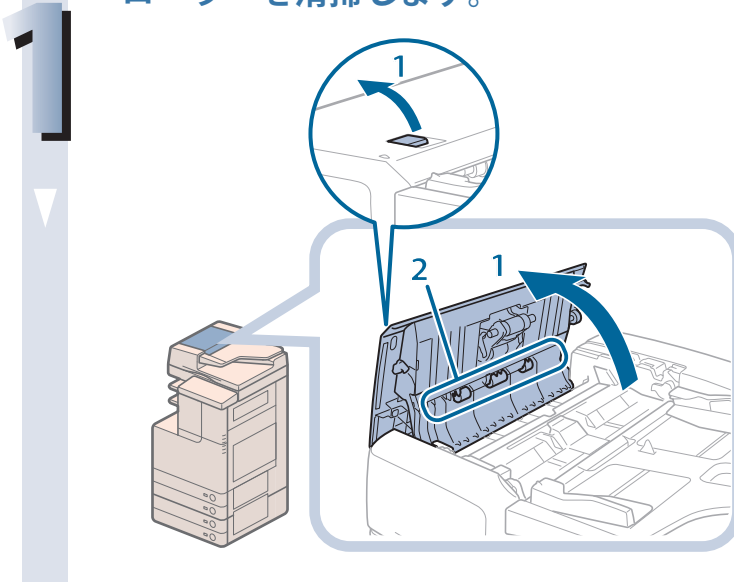
原稿台の清掃

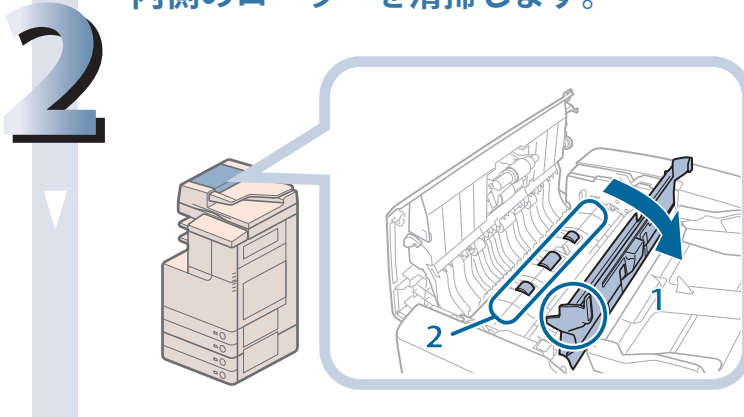
原稿台ガラス、フィーダー／原稿台カバーの裏面が汚れていると原稿がきれいに読み取れなかったり、原稿のサイズを誤って検知したりすることがあります。

水または中性洗剤を含ませて固く絞った布で清掃してから、かわいた柔らかい布でから拭きしてください。

1. 原稿台ガラスを清掃
2. フィーダー／原稿台カバー裏面を清掃

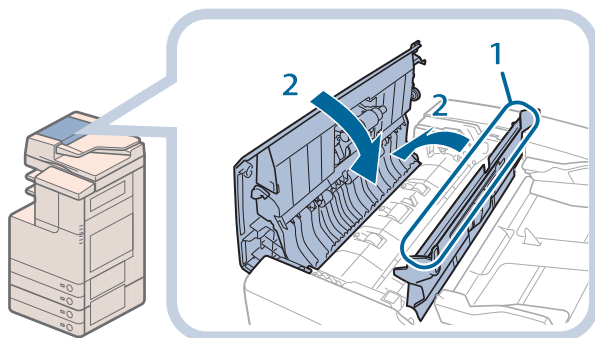
フィーダーを清掃する

フィーダーから給紙した原稿にスジ状の汚れがつくときは、ローラー部を清掃してください。
水を含ませて固く絞った布で清掃し、かわいた柔らかい布でから拭きしてください。

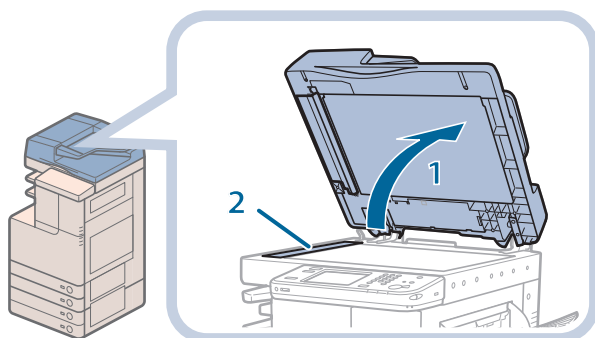
重要
ローラーは回しながら清掃してください。

1 ローラーを清掃します。

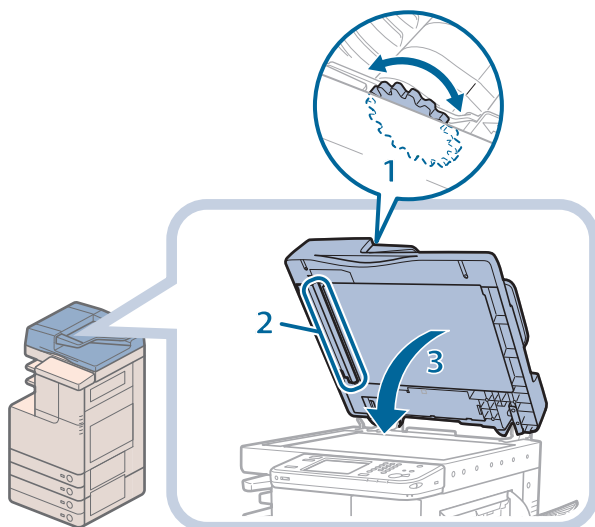
1. レバーを引いてフィーダーカバーを開く
2. フィーダーカバーの裏側にあるローラー（3 か所）を清掃

2 内側のローラーを清掃します。

1. 手前側のつまみを持って中カバーを開く
2. 内側のローラー（3 か所）を清掃

3 中カバーの上側の透明なプラスチック部を清掃します。

1. プラスチック部分を清掃
2. 中カバー、フィーダーカバーの順に閉じる

注意
カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 原稿読み取り部（細長いガラス部）を清掃します。

1. フィーダーを開く
2. 原稿読み取り部を清掃

5 樹脂ローラーとその周辺を清掃します。

1. フィーダーカバーの内側にあるフィードダイヤルを回しながら、樹脂ローラーを回転させる
2. 樹脂ローラーを回転させながら、その周辺を清掃
3. フィーダーを閉じる

注意
フィーダーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

フィーダーのクリーニング

ローラーに鉛筆の粉などが付着して、原稿が汚れたままプリントされることがあります。このようなときは、フィーダー（原稿給紙ローラー）の自動クリーニングを行ってください。

（設定／登録）を押します。

［調整 / メンテナンス］→［メンテナンス］→［フィーダーのクリーニング］を押します。

フィーダーに白紙を約 10 枚セット→［開始］を押します。

フィーダーのクリーニングには約 15 秒間かかります。
A4 サイズの普通紙をセットしてください。
フィーダーのクリーニングが完了したら、再度読み込みを行ってください。

本体内のクリーニング

プリントした用紙にスジが入ったり、画像の一部が不均一にぬけたりするときは、本体の内部が汚れている可能性があります。このようなときは、本体内の自動クリーニングを行ってください。

（設定／登録）を押します。

［調整 / メンテナンス］→［メンテナンス］→［本体内のクリーニング］を押します。

［開始］を押します。

本体内のクリーニングには約 170 秒間かかります。
本体内のクリーニングが完了したら、再度プリントを行ってください。

消耗品

本製品には次のような消耗品が用意されています。詳しくは、本製品をお買い求めになった販売店にお問い合わせください。用紙やトナーは、なくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

専用用紙

普通紙（A3、B4、A4、B5、A5 サイズ）のほかに、再生紙、色紙、OHP フィルム（本製品専用）、第 2 原図用紙、ラベル用紙などがあります。

注意

用紙は火気のある場所に保管しないでください。用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

重要

・市販されている用紙にはいろいろな種類があり、本製品にあわないものもあります。お使いになるときは、本製品をお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

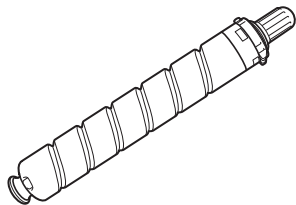
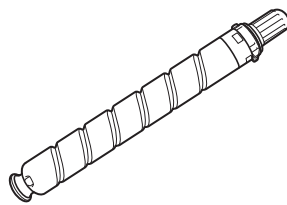
・用紙補給後に残った用紙は、湿気を避けるため包装紙にしっかりと包んで保管してください。

メモ

より良いプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。

専用トナー容器

トナー容器交換のメッセージが表示されたら、本製品専用のトナー容器に交換してください。

NPG-52：ブラック、シアン、マゼンタ、イエロートナー

ブラックトナー　　シアン、マゼンタ、イエローのトナー

警告

・トナー容器は火中に投じないでください。爆発の恐れがあります。

・トナー容器は火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

トナーは幼児の手の届かないところへ保管してください。トナーを飲んだときは、直ちに医師に相談してください。

重要

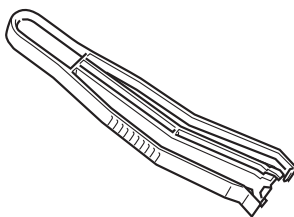
- トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。望ましい環境は、温度 30 ℃以下、湿度 80 % 以下です。
- トナーの偽造品にご注意ください。

トナーの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」を含む非純正トナーに起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://www.canon.com/counterfeit>

スタンプカートリッジ

済スタンプ用のインクカートリッジです。インクカートリッジを交換するためのピンセットが付属しています。

スタンプインクカートリッジ・C1

保守について

本製品は、所定の保守契約に基づいて修理や調整を行います。詳しくは、お求めになった販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品

本製品の補修用性能部品およびトナーの最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。

用紙について

より良いプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙をお使いになることをおすすめします。

各オプションで使用できる用紙の厚さに制限がありますので、注意してください。

使用可能な用紙については e- マニュアル > 基本的な使いかたを参照してください。

重要

- 次のような用紙にはプリントしないでください。紙づまりの原因になります。
  - 大きくカールした用紙、しわのある用紙
  - 薄いわら半紙
  - 熱転写プリンターで印字した用紙
  - 熱転写プリンターで印字した用紙のウラ面
  - インクジェット専用の郵便はがき
- 市販されている用紙にはいろいろな種類があり、本製品にあわないものもあります。お使いになるときは、本製品をお買い求めの販売店にお問い合わせください。

その他

本製品ならびに関連する消耗品やサービス役務などは、別途消費税を申し受けますのでご了承ください。

紙づまりが起きたときには

紙づまりが起きると、タッチパネルディスプレーに、紙づまり箇所と処理方法を示す画面が表示されます。画面の指示に従って処理してください。画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

紙づまりの箇所を示す画面について

紙づまりの箇所は、画面右のウインドウで確認できます。［閉じる］を押すと、紙づまりをすぐに処理しなくても、モードの設定、原稿の読み込みなどの操作を続けることができます。

警告

本体内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が触れないようにしてください。やけどや感電の原因になることがあります。

注意

- **原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりけがをしたりしないように、注意してください。本体内部から取り除くことができないときは、担当サービスにお問い合わせください。**
- **紙づまりで用紙を本体内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れたときは、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。**
- **紙づまりで用紙を本体内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入ったときは、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。**
- **本体内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。**
- **紙づまりの処理がすべて終了したら、本製品から直ちに手を離してください。ローラー部に衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。**

重要

- フィーダーで紙づまりが発生したときは、続けて操作を行うことはできません。画面の指示に従って用紙を取り除いてください。（→フィーダーの紙づまり処理：P.91）
- MEAP 画面を表示しているときは、タッチパネルディスプレーの一番下の行にメッセージが表示されます。（状況確認／中止）を押したあと、画面の指示に従って用紙を取り除いてください。
- 画面に表示された紙づまり位置に、実際に紙がつまっていないことがあります。そのような場合も、画面の表示に従って、必ずすべての箇所を確認するようにしてください。

メモ

複数の箇所に用紙がつまっているときは、タッチパネルディスプレーに表示される画面の指示に従って処理してください。

本体の紙づまり処理

紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

排紙オプション未装着時

オプションのインナー 2 ウェイトレイ・F1、コピートレイ・J1、インナーフィニッシャー・C1 が装着されていないときは、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

メモ

手差しトレイに用紙をセットしている場合は、セットされている用紙を取り除いてください。

1

カセット右下カバー、右上カバーを開いて、紙づまりがないかどうかを確認します。

1. カセット右下カバーを開く
2. カセット右上カバーを開く

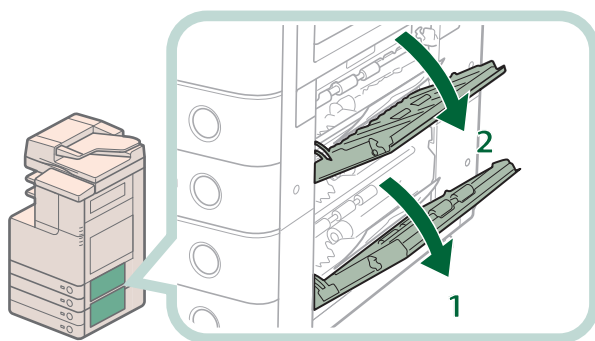
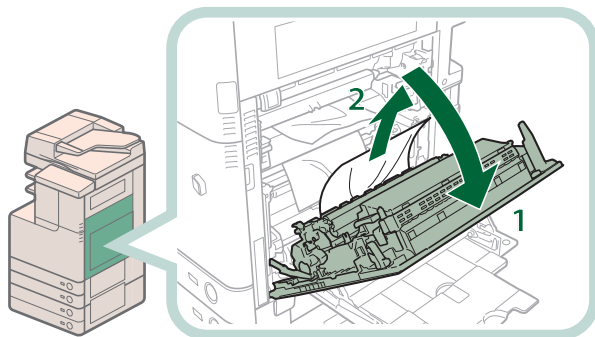
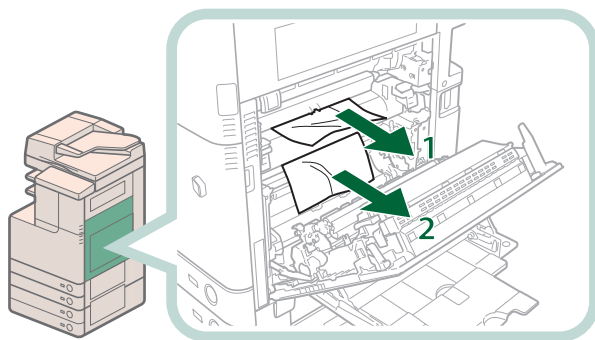
つまっている用紙があったら取り除いて、カバーを閉じます。

注意

カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ

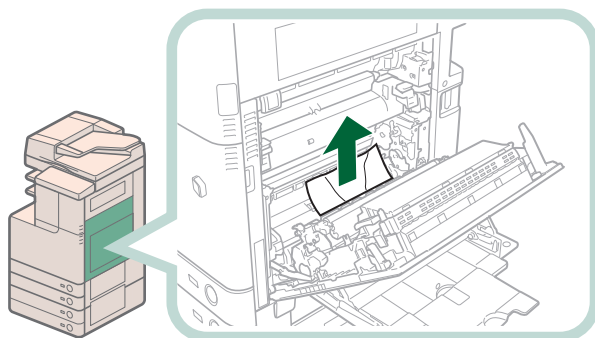
カバーは「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。

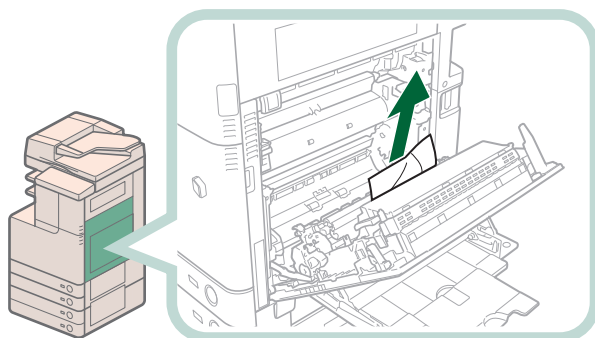
2

本体右下カバー内につまっている用紙を取り除きます。

1. 取っ手を持ちながら本体右下カバーを開く
2. 本体右下カバー内の紙づまりを取り除く

第１排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

1. 定着ユニットの上から紙づまりを取り除く
2. 引き抜けないときは、下から引き抜く

4

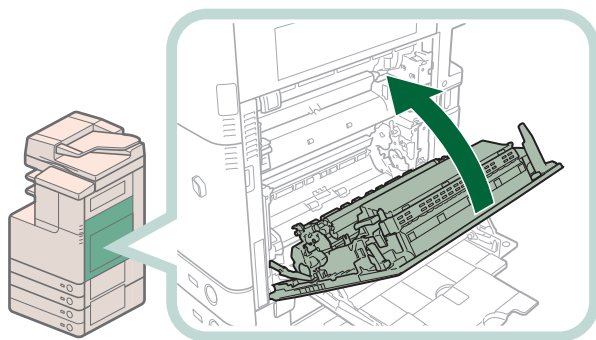
手差し給紙の搬送部につまっている用紙を取り除きます。

メモ

手差し給紙の搬送部の下側から紙づまりを処理できないときは、手差しトレイ側から処理してください

両面搬送部につまっている用紙を取り除きます。

6 本体右下カバーを閉じます。

注意

カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ

カバーは、「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。

7 画面の指示に従って操作します。

メモ

紙づまりの処理方法を示す画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

排紙オプション装着時

オプションのインナー２ウェイトレイ・F1、コピートレイ・J1、インナーフィニッシャー・C1 が装着されているときは、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

メモ

手差しトレイに用紙をセットしている場合は、セットされている用紙を取り除いてください。

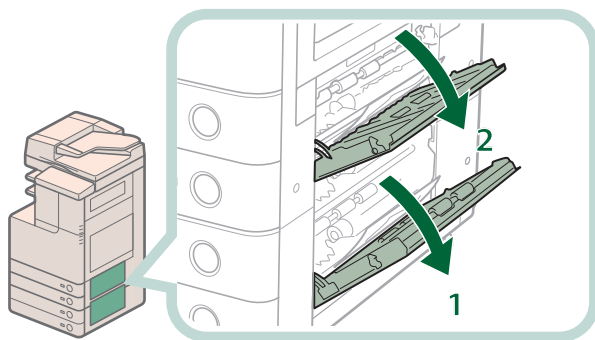
1 カセット右下カバー、右上カバーを開いて、紙づまりがないかどうかを確認します。

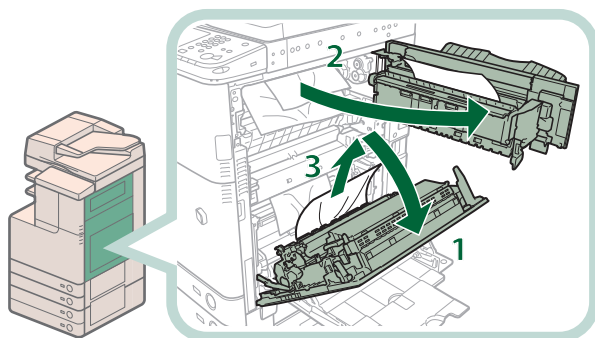
1. カセット右下カバーを開く
2. カセット右上カバーを開く

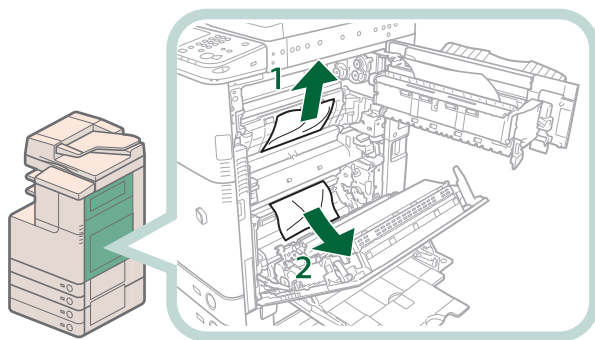
つまっている用紙があったら取り除いて、カバーを閉じます。

注意

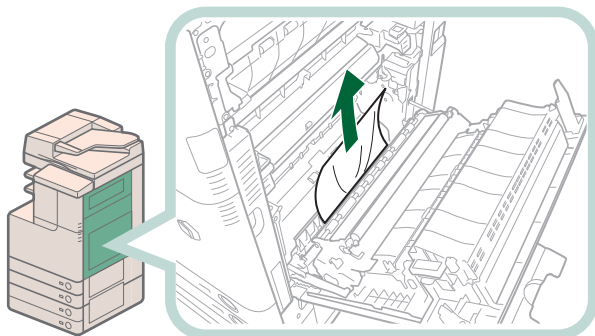
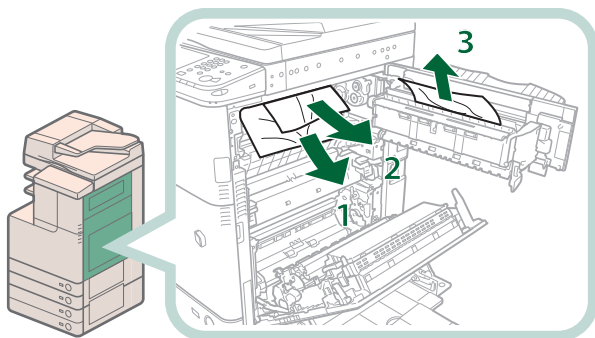
カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

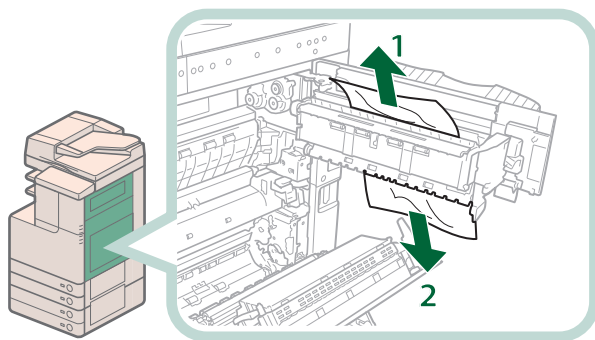
メモ

カバーは「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。

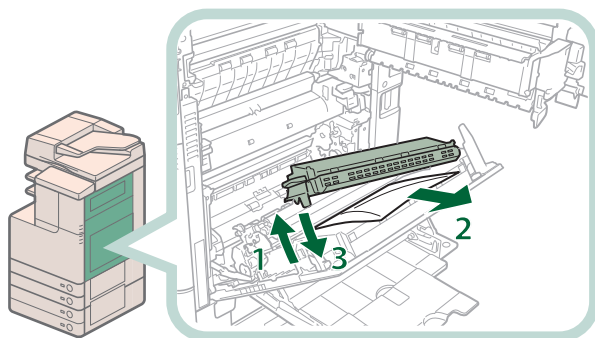
2 本体のカバー内につまっている用紙を取り除きます。

1. 取っ手を持ちながら本体右下カバーを開く
2. 緑色の取っ手を持ちながら本体右上カバーを開く
3. 本体右下カバー内の紙づまりを取り除く

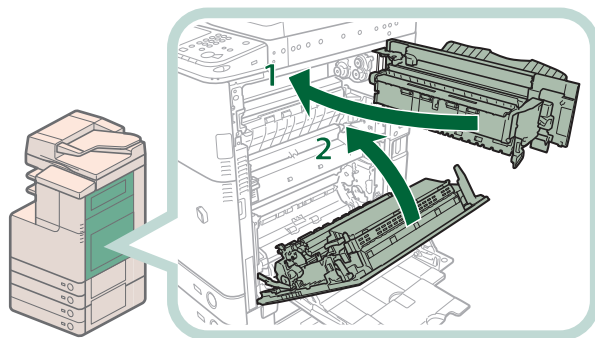
3 第 1 排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

1. 定着ユニットの上から紙づまりを取り除く
2. 引き抜けないときは、下から引き抜く

4 手差し給紙の搬送部につまっている用紙を取り除きます。

メモ
手差し給紙の搬送部の下側から紙づまりを処理できないときは、手差しトレイ側から処理してください。

5 第 2 排紙トレイ、反転部、第 3 排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

1. 第 2 排紙トレイの紙づまりを取り除く
2. 緑色の反転部ガイドを押し下げながら紙づまりを取り除く
3. 第 3 排紙トレイの紙づまりを取り除く

6 両面搬送部の上部または下部から、つまっている用紙を取り除きます。

1. 両面搬送部上部から紙づまりを取り除く
2. 両面搬送部下部から紙づまりを取り除く

7 両面ユニットにつまっている用紙を取り除きます。

1. 両面ユニットを持ち上げる
2. つまっている用紙を取り除く
3. 両面ユニットを戻す

8 本体のカバーを閉じます。

1. 本体右上カバーを閉じる
2. 本体右下カバーを閉じる

注意

カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

重要

カバーは必ず、本体右上カバーを閉じてから、本体右下カバーを閉じてください。

メモ

カバーは、「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。

9 画面の指示に従って操作します。

メモ

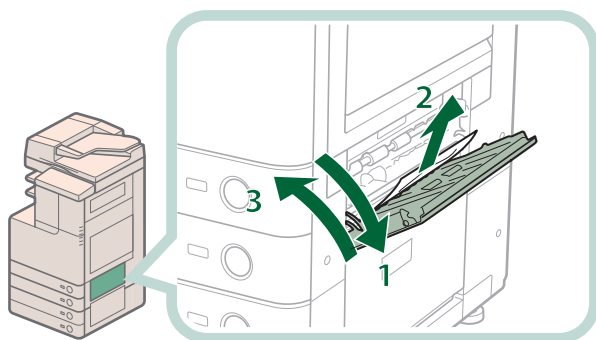
紙づまりの処理方法を示す画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

カセットの紙づまり処理

紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

メモ

カセット 1 の紙づまり処理を行う場合は、手順 3 以降を参照してください。

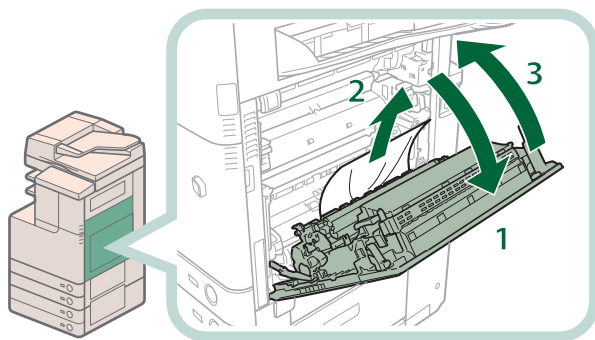
1 カセット右上カバー内につまっている用紙を取り除きます。

1. 取っ手を持ちながらカセット右上カバーを開く
2. つまっている用紙を取り除く
3. カセット右上カバーを閉じる

注意

カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ

カバーは、「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。

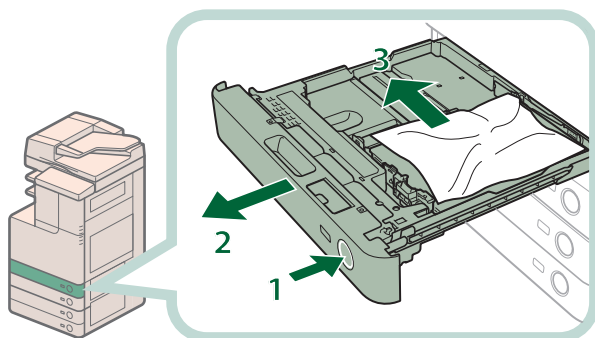
2 本体右下カバー内につまっている用紙を取り除きます。

1. 取っ手を持ちながら本体右下カバーを開く
2. つまっている用紙を取り除く
3. 本体右下カバーを閉じる

注意

カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ

カバーは、「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。

3 カセット内につまっている用紙を取り除きます。

1. カセットのオープンボタンを押す
2. カセットの取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す
3. つまっている用紙を取り除く

カセットを「カチッ」と音がするまでゆっくりと本体に押し込みます。

注意

カセットを本体に戻すときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

画面の指示に従って操作します。

メモ

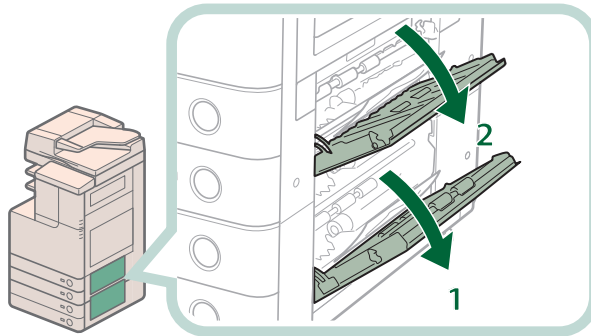
紙づまりの処理方法を示す画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

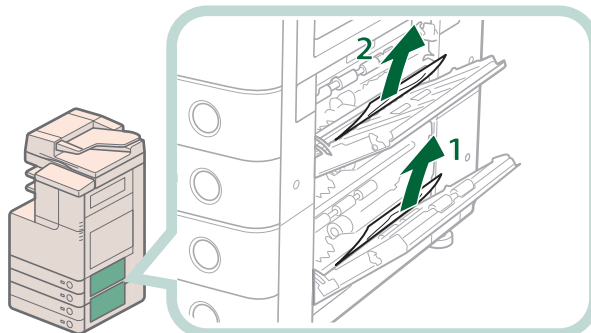
2段カセットペディスタル・AF1の紙づまり処理

紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

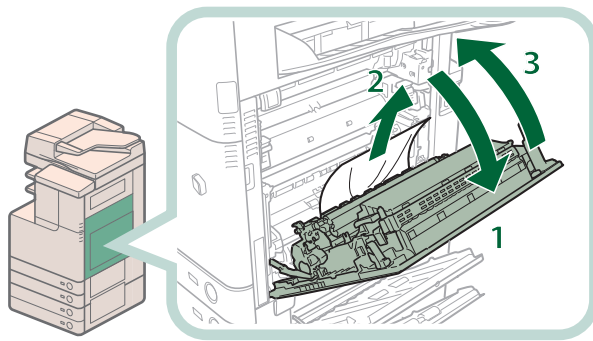
メモ

2段カセットペディスタル・AF1はオプションです。

1 カセット右下カバー、右上カバーを開きます。

1. カセット右下カバーを開く
2. カセット右上カバーを開く

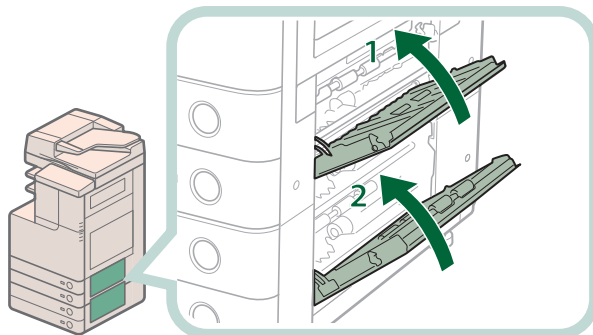
2 カセット右下カバー、右上カバー内につまっている用紙を取り除きます。

1. カセット右下カバー内の用紙を取り除く
2. カセット右上カバー内の用紙を取り除く

困ったときには

本体右下カバー内につまっている用紙を取り除きます。

1. 本体右下カバーを開く
2. つまっている用紙を取り除く
3. 本体右下カバーを閉じる

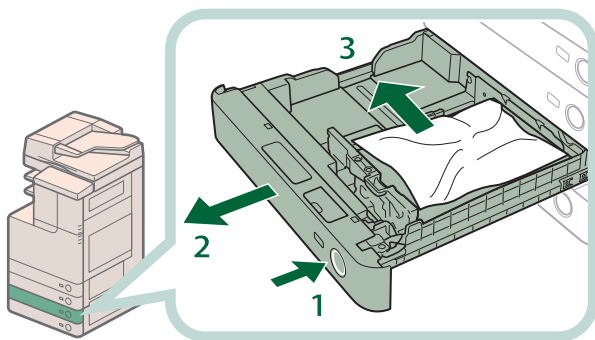
注意
カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ
カバーは「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。

4 カバーを閉めます。

1. カセット右上カバーを閉じる
2. カセット右下カバーを閉じる

注意
カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ
カバーは「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。

5 カセット内につまっている用紙を取り除きます。

1. 給紙中のカセットのオープンボタンを押す
2. カセットの取っ手を持ち、止まる位置まで手前に引き出す
3. つまっている用紙を取り除く

6 カセットを「カチッ」と音がするまでゆっくりと本体に押し込みます。

注意

カセットを本体に戻すときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 画面の指示に従って操作します。

メモ

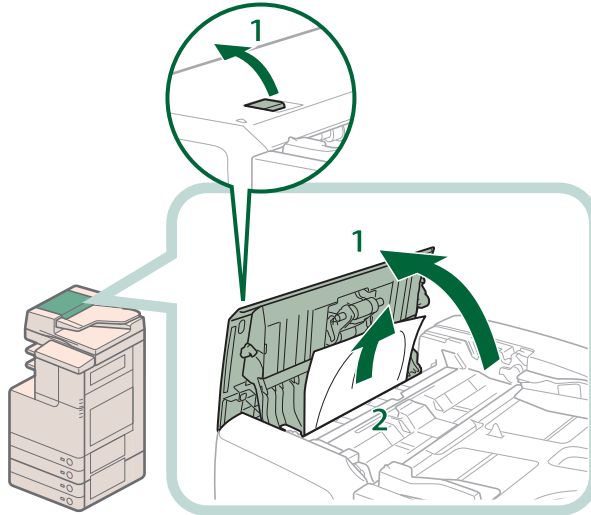
紙づまりの処理方法を示す画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

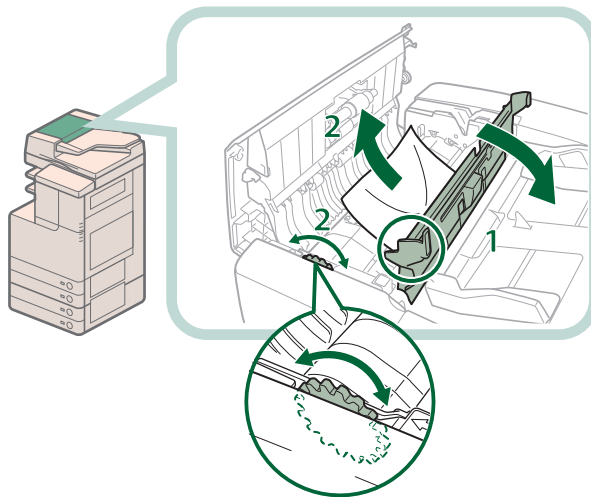
フィーダーの紙づまり処理

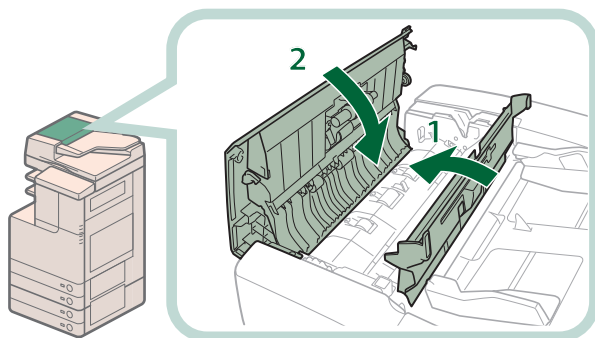
紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

メモ

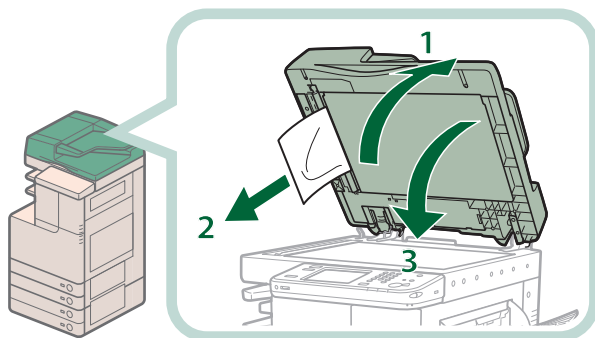
imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 をお使いの場合、フィーダーはオプションです。

1 フィーダーカバー内につまっている用紙を取り除きます。

1. レバーを引いてフィーダーカバーを開く
2. つまっている用紙を取り除く

2 中カバーを開き、つまっている用紙を取り除きます。

1. 手前のつまみを持って中カバーを開く
2. フィーダーカバーの内側にあるフィードダイヤルを回して用紙を取り除く

3 フィーダーカバーを閉じます。

1. 中カバーを閉じる
2. フィーダーカバーを閉じる

注意
カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 フィーダーにつまっている用紙を取り除きます。

1. フィーダーを開く
2. つまっている用紙を取り除く
3. フィーダーを閉じる

注意
フィーダーカバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

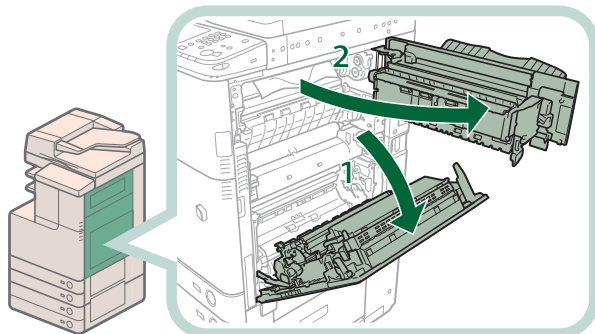
画面の指示に従って操作します。

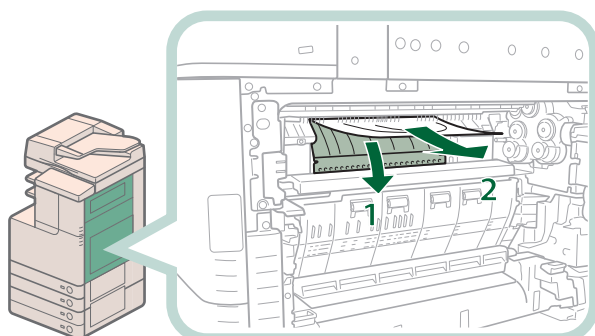
メモ
紙づまりの処理方法を示す画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

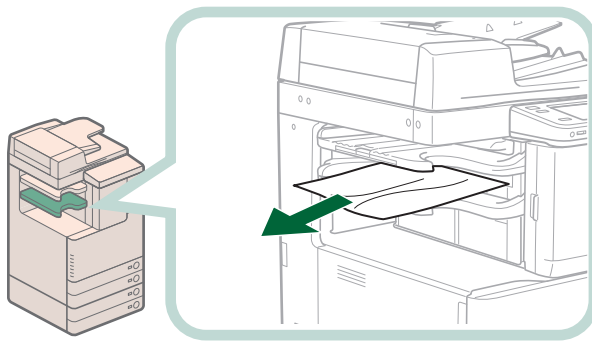
インナーフィニッシャー・C1の紙づまり処理

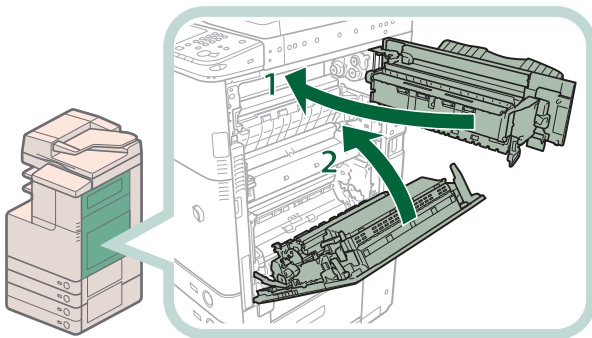
紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

メモ
インナーフィニッシャー・C1はオプションです。

1 本体のカバーを開きます。

1. 取っ手を持ちながら本体右下カバーを開く
2. 緑色の取っ手を持ちながら本体右上カバーを開く

2 排紙ガイドを下げながら、つまっている用紙を取り除きます。

排紙ガイド以外に用紙がつまっているときは、「本体の紙づまり処理」の「排紙オプション装着時」の手順に従って、つまっている用紙を取り除きます。（→ P. 83）

3 フィニッシャーの排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

メモ
ホチキスを設定してプリントしていたときは、ホチキスでとじる前の出力中の束を取り除かないでください。紙づまりを処理したあと、出力が再開されます。

4 本体のカバーを閉じます。

1. 本体右上カバーを閉じる
2. 本体右下カバーを閉じる

注意
フィーダーカバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

重要
カバーは必ず、本体右上カバーを閉じてから、本体右下カバーを閉じてください。

メモ
カバーは「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。

5 画面の指示に従って操作します。

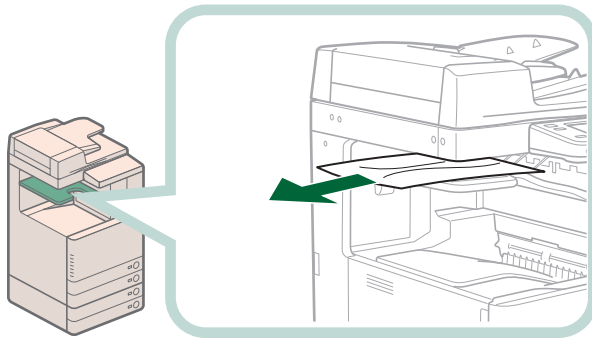
メモ
紙づまりの処理方法を示す画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

インナー 2 ウェイトレイ・F1 の紙づまり処理

紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

インナー 2 ウェイトレイ・F1 はオプションです。

「本体の紙づまり処理」の「排紙オプション装着時」の手順に従って、つまっている用紙を取り除きます。（→ P. 83）

インナー 2 ウェイトレイから用紙を取り除きます。

画面の指示に従って操作します。

紙づまりの処理方法を示す画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

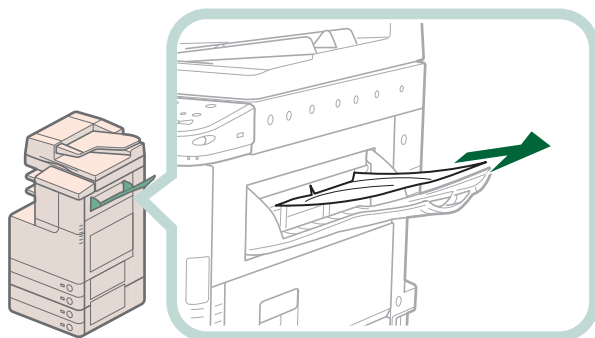
コピートレイ・J1の紙づまり処理

紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、次の手順に従って用紙を取り除いてください。

メモ

コピートレイ・J1はオプションです。

「本体の紙づまり処理」の「排紙オプション装着時」の手順に従って、つまっている用紙を取り除きます。（→ P. 83）

コピートレイから用紙を取り除きます。

画面の指示に従って操作します。

メモ

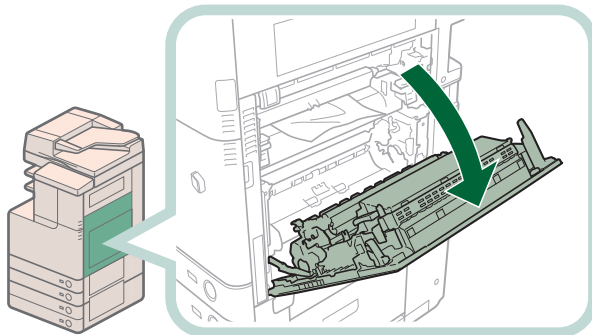
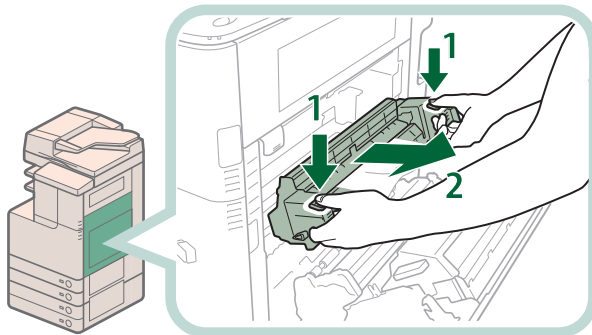
紙づまりの処理方法を示す画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

定着ユニット内の紙づまりの処理

定着ユニット内に紙づまりがあるメッセージが表示されたときは、次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

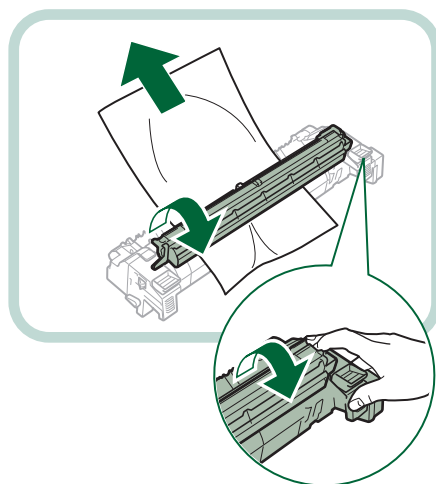
注意

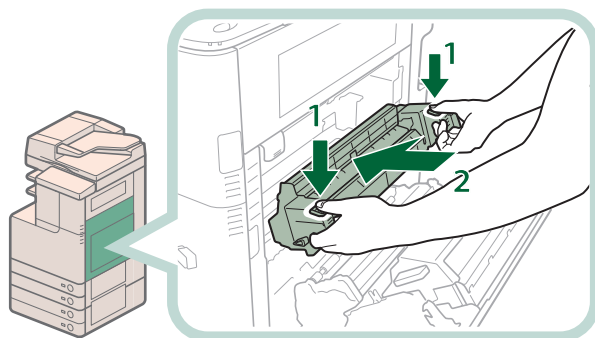
プリンター使用中は定着器周辺が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

1 取っ手を持ちながら本体右下カバーを開けます。

2 定着ユニットを取り外します。

1. 矢印の部分を両手でつまむ
2. 定着ユニットをゆっくりと引き出す

注意

プリンター使用中は定着器周辺が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。

3 つまっている用紙を取り除きます。

1. 定着ユニットを平らなところに置く
2. 上カバーを開けながら、用紙を取り除く

4 定着ユニットを本体に取り付けます。

1. 矢印の部分を両手でつまむ
2. 定着ユニットを溝にあわせて、奥の方にスライドさせる

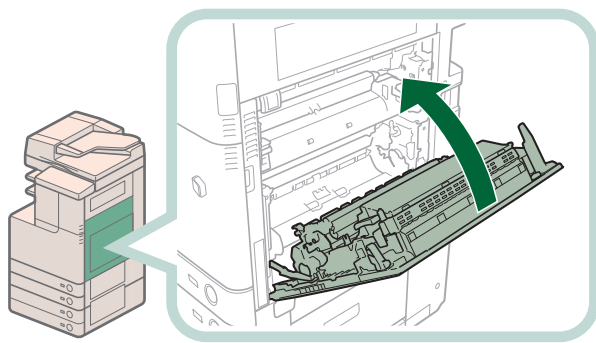
メモ

定着ユニットは、「カチッ」と音がするまでゆっくり押し込みます。

本体右下カバーを閉めます。

注意

カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ

- カバーは「カチッ」と音がするまでゆっくりと閉じます。
- 紙づまりの処理方法を示す画面は、紙づまりが処理されるまで繰り返し表示されます。

頻繁に紙づまりが起こるときは

本製品に不具合がないのに紙づまりが頻発するときは、次のような原因が考えられます。状況に応じて次のように対処してください。

● 本体内に紙片が残っている

つまっている用紙を無理に引っ張ると、用紙が破れて紙片が本体内に残ってしまうことがあります。用紙が破れたときには、残りの紙片もすべて取り除いてください。

● 用紙がカセットに正しくセットされていない

カセットにセットされている用紙が、用紙ガイドの指標と一致しているかどうかを確認してください。

針づまりが起きたときには

針づまりが起きたときには、次の手順に従って針を取り除いてください。

重要

針づまりの処理を行うときは、必ず本製品のカバーやカセットが閉じていることを確認してください。

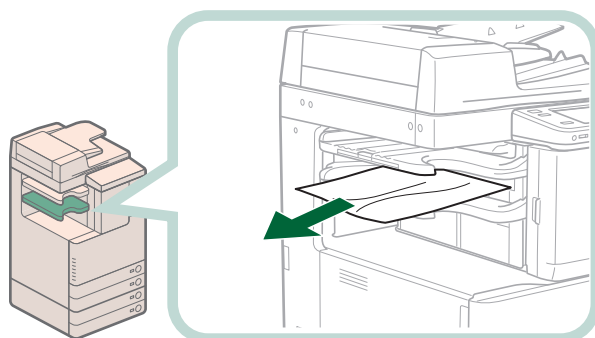
インナーフィニッシャー・C1 の針づまり処理

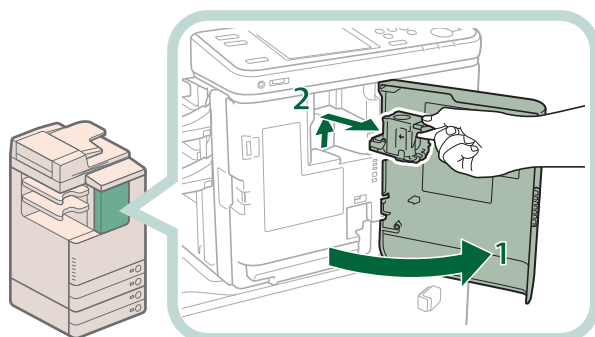
針づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、次の手順に従って針を取り除いてください。

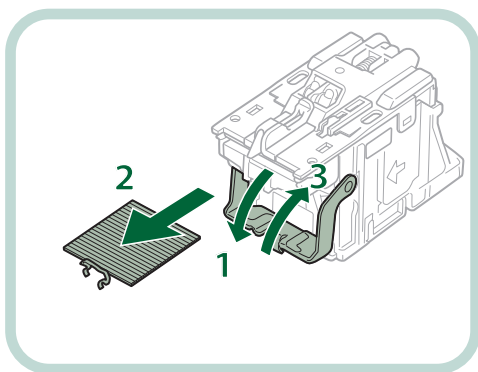
メモ

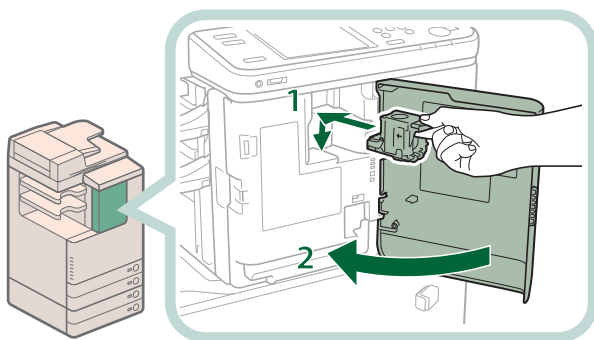
インナーフィニッシャー・C1 はオプションです。

1 フィニッシャーの排紙トレイにつまっている用紙を取り除きます。

メモ

ホチキスを設定してプリントしていたときは、ホチキスでとじる前の出力中の束を取り除かないでください。紙づまりを処理したあと、出力が再開されます。

2 針カートリッジを取り外します。

1. フィニッシャーの前カバーを開く
2. 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き出す

3 針カートリッジから、つまっている針束を取り除きます。

1. 針カートリッジのつまみを下げる
2. 針ケースからスライドされている針束をすべて取り除く
3. 針カートリッジのつまみを元に戻す

4 フィニッシャーに針カートリッジを取り付けます。

1. 針カートリッジをフィニッシャーに差し込んだあと、下方向へしっかりと押し込む
2. フィニッシャーの前カバーを閉じる

注意

カバーを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ

カバーを閉じると、自動的に数回空うちして、針の頭出しを行うことがあります。

読み込み中にメモリーがいっぱいになったときには

本製品のメモリー領域で記憶できるページ数は、次のとおりです。
記憶できる画像領域は、モデルによって異なります。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="2">imageRUNNER ADVANCE C2030F/C2020F</th><th colspan="2">imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020*1</th></tr>
<tr><th>ファンクションごとの記憶領域</th><th>共有領域</th><th>ファンクションごとの記憶領域</th><th>共有領域</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ファンクション名</td><td>コピー</td><td>約 100 ページ</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">約 200 ページ</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>コンピューターからのプリント</td><td>約 100 ページ *2</td></tr>
<tr><td>ファクス（受信用）</td><td colspan="2" rowspan="3">約 6,000 ページ</td><td>約 1,000 ページ</td></tr>
<tr><td>スキャンして送信</td><td colspan="2" rowspan="2">約 5,000 ページ</td></tr>
<tr><td>受信トレイ</td></tr>
</table>

*1 imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 をお使いの場合、オプション HDD（2.5inch/80GB）増設時は imageRUNNER ADVANCE C2030F/C2020F と同等の画像領域になります。
*2 セキュアプリントを除く

例えば imageRUNNER ADVANCE C2030F でコピーの場合、最大
約 6,000 + 100 = 約 6,100 ページ
の画像を記憶できます。
ただし、記憶できるページ数は、受信トレイに保存されているファイルや、待機中のジョブに使用されているメモリーの状況によって異なります。
原稿の読み込み中にメモリーがいっぱいになると、タッチパネルディスプレーにメッセージが表示されます。

メモ

- ファクス／スキャンして送信で、一度に送信できる最大ページ数は、999 ページです。
- imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020 をお使いの場合は、1 ページあたりの容量を減らしても、1 回の送信で 999 ページを送信できない場合があります。原稿を何回かに分けて送信してください。
- 受信トレイ内の不要なファイルを削除すると、メモリーの空き容量を増やせます。

コピーの場合

画面に表示されたメッセージに従って、次のように操作します。

● 「メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。読み込んだページをプリントします。よろしいですか？」と表示されたとき

［はい］または［いいえ］を選択します。

読み込んだ分のコピーをプリントします。プリント終了後、再度残りの原稿の読み込みを行ってください。

読み込んだ分のコピーをプリントしません。

● 「メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。」と表示されたとき

［OK］を選択します。

［OK］：使用しているファンクションの基本画面に戻ります。現在行っているプリントが終了したあと、読み込みなおしてください。

ファクス／スキャンして送信の場合

画面に表示されたメッセージに従って、次のように操作します。

● 「メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。読み込んだページを送信します。よろしいですか？」と表示されたとき

［はい］または［いいえ］を選択します。

読み込んだ分のページを送信します。送信終了後、再度残りの原稿の読み込みを行ってください。

読み込んだ分のページを送信しません。

サービスコール表示

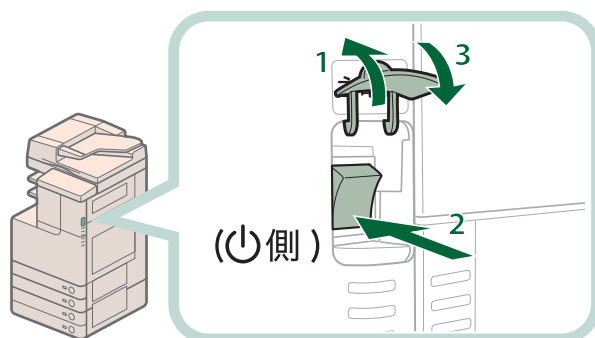
本製品に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、担当サービスに連絡をするよう促す画面が表示されます。

メモ

- 本製品が正常に動作していない状態でも、いくつかのファンクションは使用できることがあります。
- プリント機能が使用できないことを示す「プリンターの点検が必要です。(担当サービスに連絡)」というメッセージが表示されているときでも、プリント機能を使用しないファンクション（[スキャンして送信］など）は使用可能です。ただしコンピューターからのファクス送信はできません。
- スキャン機能が使用できないことを示す「スキャナーの点検が必要です。(担当サービスに連絡)」というメッセージが表示されているときでも、スキャン機能を使用しないファンクション（[保存ファイルの利用］など）は使用可能です。

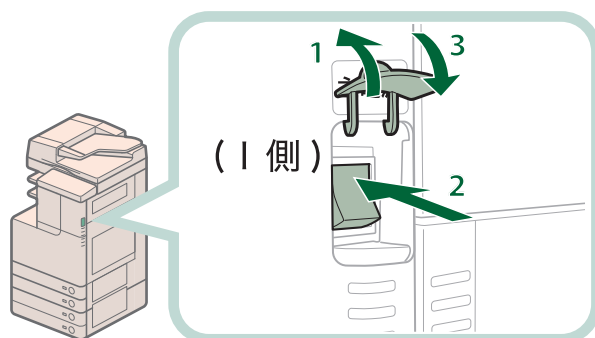
担当サービスを呼ぶときは

担当サービスに連絡をするよう促す画面が表示されたら、次のように対処してください。

1 電源を切ります。

1. 主電源スイッチのカバーを開く
2. スイッチを「⏻」側へ倒す
3. カバーを閉じる

重要

プリント待機中のデータがあるときに主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

2 主電源ランプが消灯したあとで、10 秒以上待ってからもう一度電源を入れます。

1. 主電源スイッチカバーを開く
2. スイッチを「 I 」側へ倒す
3. カバーを閉じる

それでも正常に作動しないときは、次のように対処したあと、担当サービスにご連絡ください。

1. 主電源スイッチを切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く

警告

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。

メモ

担当サービスに連絡するときは、次の項目を確認してください。
- 製品名
- トラブルの現象や状況など
- タッチパネルディスプレーに表示されているコード番号

サービスコール画面から機能制限モードを設定する

主電源を入れなおしてもサービスコールが表示される場合、サービスコールの原因が解決されるまでの一時的な処置として、機能制限モードで本製品を操作できることがあります。［機能制限モード］ボタンが表示されたら、次のように対処してください。

重要

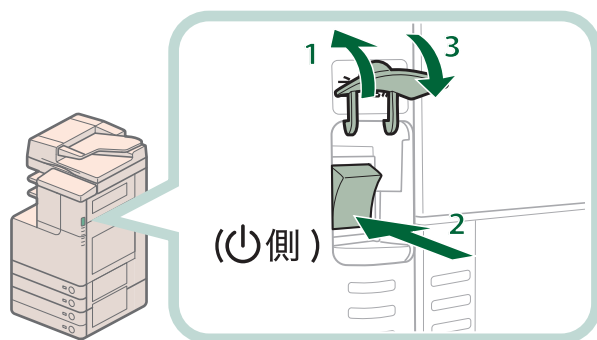
プリント待機中のデータがあるときに主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

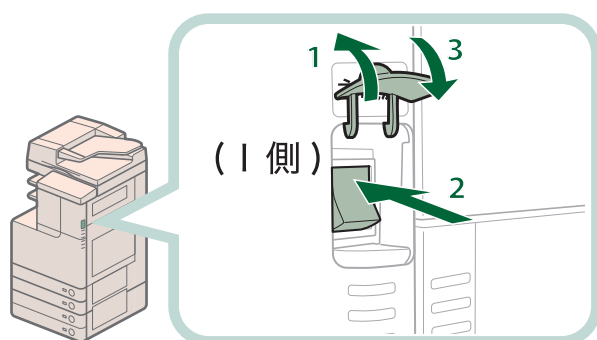
メモ

サービスコール画面から機能制限モードを設定したときは、［管理設定］（設定／登録）の［機能制限モード］も「ON」に設定されます。（→ e- マニュアル > セキュリティー）

［機能制限モード］→［はい］を押します。

本体の主電源スイッチを入れなおすメッセージが表示されます。

電源を切ります。

1. 主電源スイッチのカバーを開く
2. スイッチを「⏻」側へ倒す
3. カバーを閉じる

3 主電源ランプが消灯したあとで、10 秒以上待ってからもう一度電源を入れます。

1. 主電源スイッチカバーを開く
2. スイッチを「 I 」側へ倒す
3. カバーを閉じる

機能制限モードで起動します。

エラーによるプリント／スキャン機能制限時にいくつかの機能を使用する

プリント機能／スキャン機能が使用できないことを示す以下のメッセージがタッチパネルディスプレー最下部に表示されている場合でも、いくつかの機能を引き続き使用することができます。
プリント機能制限時：「プリンターの点検が必要です。(担当サービスに連絡)」
スキャン機能制限時：「スキャナーの点検が必要です。(担当サービスに連絡)」
プリント機能制限時、スキャン機能制限時に使用できる機能は以下のとおりです。

メインメニュー画面

エラーによる制限／使用できる機能	プリント機能制限時	スキャン機能制限時
コピー	×	×
ファクス	○	×
スキャンして送信	○	×
スキャンして保存	○	×
保存ファイルの利用	×	○ *1
受信トレイ	×	○
セキュアプリント	×	○
モバイルプリント	×	○
リモートスキャナー	○	×
ウェブブラウザー	○	○
設定 / 登録のショートカット	×	×
便利な機能紹介	○	○
Workflow Composer	×	×
その他の MEAP アプリケーション *2	○	○

○：使用可能、×：使用不可

操作パネル

エラーによる制限／使用できる機能	プリント機能制限時	スキャン機能制限時
カスタムメニュー *3	○	○
状況確認 / 中止	○ *4	○
設定 / 登録	×	×

○：使用可能、×：使用不可

コンピューターからの操作

エラーによる制限／使用できる機能	プリント機能制限時	スキャン機能制限時
リモート UI	○	○
MEAP アプリケーション *2	○	○

○：使用可能、×：使用不可

*1 ファイル編集画面の［ファイルの追加（スキャンして保存）］は使用できません。
*2 各 MEAP アプリケーションをインストールすることで使用できます。制限されている機能によって、使用できない場合があります。
*3 制限されている機能によって、登録されているボタンを使用できない場合があります。
*4 ジョブ履歴画面の［リストプリント］、および消耗品確認画面の［登録］は使用できません。

重要

- プリント機能制限中にプリントを、スキャン機能制限中にスキャンを行うと、それぞれのジョブは自動的にキャンセルされます。
- エラーによる機能制限時は、完全なスリープ状態に移行しません。

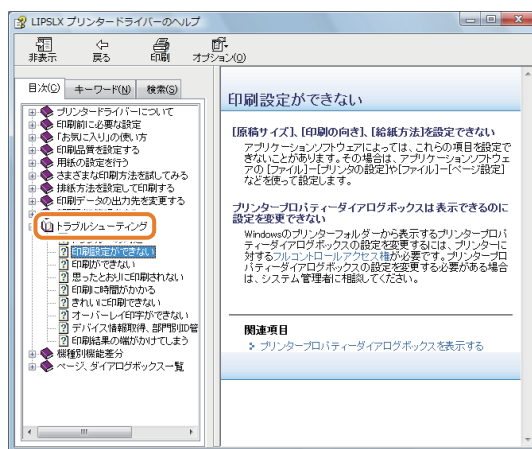
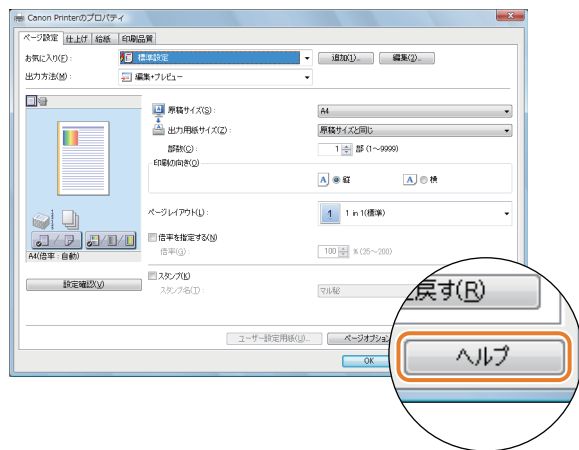
メモ

目的の機能がエラーにより制限されている場合、メインメニュー画面上部のショートカットキー、およびカスタムメニューによっても目的の機能を使用することはできません。

プリンター／ファクスドライバーのトラブル

Windows 用プリンタードライバー、および Windows 用ファクスドライバーを使用したときのトラブルの対処方法については、それぞれのドライバーヘルプにある「トラブルシューティング」を参照してください。ここでは、プリンタードライバーの画面を使用しています。

メモ

お使いの OS、プリンタードライバーの種類およびバージョンによっては、画面が異なることがあります。

よくあるご質問

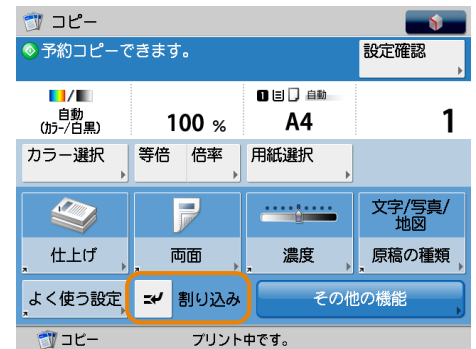
本製品についてよく寄せられるご質問と、その回答をまとめました。操作に迷ったときは、こちらを参照してください。

	質問内容	参照ページ
Q31	トナーを交換したいのですが、型番がわかりません。	P.144
Q32	フィーダーにセットするスタンプカートリッジや、フィニッシャーで使用するホチキスなどの型番を教えてください。	P.144
Q33	用紙がつまってしまいました。対処方法を教えてください。	P.145
Q34	#009、#850 といった記号がタッチパネルディスプレーに表示されました。どういう意味ですか。	P.146
Q35	コンピューターからプリントできなくなってしまいました。故障でしょうか。	P.147
Q36	電源の切りかたが、いままでの imageRUNNER シリーズと異なるようです。操作方法が間違っていないかどうか心配です。	P.148
Q37	タッチパネルディスプレーが真っ暗になってしまいました。	P.149
Q38	重要な資料をファクス送信しました。正しく送信できたかどうか、確認する方法はありますか。	P.150
Q39	コンピューターからプリントしたはずなのに、出力紙がありませんでした。間違って持っていかれていないか心配です。	P.151
Q40	MEAP とは、何のことですか。	P.151

Q1 急ぎでコピーをしたいのに、大量にプリントされていて、使えません。

割り込みコピー機能を使うと、プリント中のジョブを一時的に中断させて、急ぎのコピーを優先的に行うことができます。

● 設定するには

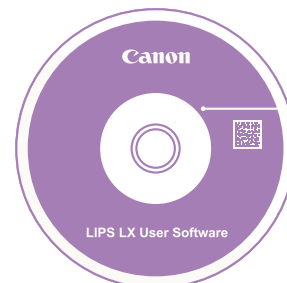
1. ［コピー］→［割り込み］を押す。
2. 必要に応じてコピーモードを設定する。

本体が起動した直後またはプリント中でも、原稿の読み込みを先に行うことができます（予約コピー）。詳しくは、e- マニュアル > コピーを参照してください。

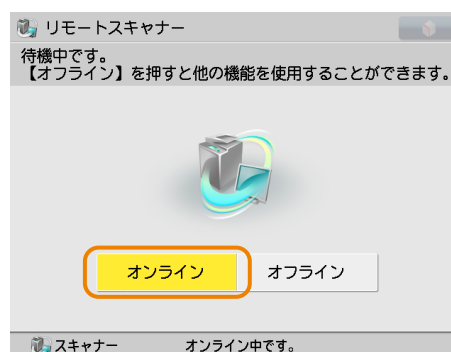
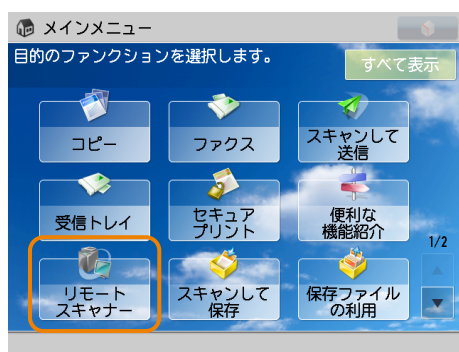
Q2 原稿を本体でスキャンして、コンピューターに保存できますか。

A

Windows 環境であれば可能です。お使いのコンピューターに Network ScanGear ドライバーをインストールし、本製品付属のスキャナー機能をオンラインにしてください。

● ドライバーのインストール

本体付属の LIPS LX User Software CD-ROM からインストールしてください。

● スキャナー機能のオンライン設定

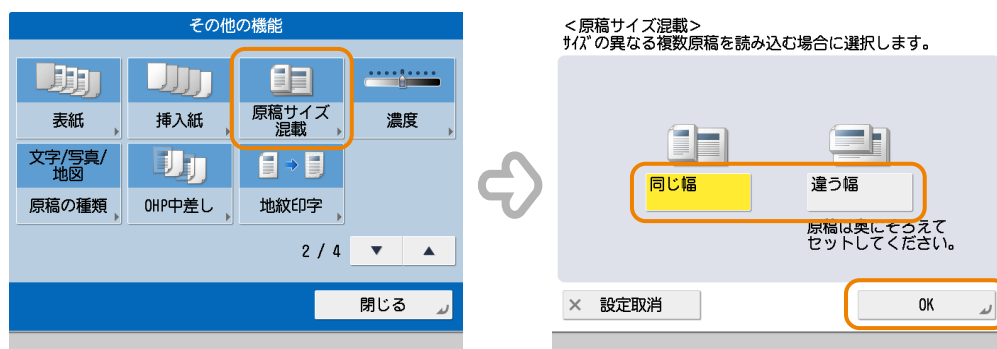
［リモートスキャナー］→［オンライン］を押す。

Network ScanGear ドライバーのインストール方法の詳細は、LIPS LX User Software CD-ROM に収められている「Network ScanGear インストールガイド」を参照してください。

Q3 異なるサイズの原稿を、一度にコピーしたりファクス送信したりできますか。

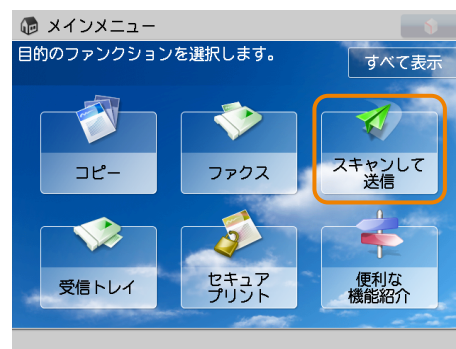
原稿サイズ混載機能を使うと、異なるサイズの原稿を同時にセットしてコピーしたり、ファクス送信したりできます。

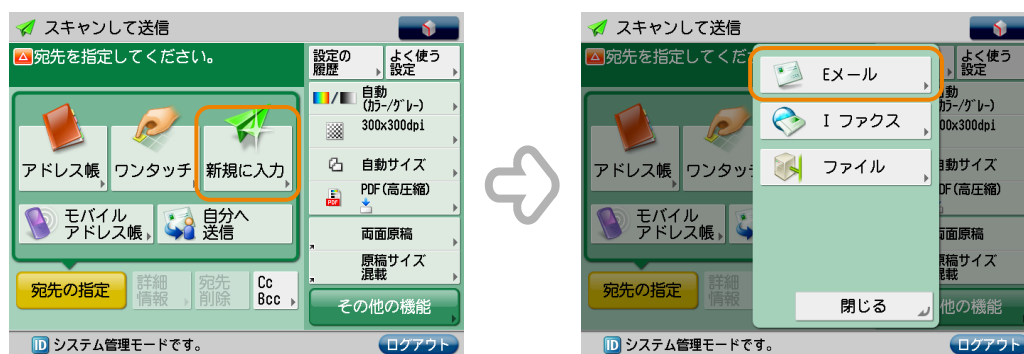
* 原稿サイズ混載機能では、A3とA4、B4とB5などタテ方向の長さが同じでヨコ方向の長さが異なるサイズ（同じ幅）の原稿や、A3とB4、A4とB5などひとまわり違うサイズ（違う幅）の原稿を一度にコピーしたり、読み込んだりできます。

● 設定するには

1. ［コピー］または［ファクス］→［その他の機能］→［原稿サイズ混載］を押す。
2. 原稿サイズ混載の種類を選択→［OK］を押す。

詳しくは、e- マニュアル > コピー、本体でのファクス送受信を参照してください。

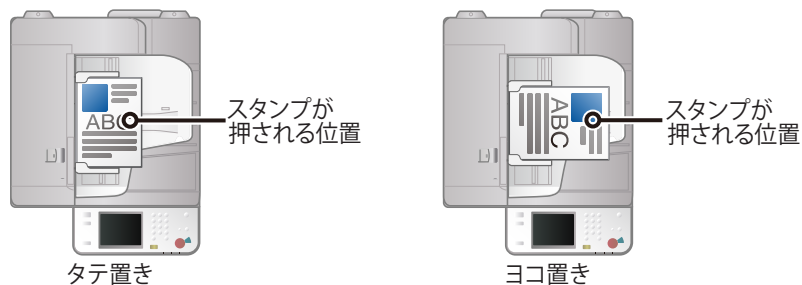
読み込んだ原稿を E メールで送りたいのですが、どこから操作したらよいですか。

メインメニューの［スキャンして送信］から E メールを送信できます。

設定するには

1. ［スキャンして送信］→［新規に入力］→［E メール］を押す。
2. アドレスを入力→［OK］を押す。

あらかじめよく使う E メールアドレスをアドレス帳に登録しておくと、宛先を簡単に指定できます。詳しくは、本マニュアルの P.118 を参照してください。
原稿台ガラスやフィーダーから原稿をセットして送信する方法については、本マニュアルの P.29 を参照してください。

Q5 読み取り済みの原稿に、マークを付けることはできますか。

A 済スタンプ機能を使うと、読み取り済みの原稿にスタンプを押せます。

※ 済スタンプ機能は、ファクスまたはスキャンして送信をお使いのときのみお使いになれます。

● 設定するには

1. ［スキャンして送信］または［ファクス］→［その他の機能］を押す。
2. ［済スタンプ］ → ［閉じる］ を押す。

原稿送信後、指定した E メールアドレスに終了通知することもできます（ジョブ終了通知）。詳しくは、本マニュアルの P.150 を参照してください。

送信先の宛先は、毎回入力しなければならないのですか。

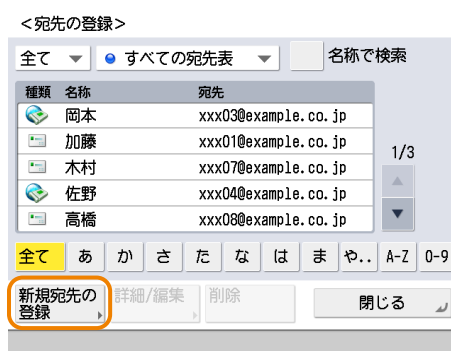
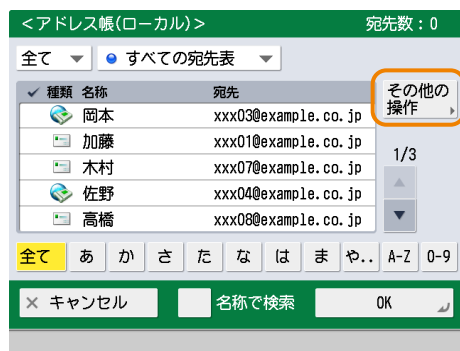
A

アドレス帳にファクスなどの送信先を登録できます。アドレス帳に登録することにより、送信するたびに送信先を入力する手間が省けます。

● リモートUIからの登録

1. ［アドレス帳］をクリック → 登録する宛先表を選択する。
2. ［新規宛先の登録］をクリック → 宛先の種類を選択 → 必要な項目を入力する。
3. ［OK］をクリックする。

● タッチパネルディスプレーからの登録

1. ［スキャンして送信］または［ファクス］→［アドレス帳］→［その他の操作］を押す。
2. ［登録 / 編集］→［新規宛先の登録］を押す →画面に従って情報を入力する。
3. ［OK］を押す。

よく使う宛先を［スキャンして送信］または［ファクス］に表示されるワンタッチボタンに登録することもできます。スキャンするときやファクスするときに、ワンタッチボタンで宛先を指定できます。詳しくは、e- マニュアル > スキャンして送信、本体でのファクス送受信を参照してください。

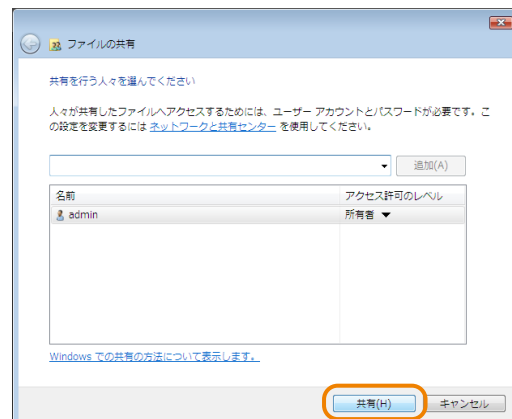
SMB 送信方法／設定方法について教えてください。

A

次の方法で設定できます。

● コンピューター側での共有フォルダー設定

● Windows 7 利用時

1. 新規作成したフォルダーを右クリック →［プロパティ］→［共有］をクリック。
2. ［共有］→ アクセスを許可するユーザーを選択する。
3. ［追加］をクリック → 追加したユーザーの < アクセス許可のレベル > から［読み取り / 書き込み］を選択する。
4. ［共有］→［終了］をクリックする。
5. ［詳細な共有］をクリック →［このフォルダーを共有する］にチェックマークを入れる →［アクセス許可］をクリックする。
6. アクセスを許可するユーザーを選択 →［フルコントロール］の［許可］にチェックマークを入れる。
7. ［OK］→［OK］→［閉じる］をクリックする。

● Windows Vista 利用時

1. 新規作成したフォルダーを右クリック →［プロパティ］→［共有］をクリックする。
2. ［共有］をクリック → アクセスを許可するユーザーを選択 →［追加］をクリックする。
3. 追加したユーザーの<アクセス許可のレベル>から［共同所有者］を選択 →［共有］→［終了］をクリックする。
4. ［詳細な共有］をクリック →［このフォルダを共有する］にチェックマークを入れる →［アクセス許可］をクリックする。
5. アクセスを許可するユーザーを追加 →［フルコントロール］の［許可］にチェックマークを入れる。
6. ［OK］→［OK］→［閉じる］をクリックする。

● Windows XP 利用時

1. 新規作成したフォルダーを右クリック →［共有とセキュリティ］をクリック →［このフォルダを共有する］を選択する。
2. ［アクセス許可］をクリック → Everyone を選択 →［削除］をクリックする。
3. ［追加］をクリック → アクセスを許可するユーザーを追加 →［フルコントロール］の［許可］にチェックマークを入れる。
4. ［OK］→［OK］をクリックする。

● Windows 2000 利用時

1. 新規作成したフォルダーを右クリック →［共有］をクリック→［このフォルダを共有する］を選択する。
2. ［アクセス許可］をクリック→ Everyone を選択→［削除］をクリックする。
3. ［追加］をクリック → アクセスを許可するユーザーを追加 →［フルコントロール］の［許可］にチェックマークを入れる。
4. ［OK］→［OK］をクリックする。

※ お使いのOSの種類によって、項目名が異なることがあります。詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご確認ください。

タッチパネルディスプレーでのファイルサーバー指定

- ホスト検索によるファイルサーバーの指定
  1. ［スキャンして送信］→［新規に入力］→［ファイル］を押す。
  2. プロトコルドロップダウンリスト→［Windows (SMB)］→［ホスト検索］を押す。
  3. ［ホスト名］にファイルサーバーに使用するコンピューターの IP アドレスを入力→［検索開始］を押す。
  4. ファイルサーバーを指定→［OK］を押す。

- 参照先指定によるファイルサーバーの指定
  1. ［スキャンして送信］→［新規に入力］→［ファイル］を押す。
  2. プロトコルドロップダウンリスト→［Windows (SMB)］→［参照］を押す。
  3. ファイルサーバーを指定→［OK］を押す。

<参照>
送信先のフォルダーを指定します。
種類 名称
WORKGROUP
1/1
上へ
更新
SMB
登録
編集
削除
キャンセル
OK
システム管理モードです。
ログアウト

お使いのコンピューターの IP アドレスは、次の手順で確認できます。

※ お使いのOSの種類によって、手順が異なることがあります。

1. ［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリック→「cmd」を入力する。
2. ［OK］をクリック→「ipconfig」を入力→［ENTER］キーを押す。

こんなときには

他のキヤノン複合機に登録されているアドレス帳を、本製品に移すことはできますか。

A

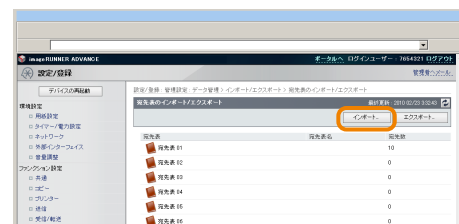
リモート UI のインポート／エクスポート機能を使って、アドレス帳を移すことができます。

● 他の複合機からアドレス帳のエクスポート

1. ［設定 / 登録］→＜管理設定＞の［データ管理］をクリックする。
2. ［インポート / エクスポート］→［アドレス帳］→［エクスポート］をクリックする。
3. アドレス帳を選択→［エクスポート開始］をクリックする。
4. ファイルの保存場所を指定する。

※ お使いの機種によって、キー名称などが異なることがあります。

● 本製品へのアドレス帳のインポート

1. ［設定 / 登録］→＜管理設定＞の［データ管理］をクリックする。
2. ［インポート / エクスポート］→［宛先表］→［インポート］をクリックする。
3. インポートするファイルを選択→［インポート開始］をクリックする。

・この操作を行うためには、管理者権限でログインする必要があります。詳しくは、e-マニュアル>セキュリティーを参照してください。
・転送設定なども、インポート／エクスポートできます。詳しくは、e-マニュアル>リモートUIを参照してください。

リモート UI を起動するために本体の IP アドレスを確認したいのですが、方法がわかりません。

A

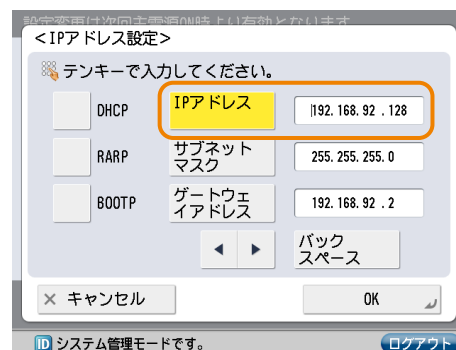
本体のタッチパネルディスプレーから、IP アドレスを確認できます。

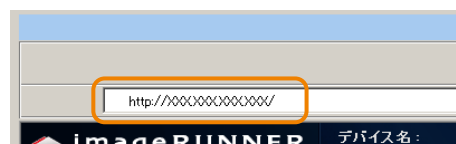
本体のIPアドレスの確認

● IPv4アドレス

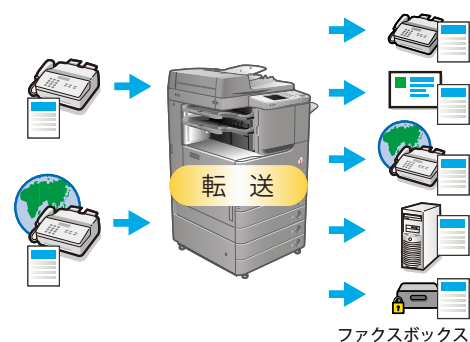
1. ㊍（設定／登録）を押す。
2. ［環境設定］→［ネットワーク］→［TCP/IP 設定］を押す。
3. ［IPv4 設定］→［IPv4 を使用］→［ON］を押す。
4. ［IP アドレス設定］を押す。

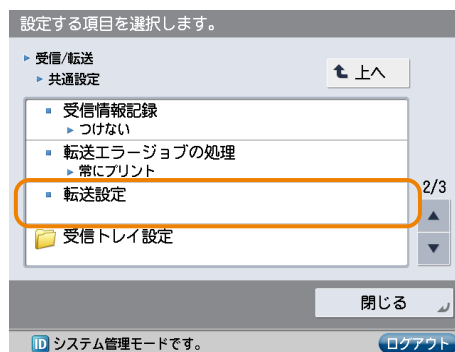
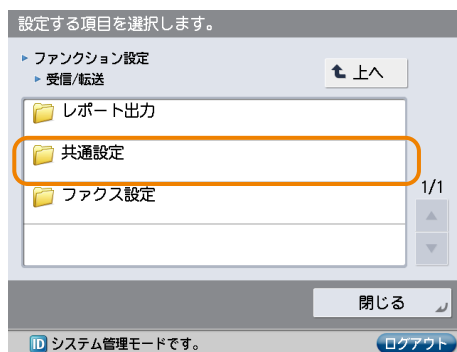
● IPv6アドレス

1. ㊍（設定／登録）を押す。
2. ［環境設定］→［ネットワーク］→［TCP/IP 設定］を押す。
3. ［IPv6 設定］→［IPv6 を使用］→［ON］を押す。
4. ［手動アドレス設定］を押す。

リモートUIの起動

コンピューターの Web ブラウザーを起動 →［アドレス］に http:// <本体の IP アドレス>を入力する。

- この操作を行うためには、管理者権限でログインする必要があります。詳しくは、e-マニュアル>セキュリティーを参照してください。
- リモートUIが起動できないときは、次のように設定してください。
  1. ㊍（設定／登録）を押す。
  2. ［管理設定］→［ライセンス / その他］→［リモート UI の ON/OFF］を押す。
  3. ［ON］→［OK］を押す。

Q10 ファクス／Iファクスで受信したデータを転送できますか。

あらかじめ転送設定をすると、設定した条件に合致する受信ファイルを、本体のファクスボックス、他の機器、ファイルサーバーなどに転送できます。

設定するには

1. ㊗（設定／登録）を押す。
2. ［ファンクション設定］→［受信 / 転送］→［共通設定］を押す。
3. ［転送設定］→［登録］を押す→各項目の転送条件の設定を行う。
4. ［OK］を押す。

- この操作を行うためには、管理者権限でログインする必要があります。詳しくは、e-マニュアル>セキュリティーを参照してください。
- あらかじめよく使うEメールアドレスをアドレス帳に登録しておくと、すぐに指定できます。詳しくは、本マニュアルのP.118を参照してください。

Q11 ファクスを送るときに、発信元のファクス番号や名前を表示させせることはできますか。

発信人を登録したあと、ファクス送信時に発信元記録を表示するよう設定できます。

発信人の登録

1. ㊊（設定／登録）を押す。
2. ［ファンクション設定］→［送信］→［ファクス設定］を押す。
3. ［発信人の名称登録］→［登録 / 編集］を押す → 発信人名称を入力する。
4. ［OK］を押す。

発信元記録の表示設定

1. ［ファクス］→［その他の機能］→［発信人］を押す。
2. 発信人名称を選択 →［OK］を押す。

詳しくは、e- マニュアル > 設定／登録を参照してください。

Q12 複数の宛先に、ファクスを送信できますか。

A

次のように宛先を指定することで、一度に複数の宛先にファクスを送信できます。

● 複数の宛先を手動で入力する

※ 最大256件まで入力できます。

1. ⓪～⑨、㊀、㊉（テンキー）でファクス番号を入力→[OK]を押す。
2. 続けて別の番号を入力→［OK］を押す。
3. ◎（スタート）を押す。

● アドレス帳から、グループ宛先を登録する

※ 最大256件まで登録できます。

1. ［アドレス帳］→［その他の操作］→［登録 / 編集］を押す。
2. ［新規宛先の登録］→［グループ］を押す。
3. ［名称］を押す。
4. 宛先の名称を入力→［次へ］を押す。
5. 宛先の名称のフリガナを入力→［OK］を押す。
6. ドロップダウンリストを押す→宛先表 1～10 のいずれかを選択→［次へ］を押す。
7. ［アドレス帳から追加］を押す→登録する宛先を選択→［OK］を押す。
8. ［OK］→［閉じる］を押す。
9. 登録したグループ宛先を選択→［OK］を押す。
10. ◎（スタート）を押す。

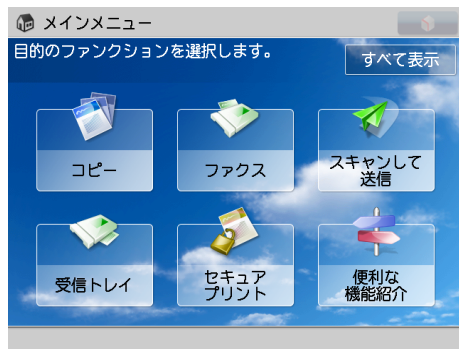
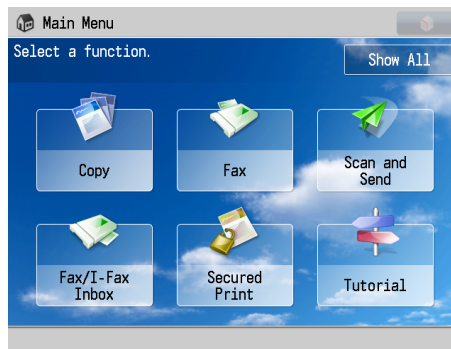
● ワンタッチボタンから、複数の宛先を登録する

※ 最大200件まで登録できます。

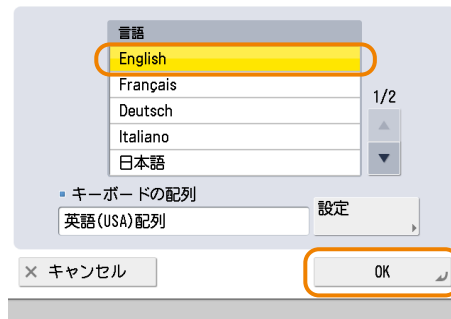
1. ［ワンタッチ］→［登録］を押す。
2. 登録するボタンを選択→［登録 / 編集］→［グループ］を押す。
3. ［名称］を押す。
4. 宛先の名称を入力→［次へ］を押す。
5. 宛先の名称のフリガナを入力→［OK］を押す。
6. ［ワンタッチ名称］を押す。
7. ワンタッチボタンに表示する名称を入力→[OK]→[次へ]を押す。
8. ［ワンタッチから追加］を押す→グループに登録する宛先を選択→［OK］を押す。
9. ［OK］→［閉じる］を押す。
10. 登録したグループ宛先を選択→［OK］を押す。
11. ◎（スタート）を押す。

- 宛先の名称で日本語が入力できない場合は、本マニュアルのP.143を参照してください。
- アドレス帳とワンタッチボタンに登録されている宛先を、同時に指定することはできません。

Q13 タッチパネルディスプレーの表示を英語に変更できますか。

A ㊓（設定／登録）の［表示言語の切替 / キーボードの切替］から、英語の表示に変更できます。

表示言語：日本語

表示言語：英語

● 設定するには

1. ㊓（設定／登録）を押す。
2. ［環境設定］→［表示設定］→［表示言語 / キーボードの切替の ON/OFF］を押す。
3. ［ON］→［OK］→［表示言語 / キーボードの切替］を押す。
4. 表示言語を選択→［OK］を押す。

次の手順で言語切替のショートカットをメインメニュー画面に表示できます。

1. →［メインメニューのその他の設定］を押す→＜［表示言語 / キーボードの切替］の表示＞の［ON］を押す。
2. ［OK］を押す。

詳しくは、e- マニュアル > 基本的な使いかたを参照してください。

Q14 起動後にタッチパネルディスプレーに表示される画面や、ファンクションの順番を変更できますか。

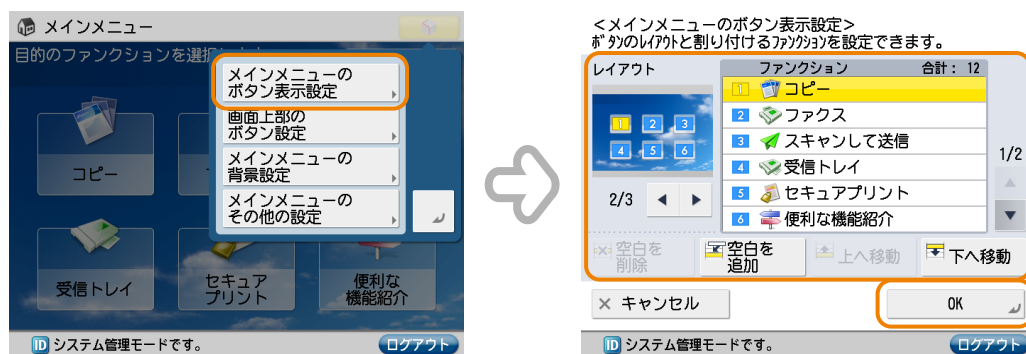
A

（設定／登録）の［起動 / 復帰後に表示する画面］から、起動後の表示画面を設定できます。また、の［メインメニューのボタン表示設定］から、表示されるファンクションの順番やレイアウトを変更できます。

起動後の表示画面の設定

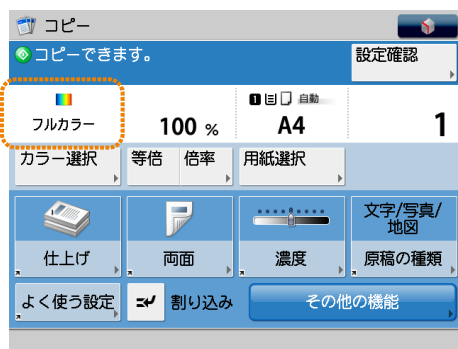
1. （設定／登録）を押す。
2. ［環境設定］→［表示設定］→［起動 / 復帰後に表示する画面］を押す。
3. 項目を選択→［OK］を押す。

ファンクション表示の変更

1. →［メインメニューのボタン表示設定］を押す。
2. ファンクションキーのレイアウトや表示させる順序を設定 →［OK］を押す。

- この操作を行うためには、管理者権限でログインする必要があります。詳しくは、e-マニュアル>セキュリティーを参照してください。
- よく使う機能の設定をあらかじめ登録しておいて、（カスタムメニュー）から呼び出すこともできます。詳しくは、e-マニュアル>カスタムメニューを参照してください。

Q15 コピー画面のデフォルト設定を、カラーから白黒に変更する方法を教えてください。

A

［コピー］の ![icon] →［デフォルト設定の変更］から、現在の設定をデフォルト設定として登録できます。白黒モードをデフォルト設定にしておけば、印刷コストを節約できます。

カラー選択：フルカラー

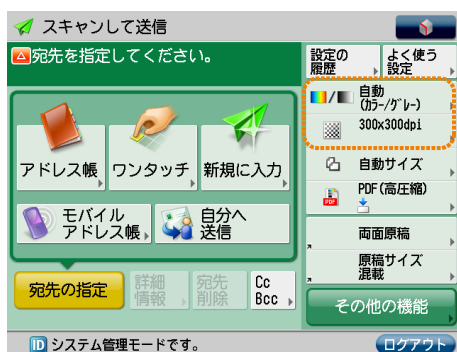
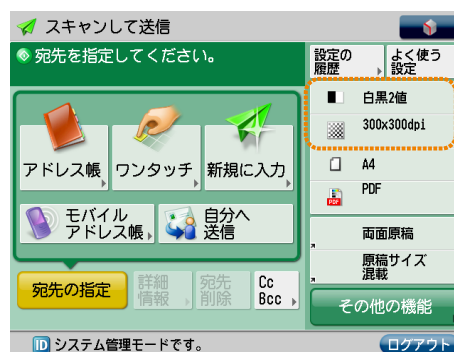
カラー選択：白黒

設定するには

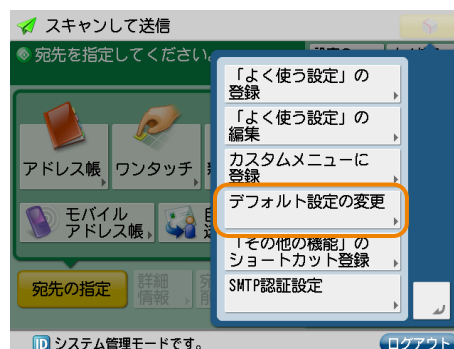
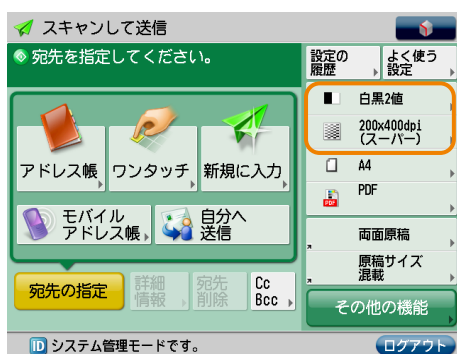
- カラーモードを白黒に設定
  ［コピー］→［カラー選択］→［白黒］を押す。
- 設定したカラーモードをデフォルト設定として登録
  1. ![icon] →［デフォルト設定の変更］→［登録］を押す。
  2. ［はい］を押す。

ページ集約機能や両面コピー機能を使えば、用紙が節約できます。詳しくは、e- マニュアル > コピーを参照してください。

Q16 ［スキャンして送信］基本画面のデフォルト設定（読み込み時の設定、ファイル形式）の変更方法を教えてください。

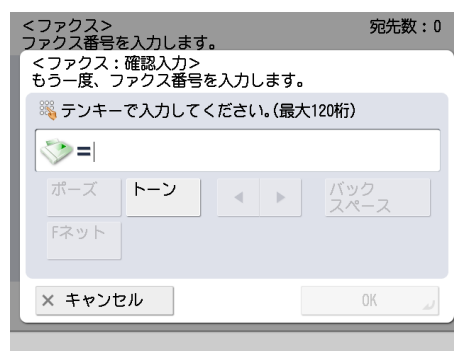
A ［スキャンして送信］の から、現在の設定をデフォルト設定として登録できます。

変更前

変更後

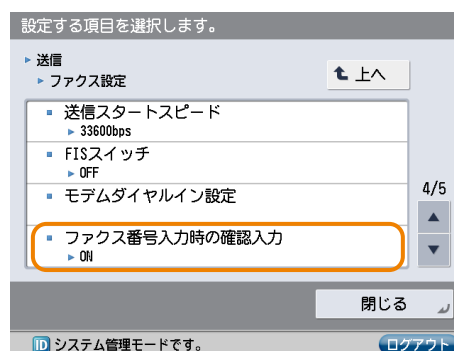
● デフォルト設定として登録するには

1. ［スキャンして送信］を押す → 読込設定、ファイル形式の設定を行う。
2. → ［デフォルト設定の変更］ → ［はい］を押す。

各ファイル形式については、e- マニュアル > スキャンして送信を参照してください。

Q17 新規宛先へファクス送信するときに、誤送信を防ぐ方法はありますか。

A

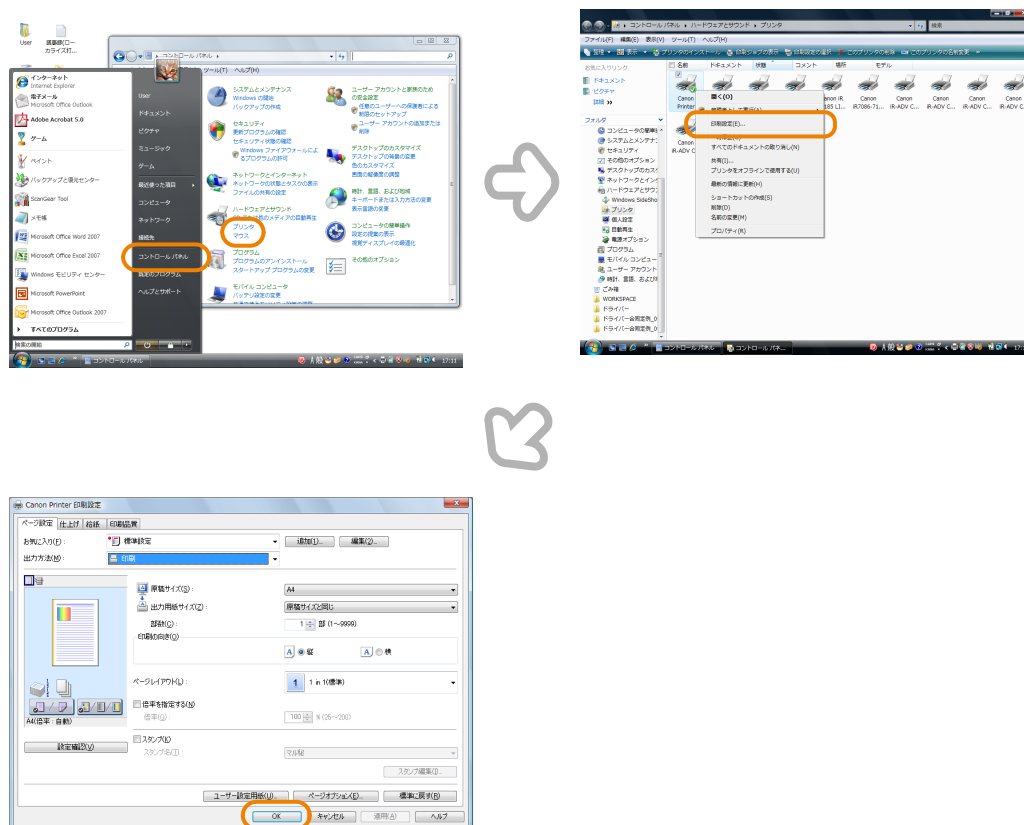
（設定／登録）の［ファクス番号入力時の確認入力］を設定すると、確認入力を行う画面が表示されます。同じ番号を再度入力することで、誤送信のリスクを軽減できます。

● 設定するには

1. （設定／登録）を押す。
2. ［ファンクション設定］→［送信］→［ファクス設定］を押す。
3. ［ファクス番号入力時の確認入力］→［ON］→［OK］を押す。

- この操作を行うためには、管理者権限でログインする必要があります。詳しくは、e-マニュアル>セキュリティーを参照してください。
- アドレス帳に登録されている宛先以外への送信を制限することもできます。詳しくは、e-マニュアル>セキュリティーを参照してください。

Q18 プリンタードライバーの印刷設定を変更できますか。

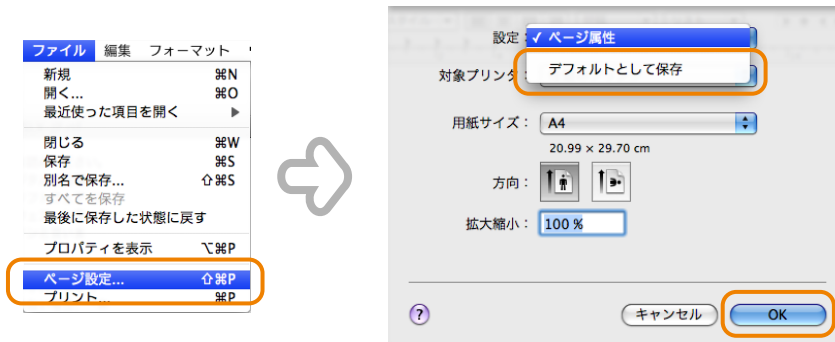
A　お使いのコンピューターからプリンタードライバーの印刷設定を変更できます。

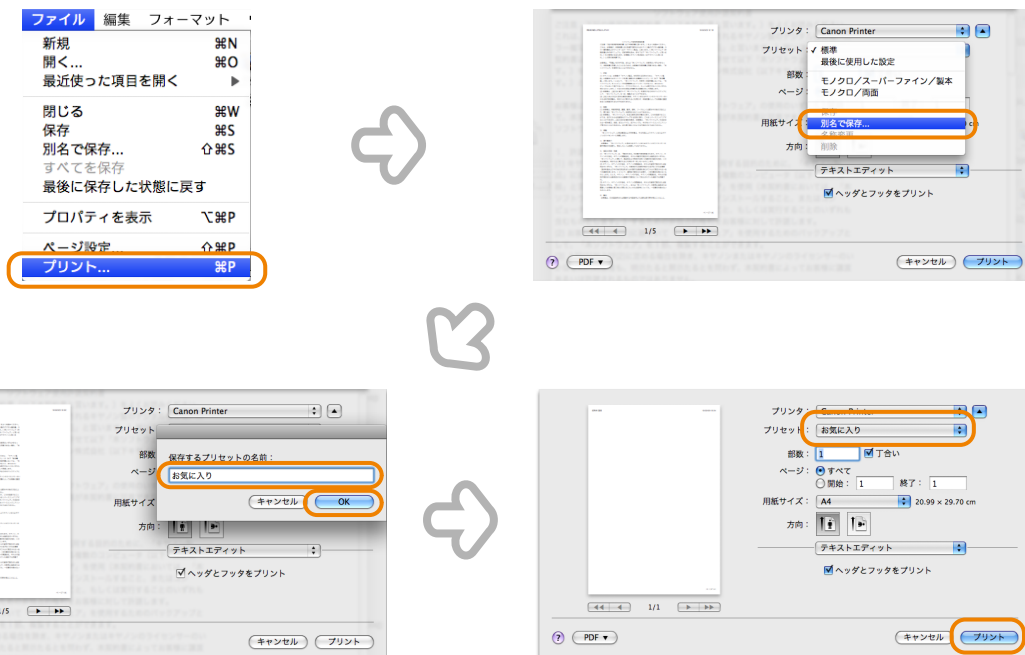
● Windows利用時

1. ［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタ］をクリックする。
2. プリンターアイコンを右クリック→［印刷設定］をクリック→各種印刷の設定を行う。
3. ［OK］をクリックする。

Macintosh利用時

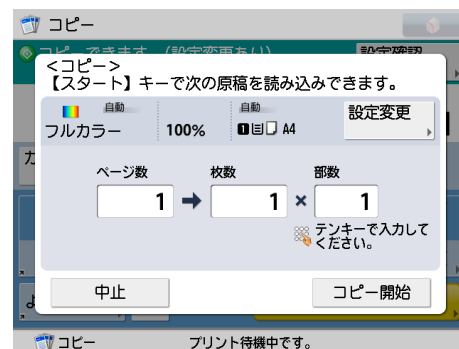
- ページ設定：
  1. アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［ページ設定］をクリックする。
  2. 各項目を次のように選択する。

     設定：［ページ属性］
     対象プリンタ：お使いのプリンター名

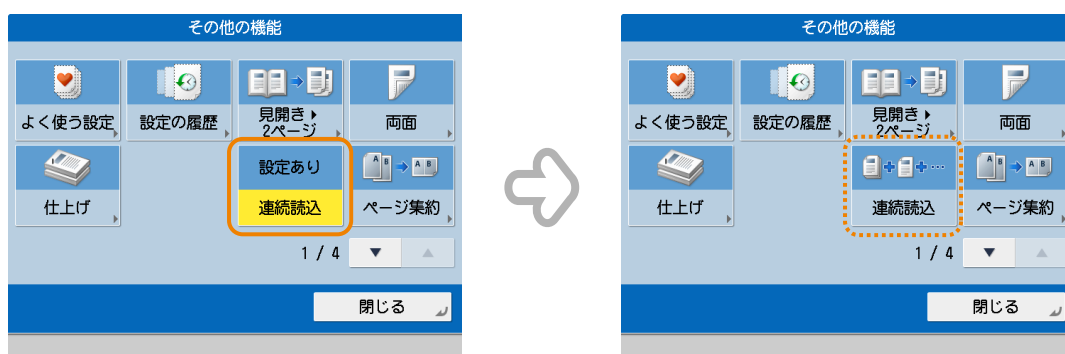
  3. <設定>ドロップダウンリスト→［デフォルトとして保存］→［OK］をクリックする。

- 印刷設定：
  1. アプリケーションソフトウェアの［ファイル］メニューから［プリント］をクリックする。
  2. <プリンタ>ドロップダウンリストをクリックする→お使いのプリンター名を選択する。
  3. <プリセット>ドロップダウンリスト→［別名で保存］をクリックする。
  4. ［保存するプリセットの名前］を入力→［OK］をクリックする。
  5. <プリセット>ドロップダウンリストをクリック→保存したプリセットの名前を選択→［プリント］をクリックする。

こんなときには

Q19 コピーをするときに、次の原稿の読み込み画面が表示されます。この画面を表示させない方法はありますか。

A

［連続読込］が設定されていると、次の原稿の読み込み画面が表示されます。［連続読込］の設定を解除することにより、画面を非表示にできます。

次の原稿の読み込み画面

● 連続読込を解除するには

［コピー］→［その他の機能］→［連続読込］を押す。

原稿が一度にセットできないときは、［連続読込］を設定しておくと便利です。数回に分けてセットした原稿の読み込みだけを先に行い、すべて終了したあとにまとめてプリントできます。

Q20 カラーコピーやカラープリントの枚数を制限できますか。

A

部門別 ID 管理を運用すると、グループ単位でのカラーの出力が制限できます。

部門別ID管理の設定と、暗証番号の登録

1. ㊙（設定／登録）を押す。
2. ［管理設定］→［ユーザー管理］→［部門別 ID 管理］を押す。
3. ［ON］→［暗証番号の登録］→［登録］を押す。
4. 部門 ID と暗証番号を入力→［OK］を押す。

<登録>

制限面数の設定

1. ㊙（設定／登録）を押す。
2. ［管理設定］→［ユーザー管理］→［部門別 ID 管理］を押す。
3. ［ON］→［暗証番号の登録］→［登録］を押す。
4. ［制限の ON/OFF と制限面数の設定］を押す →面数を制限する項目を設定 →［OK］を押す。

<制限のON/OFFと制限面数の設定>

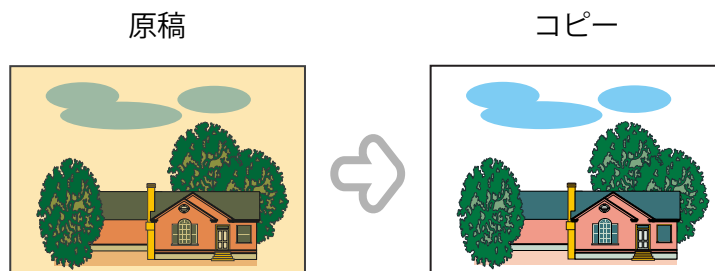
- この操作を行うためには、管理者権限でログインする必要があります。詳しくは、e-マニュアル>セキュリティーを参照してください。
- コピー画面のデフォルト設定を、カラーから白黒に変更することもできます。詳しくは、本マニュアルのP.128を参照してください。

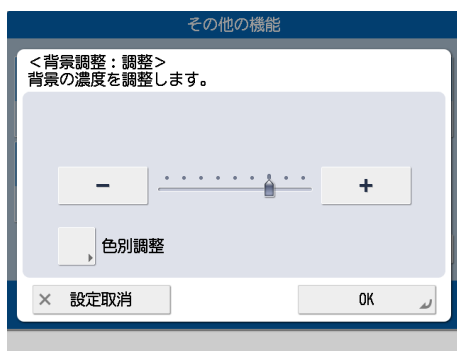
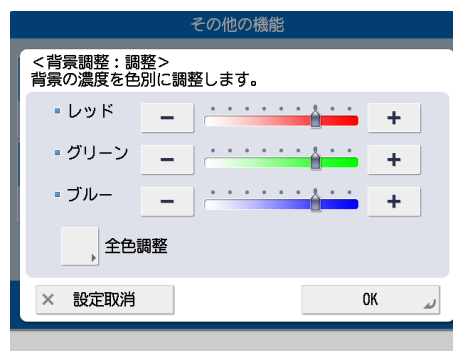
こんなときには

Q21 コピーすると、裏面のページの内容が写ってしまいます。

［背景調整］を使って、原稿の地色を消したり、裏写りする原稿をきれいにコピーしたりできます。

原稿

コピー

設定するには

1. ［コピー］→［その他の機能］→［濃度］を押す。
2. ［調整］を押す →［自動］または［調整］の設定をする。
   ［自動］：背景の濃度を自動的に調整します。
   ［調整］：背景の濃度を手動で調整できます。

全色調整

色別調整

詳しくは、e- マニュアル > コピーを参照してください。

Q22 ファクス送信をした原稿の画質がよくありません。

A

原稿の種類に応じて、読み込み画質や設定を変更してください。［プレビュー］を押すと、送信前の原稿が確認できます。

● 原稿の種類、濃度の設定

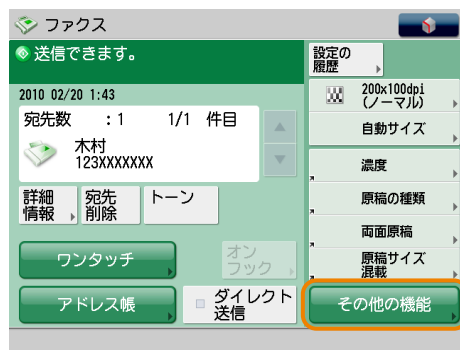
［ファクス］→［その他の機能］を押す→［原稿の種類］または［濃度］の設定をする。

文字／写真モード

写真モード

文字モード

● プレビュー確認の設定

1. ［ファクス］を押す→宛先を設定する。
2. ［その他の機能］→［プレビュー］→［閉じる］を押す。
3. ◎（スタート）を押す。

プレビュー確認

から［「その他の機能」のショートカット登録］を選択すると、ファクス画面に［その他の機能］のショートカットを登録できます。

Q23 プリントした紙に汚れがつくようになってしまいました。また、元の原稿とも色味が異なるようです。

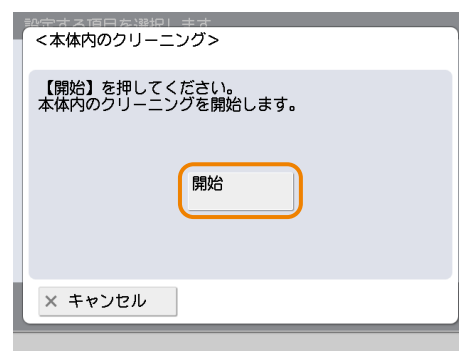
A

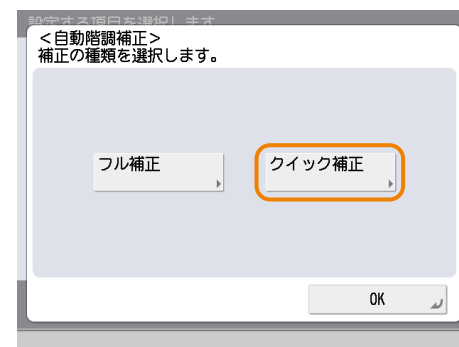
プリントした用紙にスジが入ったり、画像の一部が不均一にぬけたりするときは、フィーダーや本体の内部が汚れている可能性があります。次の手順に従って、クリーニングを行ってください。また、［自動階調補正］で画像の階調や色味を自動的に補正することもできます。

フィーダーのクリーニング

1. ◎（設定／登録）を押す。
2. ［調整 / メンテナンス］→［メンテナンス］→［フィーダーのクリーニング］を押す。
3. フィーダーに白紙を約 10 枚セット→［開始］を押す。

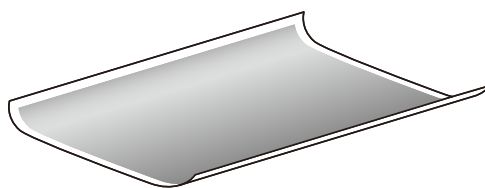
本体内のクリーニング

1. ◎（設定／登録）を押す。
2. ［調整 / メンテナンス］→［メンテナンス］→［本体内のクリーニング］を押す。
3. ［開始］を押す。

自動階調補正

1. ◎（設定／登録）を押す。
2. ［調整 / メンテナンス］→［画質調整］→［自動階調補正］を押す。
3. ［クイック補正］→［開始］を押す。

自動階調補正には、ここで紹介したクイック補正よりも精密なフル補正があります。詳しくは、e- マニュアル > 設定／登録を参照してください。

Q24 プリントした用紙が反ってしまいます。

A

画像部分が多い原稿や画像濃度の高い原稿をプリントしたりすると、用紙が反ることがあります。反りを軽減するため、次の方法をお試し下さい。

- **厚手の用紙を使用する**
  薄手の用紙を使用している場合は、80g/m² 程度の用紙に変更してください。

- **水分量の少ない用紙を使用する**
  包装紙から出した用紙は、すぐに給紙箇所へセットしてください。また、用紙補給後に残った用紙は、湿気を避けるため包装紙にしっかりと包んで保管してください。

用紙の補給方法については、P.53 を参照してください。

Q25 拡大／縮小してコピーすると、端が切れてしまいます。

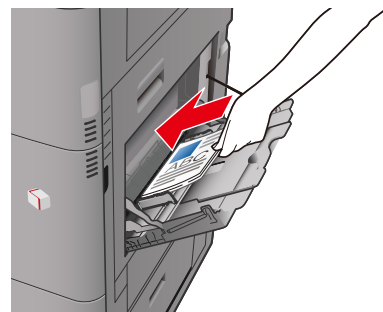
A

用紙の向きを確認するか、オートタテヨコ回転を設定すると、正しくコピーされるようになります。次のように操作してください。

- **原稿の向きを確認する**
  フィーダーまたは原稿台ガラスにセットされている原稿の向きと、カセットにセットされている用紙の向きがあっているかどうかを確認してください。

- **オートタテヨコ回転を設定する**
  1. （設定／登録）を押す。
  2. ［ファンクション設定］→［コピー］→［オートタテヨコ回転］を押す。
  3. ［ON］を選択→［OK］を押す。

Q26 すでにプリントされた用紙の裏面に、プリントできますか。

プリント済みの用紙は、手差しトレイの [両面 2 面目] を使用すればきれいにプリントできます。

設定するには

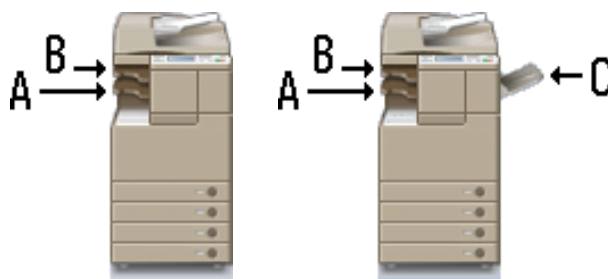
1. プリントする面を下向きにして手差しトレイに用紙をセットする。
2. 用紙サイズを選択→［次へ］を押す。
3. 用紙の種類を選択→［両面 2 面目］→［OK］を押す。
4. ◎（スタート）を押す。

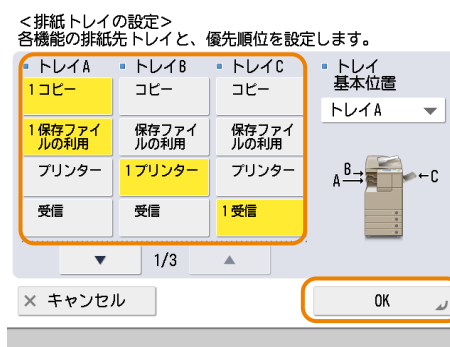
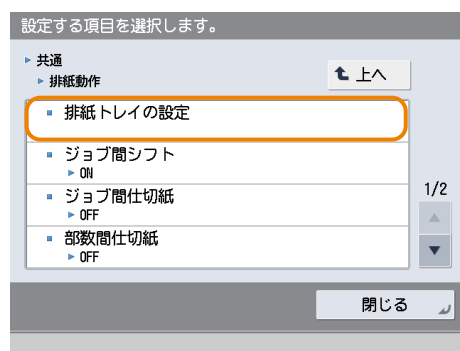
プリント済みの用紙は、新しい用紙と比べて紙づまりを起こしやすいのでご注意ください。

Q27 機能ごとに、トレイを分けて排紙することはできますか。

A

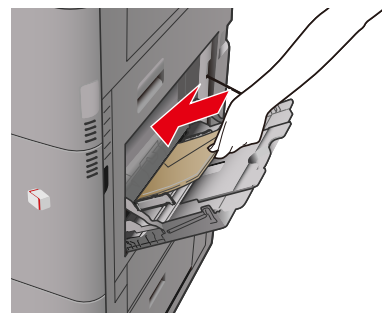
機能ごとに排紙トレイを設定したり、排紙の優先順位をつけたりできます。

※ オプションの装着状態により、トレイA/B/Cの示す排紙トレイは異なります。

● 設定するには

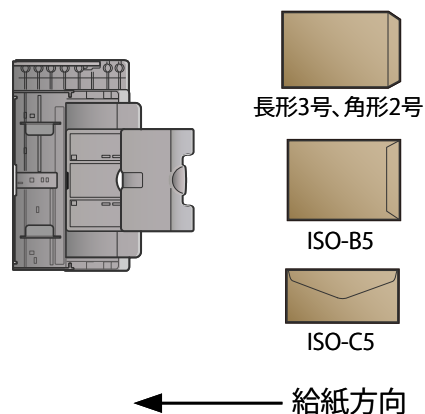
1. ◎（設定／登録）を押す。
2. ［ファンクション設定］→［共通］→［排紙動作］を押す。
3. ［排紙トレイの設定］を押す。
4. トレイ A/B/C に、機能とトレイの優先順位を設定→［OK］を押す。

機能ごとに排紙トレイを設定する方法の詳細については、e- マニュアル > 設定／登録を参照してください。

Q28 封筒にプリントできますか。

A

手差しトレイに封筒をセットしてプリントできます。

セットするには

封筒を 5 枚ほど手にとり、よくさばいてそろえます。封筒を平らな場所に置いて手で伸ばし、中にたまった空気を抜いておきます。手差しトレイを開き、スライドガイドを調節してから、封筒を図のようにセットします。

1. 封筒をセットする。
2. ［封筒］を押す → 封筒の種類を選択→［OK］を押す。
3. ［OK］を押す。
4. ⦿（スタート）を押す。

- 詳しくは、e-マニュアル>基本的な使いかたを参照してください。
- はがきも手差しトレイにセットして、プリントできます。

Q29 使用できる用紙を教えてください。

A

次の用紙をセットしてプリントできます。

カセットから給紙

- 用紙坪量
  カセット 1：60 g/m^2 ～ 120 g/m^2
  カセット 2：60 g/m^2 ～ 163 g/m^2
- 用紙サイズ
  カセット 1：
  A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、ユーザー設定サイズ（148 x 182 mm ～ 297 x 420 mm）
  カセット 2：
  305 x 457 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、ユーザー設定サイズ（140 x 182 mm ～ 304 x 457 mm）
- 用紙種類
  カセット 1：
  薄紙、普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙
  カセット 2：
  薄紙、普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、OHP フィルム

手差しトレイから給紙

- 用紙坪量
  60 g/m^2 ～ 220 g/m^2
- 用紙サイズ
  305 x 457 mm、320 x 450 mm（SRA3）、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、ユーザー設定サイズ（99 x 140 mm ～ 320 x 457 mm）、封筒
- 用紙種類
  薄紙、普通紙、再生紙、色紙、厚紙、コート紙、第 2 原図、OHP フィルム、パンチ済み紙、ラベル用紙、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、封筒

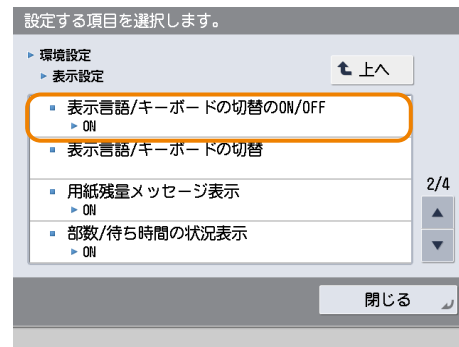
- 紙づまりするときは、手差しトレイから給紙すると、回避できることがあります。
- 使用できる用紙の詳細については、e-マニュアル > 基本的な使いかたを参照してください。

Q30 アドレス帳に登録する画面で、日本語が入力できません。

A

本体のタッチパネルディスプレーから日本語の文字入力をするには、（設定／登録）の［表示言語 / キーボードの切替の ON/OFF］を「OFF」にする必要があります。「OFF」にすると、[かな漢]、[カタカナ]、[コード入力] を選択ができます。

● 設定するには

1. （設定／登録）を押す。
2. ［環境設定］→［表示設定］→［表示言語 / キーボードの切替の ON/OFF］を押す。
3. ［OFF］→［OK］を押す。

アドレス帳以外で日本語が入力できないときも、（設定／登録）の［表示言語 / キーボードの切替の ON/OFF］を「OFF」に設定することで入力できるようになります。

Q31 トナーを交換したいのですが、型番がわかりません。

A

本製品専用のトナー容器の型番は、次のとおりです。

NPG-52　ブラック、シアン、マゼンタ、イエロートナー

ブラックトナー　　　シアン、マゼンタ、イエローのトナー

トナー容器の交換については、本マニュアルの P.63 を参照してください。

Q32 フィーダーにセットするスタンプカートリッジや、フィニッシャーで使用するホチキスなどの型番を教えてください。

A

フィーダー用／フィニッシャー用の消耗品の型番は、次のとおりです。

- 商品名：スタンプインクカートリッジ・C1
  備考：フィーダー用（imageRUNNER ADVANCE C2030F/C2020F）
  　　DADF-AC1用（imageRUNNER ADVANCE C2030/C2020）

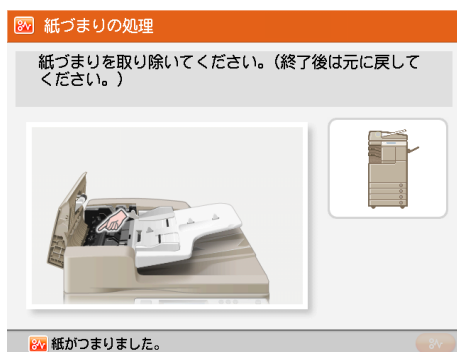
- 商品名：ステイプル・J1
  備考：インナーフィニッシャー・C1 用

ホチキスユニットやスタンプカートリッジの交換方法については、本マニュアルの P.59 から P.62 を参照してください。

Q33 用紙がつまってしまいました。対処方法を教えてください。

タッチパネルディスプレーに、紙づまりの処理方法が表示されます。表示に従って、処理を行ってください。

● 定着ユニットの紙づまり処理

● フィーダーの紙づまり処理

それでも問題が解決しないときは、本マニュアルの P.79 から P.100 を参照してください。

Q34 #009、#850 といった記号がタッチパネルディスプレーに表示されました。どういう意味ですか。

A

ジョブや操作が正常に終了していないことを示す終了コードです。状況確認／中止画面のジョブ履歴の詳細情報画面に表示されます。

本マニュアルの P.155 から P.158、e- マニュアル > スキャンして送信、本体でのファクス送受信に、各終了コードの原因と対処方法が掲載されていますので、参照の上、必要な処理を行ってください。

#001

原因1	原稿サイズ混載の設定をしないまま、異なるサイズの原稿を読み込みしました。
処置	原稿と設定を確認し、もう一度やりなおしてください。
原因2	原稿サイズ混載の設定をしないまま、異なるサイズの原稿を両面読み込みしました。
処置	原稿と設定を確認し、もう一度やりなおしてください。

#003

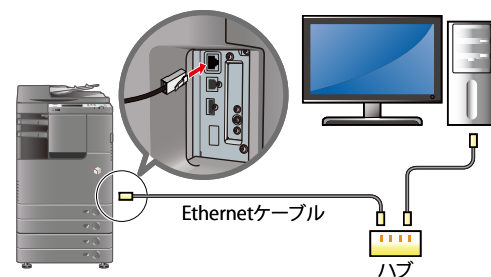
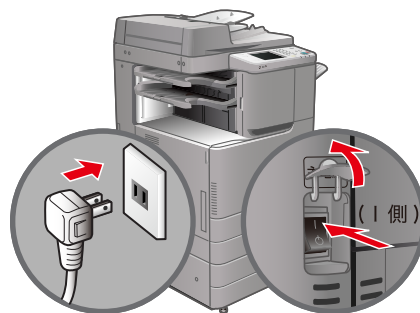
原因	規定時間（64分）以上の通信はエラーになります。
処置1	解像度を下げて送信してください。（→解像度を設定する）
処置2	受信のときは、相手先に読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分けて送信するよう伝えてください。

（状況確認／中止）の操作方法については、e- マニュアル > 状況確認 / 中止を参照してください。

Q35 コンピューターからプリントできなくなってしまいました。故障でしょうか。

A

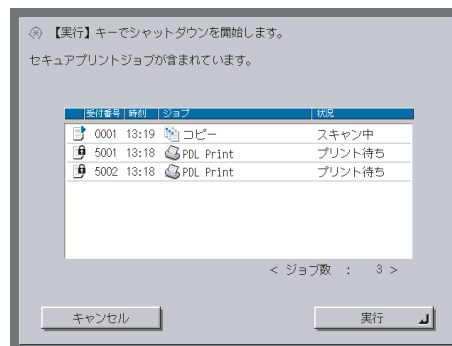
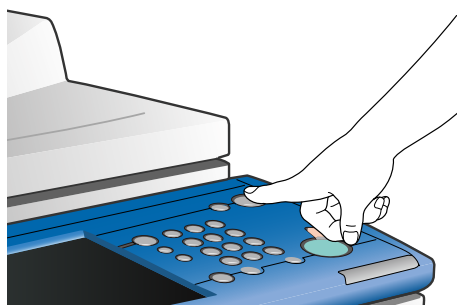
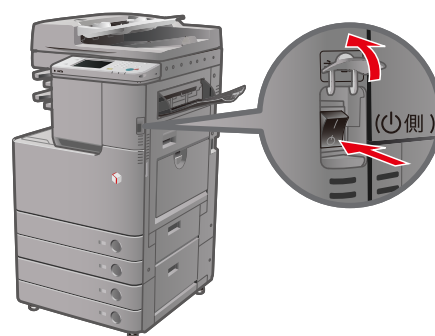
次のような原因が考えられます。ご確認ください。

- ネットワークケーブルが抜けていないか

- ネットワーク障害が起こっている可能性はないか
- 本体の電源は入っているか

- 紙づまりやトナー切れになっていないか
- 部門別ID管理で設定されたプリント制限枚数を越えていないか

ネットワーク障害や部門別 ID 管理の設定については、システム管理者に確認してください。

Q36 電源の切りかたが、いままでの imageRUNNER シリーズと異なるようです。操作方法が間違っていないかどうか心配です。

A

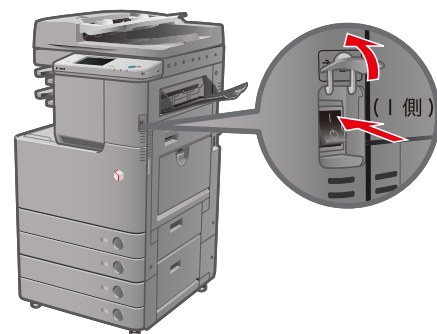
従来の imageRUNNER シリーズでは、操作部電源スイッチを 3 秒以上押したあと、シャットダウンモードを実行する必要がありました。

imageRUNNER ADVANCE シリーズでは、本体右側の主電源スイッチカバーを開いたあと、主電源スイッチを「⏻」側に倒してください。

詳しくは、「はじめにお読みください」を参照してください。

Q37 タッチパネルディスプレーが真っ暗になってしまいました。

A

主電源が入っていないか､消費電力を抑えるためにオートスリープに移行したことが考えられます。次の手順に従って操作してください。

主電源を入れる

1. 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているかどうかを確認する。
2. 本体右側の主電源スイッチカバーを開いたあと、主電源スイッチを「I」側へ倒して電源を入れる。

オートスリープから復帰する

操作部電源スイッチを押す。

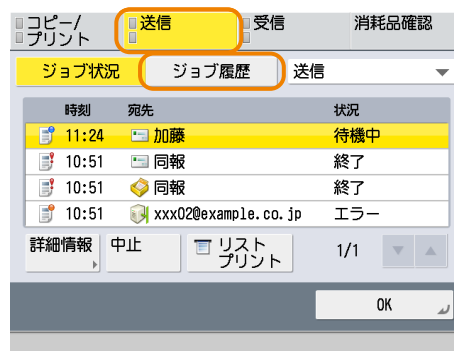
- スリープモードについての詳細は、e-マニュアル>基本的な使いかたを参照してください。
- オートスリープへの移行時間を変更するには、次のように操作してください。
  1. ◎（設定／登録）を押す。
  2. ［環境設定］→［タイマー / 電力設定］→［オートスリープ移行時間］を押す。
  3. 時間の設定を行う→［OK］を押す。

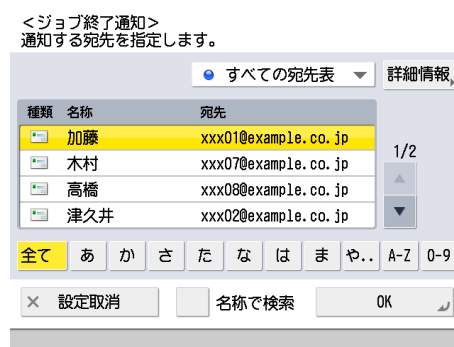
Q38 重要な資料をファクス送信しました。正しく送信できたかどうか、確認する方法はありますか。

A

状況確認／中止画面から送信ジョブの状況を確認したり、送信結果をコンピューターの E メールで受信したりできます。

● 状況確認／中止画面から確認するには

1. （状況確認／中止）を押す。
2. ［送信］→［ジョブ履歴］を押す。

● 送信結果をコンピューターのEメールで受信するには

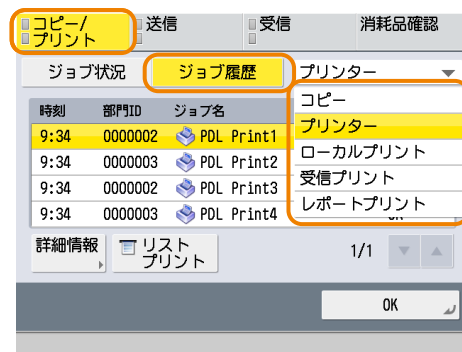
1. ［ファクス］→［その他の機能］→［ジョブ終了通知］を押す。
2. 結果を受信したい E メールアドレスを指定する。

ファクス送信結果レポートを設定すると、毎回ファクス送信結果を出力して確認できます。また、ファクス通信管理レポートを設定すると、過去の送信結果を出力して確認できます。詳しくは、e- マニュアル > 基本的な使いかたを参照してください。
E メールアドレスは、アドレス帳に登録されているもののみ指定できます。

Q39 コンピューターからプリントしたはずなのに、出力紙がありませんでした。間違って持っていかれていないか心配です。

A

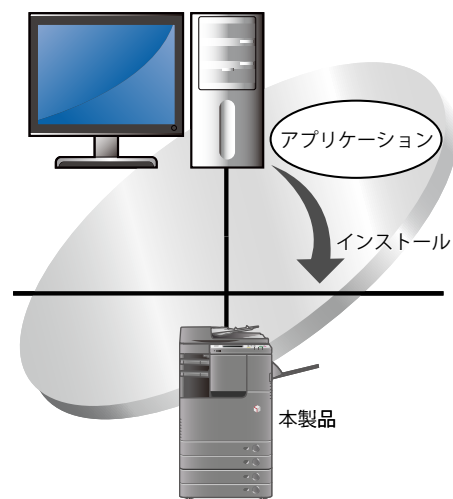
本体のタッチパネルディスプレーから､プリント履歴を確認できます。履歴では OK となっているのに出力紙が残っていないときは、他の出力紙に混ざっている可能性があります。

● 確認するには

1. ［◈］（状況確認／中止）を押す。
2. ［コピー / プリント］→［ジョブ履歴］→ ドロップダウンリストを押す。
3. 表示させたいジョブの種類を選択する。

コンピューターからプリントするときは、プリント開始のためのパスワードを設定できます（セキュアプリント）。本体のタッチパネルディスプレーでパスワードを入力しない限りプリントできないので、プリントの持ち去りや置き忘れを防ぐことができます。詳しくは、e- マニュアル > セキュアプリント、活用集を参照してください。

Q40 MEAP とは、何のことですか。

A

MEAP とは、Multifunctional Embedded Application Platform の頭文字をとったもので、キヤノン複合機に搭載されたアプリケーション・プラットフォームのことです。
MEAP アプリケーションをコンピューターから複合機にインストールすることで、業務にあわせた機能拡張やカスタマイズを行うことができます。

詳しくは、e- マニュアル > MEAP を参照してください。

自己診断表示（エラーメッセージ一覧）

タッチパネルディスプレーに表示されるメッセージの対処方法を説明します。表示されたメッセージに応じて、必要な処理を行ってください。
次のような状態になったとき、メッセージが表示されます。

- 何らかの操作上の誤りで読み込みやプリントできないとき
- 読み込み中やプリント動作中にユーザーの判断や処理が必要になったとき
- ネットワークの参照中にユーザーの判断や処理が必要になったとき

メッセージ、原因、処置方法の一覧を次に示します。

記載されていないメッセージについては、e- マニュアル > スキャンして送信、本体でのファクス送受信、ネットワークを参照してください。

メッセージ	原因	処置
新しい回収トナー容器を用意して、前カバーを開けてください。	回収トナー容器がいっぱいのため、プリントできません。	回収トナー容器を交換してください。（→ P.67）
カラープリントの準備をしています。お待ちください。	機械が自動調整に入っています。	しばらくお待ちください。調整が終わると、自動的にカラープリントが再開されます。
原稿台に原稿をセットしてください。	原稿台ガラスに原稿をセットするモードが設定されています。原稿台ガラスに原稿がありません。	原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
原稿台の原稿を取り除いてください。	原稿台ガラスに原稿が残っています。	原稿台ガラスの原稿を取り除いたあと、原稿をセットしなおしてください。
原稿読み取り部（細長いガラス面）が汚れています。	原稿読み取り部（細長いガラス面）にゴミなどが付着して汚れています。	フィーダーの原稿読み取り部の清掃を行ってください。（→ P.70）
原稿を 1 枚目に戻して［スタート］キーを押してください。	フィーダーに何らかのトラブルが発生して、読み込みがストップしました。	原稿を 1 枚目からそろえて、フィーダーの原稿給紙トレイに再セットし、⊙（スタート）を押してください。
原稿を 1 枚目に戻して［スタート］キーを押してください。（読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えました。自動的に設定を補正して再度読み込みを行います。）	読み込んだ原稿のデータが本製品で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。	原稿を 1 枚目から読み込みなおしてください。それでも読み込めないときは、［シャープネス］を弱く、原稿の種類を［文字］に設定すると読み込めることもあります。
最適サイズの A4 がありません。	自動用紙選択で選択された最適サイズの用紙がセットされていません。	表示されているサイズの用紙がセットされていてもこのメッセージが表示されたときは、目的のカセットの［用紙カセット自動選択の ON/OFF］を「ON」に設定します。（→ e- マニュアル > 設定／登録） 表示されているサイズの用紙をセットしてください。このまま⊙（スタート）を押すと、現在選択されているカセットの用紙にプリントされます。
調整中です。しばらくお待ちください。	機械が自動調整に入っています。	しばらくお待ちください。調整が終わると、自動的にプリントが再開されます。
トナー容器（イエロー）の準備が必要です。（継続プリント可）	表示されている色のトナー残量が少なくなりました。	表示されている色のトナー容器を準備してください。（→ P.63）

メッセージ	原因	処置
トナー容器（マゼンタ）を交換してください。（継続プリント可）	表示されている色のトナー残量が少なくなり、もうすぐプリントできなくなります。	表示されている色のトナー容器を交換してください。（→ P.63）
トナー容器をセットしてください。（シアン）	表示されている色のトナー容器が正しくセットされていません。	トナー容器を正しくセットしてください（→ P.63）
トナー容器を交換してください。（ブラック）	表示されている色のトナー残量がなくなり、プリントできません。	表示されている色のトナー容器を交換してください。（→ P.63）
トナー容器を交換してください。（白黒コピーはできます。）	表示されている色のトナー残量が少なくなり、カラーコピーできません。	表示されている色のトナー容器を交換してください。（→ P.63）
トナー容器を交換してください。（白黒プリントはできます。）	表示されている色のトナー残量が少なくなり、カラーでの保存ファイルのプリントができません。	表示されている色のトナー容器を交換してください。（→ P.63）
ドラムのクリーニング中です。お待ちください。	機械がドラムのクリーニングを行っています。	しばらくお待ちください。調整が終わると、自動的にプリントが再開されます。
入力された ID または暗証番号が正しくありません。	入力した部門 ID ／暗証番号は登録されていません。	部門のシステム管理者に部門 ID ／暗証番号をご確認ください。
排紙トレイの紙を取り除いてください。	前のプリントがトレイに残っています。	トレイに残っている用紙を取り除いてください。プリントが自動的に開始または再開されます。
フィーダーの原稿を取り除いてください。	フィーダーに原稿をセットしても読み込めないモードのときに、フィーダーと原稿台ガラスの両方に原稿がセットされています。	フィーダーの原稿を取り除いてください。
メモリーがいっぱいのため送信できません。しばらくたってからもう一度実行してください。	メモリーの空き容量がないため、送信できませんでした。	解像度を下げて送信しなおしてください。
		受信トレイ内の不要な文書を削除して、メモリーの空き容量を増やしてください。（→ e- マニュアル > 受信トレイ）
		頻繁に発生する場合は担当サービスまでおたずねください。
用紙がありません。	カセットが正しくセットされていません。	カセットを奥までセットしてください。（→ P.53）
	用紙がなくなり、プリントできません。	用紙を補給してください。（→ P.53）
読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。［シャープネス］を弱く、原稿の種類を［文字］に設定すると実行できる可能性があります。	読み込んだ原稿のデータが本製品で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。	［シャープネス］を弱く、原稿の種類を［文字］に設定すると読み込める可能性があります。

自己診断表示（終了コード一覧）

ジョブや操作が正常に終了していない場合は、終了コードを確認し、表示されている終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。
終了コードは、状況確認／中止画面のジョブ履歴の詳細情報画面で確認できます。（→ e- マニュアル > 状況確認 / 中止）

メモ
送信や受信、ファクスのジョブについては、正常に終了しないと終了コードが［通信管理レポート］や［送信結果レポート］の通信結果欄にプリントされます。（→ e- マニュアル > 基本的な使いかた）

終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。

送信ジョブを中止すると、結果欄に「STOP」とプリントされます。

終了コード	原因	処置
#001	原稿サイズ混載の設定をしないまま、異なるサイズの原稿を読み込みました。	原稿と設定を確認し、もう一度やりなおしてください。
	原稿サイズ混載の設定をしないまま、異なるサイズの原稿を両面読み込みしました。	
#009	用紙がありません。	用紙を補給してください。
	カセットが正しくセットされていません。	カセットを正しくセットしなおしてください。
#099	ジョブが中止されました。	もう一度ジョブをやり直してください。
	ジョブ実行中に主電源スイッチが切られ、エラーが発生しました。	主電源スイッチが入っているか確認したあと、必要に応じてもう一度やりなおしてください。（→はじめにお読みください）
#401	保存先のデータ容量がいっぱいか、ルートディレクトリー（メモリーメディア内の一番上の階層）に保存できるファイル数が上限値に達しました。	保存先の不要なファイルを削除する、またはフォルダーを作成して既存のファイルを移動するなどして、ルートディレクトリー上のファイルを整理してください。
#402	メモリーメディアへの画像転送などをする際、指定したファイル名に不正な文字（¥など）が入っているため、正常に画像転送ができませんでした。	正しいファイル名に変更してください。
#403	同名ファイルが存在したため書き込みができませんでした。通常、同名ファイルが存在した場合には 1 から 999 までの番号をファイル名の後に付加し、ファイル名が重ならないよう自動的にリネームされますが、1 から 999 までの番号を付加したファイルがすでに存在したため書き込みができませんでした。	ファイル名を変更して再度書き込みを行ってください。
#404	メモリーメディアへのライトプロテクトスイッチが ON になっているため書き込みに失敗しました。	メモリーメディアのライトプロテクトスイッチを解除してください。
#406	メモリーメディアやネットワーク上にある他のアドバンスドボックスへの書き込み中にメモリーメディアが引き抜かれた、またはネットワーク上にある他のアドバンスドボックスが削除されたために、書き込みに失敗しました。	メモリーメディアが抜けていないか、またはネットワーク上にある他のアドバンスドボックスが削除されていないか確認し、もう一度書き込みを行ってください。
	メモリーメディアへ画像転送して保存などをする際、何らかのエラーが発生したため、正常に画像転送ができませんでした。（接続しているメモリーメディアがサポート外のファイルシステムでフォーマットされている可能性があります。）	メモリーメディアの状態や、メモリーメディアが本製品で対応しているファイルシステム（FAT32）でフォーマットされているかを確認してください。確認後、もう一度操作をしてください。
	ファイルサイズが本製品で扱えるサイズの上限に達しました。	解像度を低くするかページ数を減らしてから、もう一度実行してください。
#407	指定したファイル（フォルダー）へのフルパス長がサポート範囲を超えています。	フルパスの長さが 256 文字以内になるようにファイル名を変更するか、保存するフォルダーを変更してください。

終了コード	原因	処置
#409	この場所に保存できる数の上限に達しているため保存できません。	保存先を変更してください。
#410	保存待機中のジョブがいっぱいのため保存できません。	前のジョブの保存が終了してからもう一度実行してください。
#411	他の操作によりすでにロックされています。	しばらくたってからもう一度実行してください。
#701	ジョブを投入したときに設定した部門 ID が存在しません。または、暗証番号を変更しました。	正しい部門 ID または、暗証番号を ⓪ ～ ⑨（テンキー）で入力して、もう一度送信してください。
	ジョブの実行中に部門 ID または暗証番号が変更されました。	変更後の部門 ID と暗証番号でもう一度やりなおしてください。暗証番号がわからないときは、システム管理者にご連絡ください。
	ID 不定のプリントジョブ／スキャンジョブの受付設定が「OFF」になっています。	［管理設定］（設定／登録）の［部門別 ID 管理］にあ＜ ID 不定プリンタージョブの許可＞／＜ ID 不定スキャンジョブの許可＞を「ON」にしてください。
#703	メモリーの画像領域がいっぱいになり、書き込みができません。	しばらくお待ちください。他の送信ジョブが終了してから、もう一度送信してください。
		受信トレイ内のファイルを削除してください。それでも正常に動作しないときは、本製品の主電源を入れなおしてください。
#711	受信トレイ内のメモリーがいっぱいです。	受信トレイ内のファイルを削除してください。
#712	受信トレイ内のファイルがいっぱいです。	受信トレイ内のファイルを削除してください。
#749	サービスコールが表示されたため、実行できませんでした。	主電源スイッチをいったん切ったあと、10 秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れてください。それでも正常に動作しない場合は、主電源スイッチを切ったあと、電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスにご連絡ください。
#754	機器情報配信時に子機が立ち上がっていないか、ネットワークが切れています。配信先の設定が間違っています。	子機側、ネットワークの状態を確認してください。配信先の設定を確認してください。
#807	指定されたディレクトリーへのアクセス権がありません。	サーバーのディレクトリーへのアクセス権を設定するか、アクセス権のあるディレクトリーに送信し直してください。またはシステム管理者にご連絡ください。
#816	部門別 ID 管理の制限面数で設定した数値を超え、プリントできませんでした。	システム管理者にご連絡ください。
#821	扱えないデータを受信しました。（TIFF 解析エラーが発生しました。）	設定を確認して、送信しなおしてもらいます。
#825	予約中、実行中のプリンタージョブの部門 ID と暗証番号が消去、または暗証番号が変更されていたためプリントできませんでした。	処置変更後の部門 ID と暗証番号でもう一度やりなおしてください。部門 ID と暗証番号を登録してください。暗証番号がわからないときは、システム管理者にご連絡ください。
	機器情報の配信先となる子機でシステム管理者が登録されているが、親機側ではシステム管理者が登録れていないため、機器情報が配信できませんでした。または、親機側とは異なるシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号が子機側に登録されているため、機器情報が配信できませんでした。	親機と配信先となる子機に同じシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を登録してから、もう一度機器情報を配信してください。
#844	POP before SMTP 送信時に、POP サーバーとの SSL 暗号化通信に失敗しました。	POP サーバーの SSL 暗号化通信設定を確認してください。
		［通信設定］で <SSL の許可 (POP)> を「OFF」に設定してください。解決しないときは、［通信設定］で < 送信前の POP 認証 > を「OFF」に設定して、通信設定を POP before SMTP 以外の設定に切り替えてください。（→ e- マニュアル > 設定 / 登録）

自己診断表示（終了コード一覧）

終了コード	原因	処置
#845	POP before SMTP 送信時に、POP 認証（POP AUTH）に失敗しました。	［通信設定］の POP アドレス、POP パスワードの設定を確認してください。（→ e- マニュアル > 設定 / 登録）
		POP サーバーの POP 認証設定を確認してください。
		［通信設定］の <POP 認証方式 > で「標準」または「APOP」を選択してください。解決しないときは、［通信設定］で < 送信前の POP 認証 > を「OFF」に設定して、通信設定を POP before SMTP 以外の設定に切り替えてください。（→ e- マニュアル > 設定 / 登録）
#846	POP before SMTP 送信時に、POP 認証（APOP）に失敗しました。	［通信設定］の POP アドレス、POP パスワードの設定を確認してください。（→ e- マニュアル > 設定 / 登録）
		POP サーバーの APOP 設定を確認してください。
		［通信設定］の <POP 認証方式 > で「標準」または「POP AUTH」を選択してください。解決しないときは、［通信設定］で < 送信前の POP 認証 > を「OFF」に設定して、通信設定を POP before SMTP 以外の設定に切り替えてください。（→ e- マニュアル > 設定 / 登録）
#849	機器情報の配信先となる子機でジョブが実行中のため、機器情報が配信できませんでした。	配信先となる子機のジョブが終了してから、もう一度機器情報を配信してください。
#850	機器情報の配信先となる子機で、機器情報に関連する画面が操作中のため、配信できませんでした。	配信されなかった機器情報を確認したあと、もう一度機器情報を配信してください。
#851	本製品のメモリー残量が足りなくなりました。	本製品のメモリー残量を確認したあと、受信トレイ内の不要なファイルを削除してください。
	メモリーの画像領域がいっぱいになりました。	エラージョブや不要なファイルを削除して、メモリーの空き容量を増やしてください。
	受信トレイ内のファイル数が上限を超えているため、保存できませんでした。	受信トレイ内のファイルを削除してください。
#852	ジョブ実行中に何らかの原因で電源が切れたため、エラーが発生しました。	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているかなど、電源が切れやすい状態になっていないかを確認したあと、必要に応じてもう一度やり直してください。
#853	プリンターで大量なページをプリントしようとしたときなどに、リソース不足によってジョブを実行できませんでした。	プリントするページを減らすか、他のプリントジョブが予約されていないときにもう一度実行してください。
	コンピューターから本製品へプリントデータを送信中に、プリンタードライバーからキャンセルされたことによってジョブを実行できませんでした。	もう一度実行してください。
	［環境設定］（設定／登録）の［ネットワーク設定］にある［スプール機能を使用］が「ON」に設定されているときに、受信データのスプール領域がいっぱいになり、ホストからの受信データをすべてスプールしきれませんでした。	［環境設定］（設定／登録）の［ネットワーク設定］にある［スプール機能を使用］を「OFF」に設定したあと、もう一度送信してください。
	受信データ処理中に受信できるデータの上限を超えました。	すべてのジョブが終了してからもう一度プリントしてください。それでもプリントできない場合は送信データを確認してください。
	同時に受付可能なセキュアジョブ数を超えてセキュアジョブが投入されました。	本体に蓄積されているセキュアジョブを実行または消去してから、もう一度実行してください。
#854	配信先となる子機で、［管理設定］（設定／登録）の［機器情報配信の設定］にある［配信元による受信制限］が「ON」の設定になっているため、同一機種グループ以外からの機器情報を配信できませんでした。	［管理設定］（設定／登録）の［機器情報配信］の設定にある配信元による受信制限の設定を「OFF」にしてから、もう一度機器情報を配信してください。
#855	配信先となる子機で扱えない言語が含まれた機器情報のため、配信できませんでした。	担当サービスにお問い合わせください。
#856	一時的な保存データ用のメモリー領域がいっぱいになったため、ジョブがキャンセルされました。	システム管理者にご連絡ください。

終了コード	原因	処置
#857	データ受信のタイムアウトか、ホストからジョブがキャンセルされました。	ネットワークの状態を確認し、もう一度プリントしてください。
#858	プリントデータに異常が発生しました。	プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。
	本製品が対応していないプロトコルを使用してプリントが実行されました。	本製品で現在利用可能なプロトコルをシステム管理者に確認のうえ、適切なプロトコルを使用してもう一度プリントしてください。
#859	原稿データの圧縮エラーが発生しました。	原稿と設定を確認し、もう一度やり直してください。
	原稿が正常に読み込みできなかったか、原稿セット方向のエラーです。	原稿と設定を確認し、もう一度やり直してください。
		主電源スイッチをいったん切ったあと、10秒以上待ってからもう一度電源スイッチを入れてください。
#860	プリント中に用紙がつまりました。	もう一度プリントしてください。
	本製品専用ではない OHP フィルムが使用されました。	本製品専用の OHP フィルムを使用してもう一度プリントしてください。
	本製品が利用できないページ記述言語のジョブが投入されました。	本製品で現在利用可能なページ記述言語をシステム管理者に確認のうえ、適切なプリンタードライバーを使用してください。
	サポートされていない設定の組み合わせがされました。	プリントデータの解像度、またはその他のプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。
#861	プリントデータ、画像データの処理中にエラーが発生しました。	プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。
#862	サポートされない設定の組み合わせがされました。	プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。
	互換性を保証していないデータがプリントされました。	
#863	プリントデータ、画像データの処理中にエラーが発生しました。	設定を確認し、もう一度やりなおしてください。
#865	ジョブ実行に関連する機能が制限されています。	システム管理者に連絡してください。
	ハードディスクドライブが装着されていない状態で、ハードディスクを必要とする機能が実行されました。	ハードディスクドライブが装着されているかどうかを確認します。ハードディスクドライブが装着されていない場合は、装着後に、もう一度同じ機能を実行してください。ハードディスクドライブを装着していない場合は、ハードディスクを必要とする機能の設定を解除してください。
#904	ネットワーク上に接続されている imageRUNNER/imagePRESS シリーズから機器情報配信でアドレス帳を取得したときに、[よく使う設定] として登録されている宛先だけ更新されません。	本製品のタッチパネルディスプレーから [よく使う設定] を登録しなおしてください。
#905	ネットワークでエラーが発生したため実行できませんでした。	サーバーのパス長やアクセス権、ファイルやフォルダーが使用中でないかなどを確認してください。

e- マニュアルの使いかた

e- マニュアルは、次の手順に従ってインストールしてください。

● Windows

1. CD-ROM をコンピューターにセットします。
2. e- マニュアルの言語を選択します。
3. ［インストール］または［CD から開く］を選択します。

［インストール］を選択すると､お使いのコンピューターの［ドキュメント］内（※）に e- マニュアルが保存されます。デスクトップに作成されたショートカットアイコンまたは保存されたフォルダー内の index.html をダブルクリックすると、e- マニュアルが表示されます。
［CD から開く］を選択すると、e- マニュアルが表示されます。

※ お使いのOSによってフォルダ名が異なります。Windows Vista/7の場合は[ドキュメント]、Windows 2000/XPの場合は[マイドキュメント]になります。

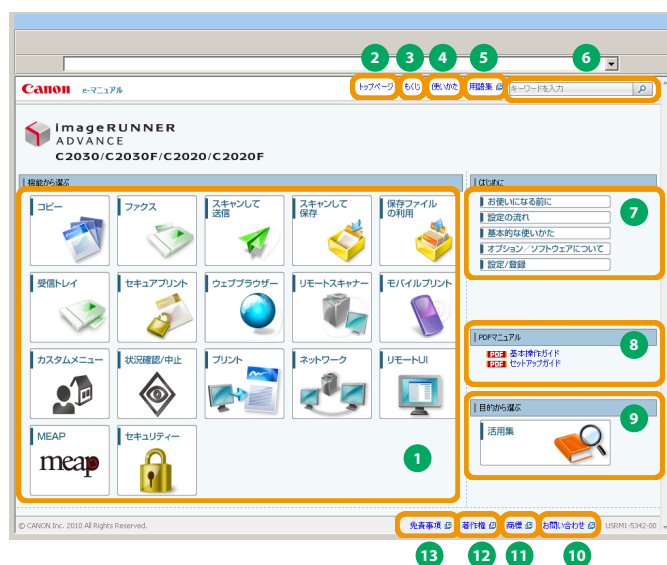
● Macintosh

1. CD-ROM をコンピューターにセットします。
2. e- マニュアルアイコンをダブルクリックして、［iRADV_C2030_Manual_jp］フォルダーを保存する場所へドラッグ & ドロップします。
3. ［iRADV_C2030_Manual_jp］フォルダ内の index.html をダブルクリックすると、e- マニュアルが表示されます。

- お使いのOSによっては、セキュリティー保護のためのメッセージが表示されることがあります。このときは、コンテンツの表示を許可してください。
- e- マニュアルを起動すると、次ページの画面（トップページ）が表示されます。

■ e-マニュアル（CD-ROM）が起動しないときは

CD-ROM のオートラン機能が設定されていない可能性があります。次のように操作してください。

- Windows 7
  1. タスクバーの［スタート］→［コンピューター］をクリック
  2. e-Manual アイコンをダブルクリック
  3. start.exe をダブルクリック
- Windows XP/Vista
  1. タスクバーの［スタート］→［マイコンピュータ］をクリック
  2. e-Manual アイコンをダブルクリック
  3. start.exe をダブルクリック
- Windows 2000
  1. デスクトップ上の［マイコンピュータ］をダブルクリック
  2. e-Manual アイコンをダブルクリック
  3. start.exe をダブルクリック

1 機能から選ぶ
各機能の説明や操作法が記載されています。

2 トップページ
e- マニュアルのトップページが表示されます。

3 もくじ
e- マニュアルの全体もくじが表示されます。

4 使いかた
e- マニュアルの使いかたが表示されます。

5 用語集
用語集が表示されます。

6 キーワードを入力
検索ダイアログボックスにキーワードを入力して、 を押します。別ウィンドウに検索結果が表示されます。

7 はじめに
本製品を使用するために知っておいてほしい情報が記載されています。オプション機器に関する情報や、各種ソフトウェア製品についての紹介も記載されています。

8 PDF マニュアル
基本操作ガイド、セットアップガイドが PDF 形式で表示されます。

9 目的から選ぶ
本製品の目的別の使いかたが記載されています。

10 お問い合わせ
本製品に関するお問い合わせ先が表示されます。

11 商標
商標が表示されます。

12 著作権
著作権に関する情報が表示されます。

13 免責事項
免責事項が表示されます。

■ 検索を行うには

検索ダイアログボックスにキーワードを入力して、 を押します。

■ トピックページを印刷するときは

- トピックページでは、カテゴリーごと、またはトピックごとに印刷することができます。
- Webブラウザーの設定によっては、トピックページの背景色やイメージが印刷されないことがあります。

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90056

[受付時間] <平日> 9:00～12:00、13:00～17:00
（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は03-5428-1263をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp

FT5-2763 (030)